



福島県立美術館  
年報  
令和5年度  
2023



福島県立美術館  
年報  
令和5年度・2023

福島県立美術館年報  
令和5年度（2023）

目次

---

設置の目的と立地	2
沿革	2
令和5年度主要記事	4
第1節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第2節 収集・保存	5
収蔵作品点数	
収集評価委員会	
令和5年度収蔵作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第3節 展示事業	22
常設展示	
特集展示	
企画展示	
観覧者数一覧	
アンケート結果	
第4節 調査研究事業	56
第5節 普及事業	56
館内解説	
鑑賞講座	
創作プログラム	
美術館・学校教育連携事業	
友の会等との連携	
その他の事業	
関係法規	63
予算	70
施設・設備	71
施設配置図	72
組織図・職員名簿	73
利用案内	74

## ◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅から近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

## ◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告
	7月	文化振興会議を設置
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告
	3月	文化施設等整備基金条例制定
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置（委員10人を委嘱）
	12月	美術品等取得基金条例制定
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置（委員7人を委嘱） 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定
	12月	美術館基本設計を委託（大高建築設計事務所）
1981年	7月	美術館実施設計を委託（大高建築設計事務所）
1982年	7月	美術館設計工事着工
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決
	4月	福島県立美術館設置
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管
	7月	開館（22日）初代館長に原田實が就任（-1989年3月） 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行
	10月	第1回運営協議会開催
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任（-1990年3月）
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする（-1992年3月）
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任（-2000年3月）
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する
1999年	3月	屋根改修工事着工
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止（-2000年7月19日）
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催

	10月	18日以降休館となる（-2000年7月19日） 空調機械改修工事（第一期）着工 「移動美術館」開始（第1回は喜多方市美術館）	8月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため19日以降臨時休館となる（-5月15日） 改修工事のため31日以降休館となる（-2021年5月21日）	
2000年	3月	『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行	2021年	5月	再開館（22日）
	4月	第四代館長に酒井哲朗が就任（-2012年3月）	2023年	4月	第七代館長に根本和代が就任（-2024年3月）
	7月	空調機械工事（第一期）竣工、再開館（20日）			レストラン「Curry and Spice dishes 笑夢」 新装開店（25日）
2001年	11月	19日以降休館となる（-2002年4月26日） 空調機械工事（第二期）等着工			
2002年	3月	空調機械工事（第二期）、展示室改修工事竣工（県立図書館空調工事も竣工）			
	4月	再開館（27日） レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店（-2008年3月23日）			
	10月	「美術館友の会（仮称）設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置			
2003年	4月	高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足			
2004年	6月	「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足			
	7月	「アート オブ スター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する			
	10月	開館20周年記念展「田園の夢」開催			
2005年	3月	『収蔵作品図録 1990-2005』発行			
2006年	5月	入館者通算200万人を記録する			
	8月	初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催			
2008年	10月	レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店（-2022年5月22日）			
2009年	7月	開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催			
2011年	3月	12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる（-4月25日）			
	4月	再開館（26日）			
	5月	入館者通算300万人を記録			
2012年	2月	震災復旧工事のため1日以降休館となる（-4月6日）			
	4月	第五代館長に早川博明が就任（-2020年3月） 再開館（7日）			
2013年	7月	「若沖が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する			
2014年	7月	開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催			
2015年	4月	6日以降休館となる（-2016年4月1日） 空調設備等改修工事着工			
2016年	4月	再開館（2日） 名誉館長に酒井哲朗が就任 「フェルメールとレンブラント」展開催、104,519人の観覧者を記録する			
2019年	4月	「東日本大震災復興祈念 伊藤若沖展」開催、116,344人の観覧者を記録			
2020年	4月	第六代館長に長根由里子が就任（-2023年3月）			

## ◆令和5年度主要記事(2023.4-2024.3)

## 第1節 委員会等

### 令和5(2023)年

- 4月1日 根本和代館長、山内孝子主幹兼事務長、齋藤恵主任学芸員、堀宜雄専門員着任、月本寿彦副主任学芸員新任
- 4月25日 レストラン「Curry and Spice dishes 笑夢」新装開店
- 5月30日 特集展示「眼にうつる詩」展開幕(-6月18日)
- 6月20日 展示替にともなう臨時休館(-30日)
- 7月1日 「第Ⅱ期コレクション展」開幕(-8月27日)  
「プルトーニュの光と風」展開幕(-8月27日)
- 8月21日 常設展無料観覧日(県民の日)
- 8月22日 博物館実習(-27日)
- 8月29日 展示替にともなう臨時休館(-9月15日)
- 9月16日 「第Ⅲ期コレクション展」開幕(-12月27日)
- 9月23日 「発掘された珠玉の名品 少女たち」展開幕(-11月12日)
- 10月31日 橋本恵里学芸員退職
- 11月2日 美術館・図書館合同消防訓練
- 11月21日 「現代版画の小宇宙」展開幕(-12月27日)
- 12月16日 令和5年度収集評価委員会
- 12月28日 年末年始休館および臨時休館(-1月9日)

### 令和6(2024)年

- 1月10日 「第Ⅳ期コレクション展」開幕(-3月3日)
- 1月12日 「美術館への年賀状展」開幕(-31日)
- 2月3日 「福島アートアニュアル2024」展開幕(-3月3日)
- 2月20日 令和5年度運営協議会
- 3月5日 施設メンテナンスにともなう臨時休館(-22日)
- 3月23日 「第Ⅰ期コレクション展」開幕(-7月22日)  
「美人画の雪雪花 培広庵コレクション展」開幕(-5月12日)
- 3月31日 根本和代館長転任

### 1 美術館運営協議会

#### (1) 委員

- 大槻佐恵 福島県中学校教育研究会美術専門部所属  
(令和5.1.1～)
- 番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属  
(平成27.1.1～)
- 鈴木淳一 公益財団法人福島県文化振興財団理事長兼福島県文化センター館長  
(令和4.4.23～) ※会長
- 佐藤育子 福島県家庭教育インストラクター  
(令和5.1.1～)
- 齋藤勝正 福島県美術家連盟顧問  
(平成29.1.1～)
- 細田修二 日本放送協会福島放送局長  
(令和4.7.16～)
- 岡部兼芳 はじまりの美術館館長  
(令和3.1.1～)
- 笠原美智子 アーティゾン美術館副館長  
(令和3.1.1～)
- 齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部副学長  
(平成27.1.1～) ※副会長
- 舟木藤弘 福島県立美術館友会の会副会長  
(平成29.1.1～)

#### (2) 協議会の開催

期日：令和6年2月20日(火)

内容：・令和5年度事業の概要について

- ・令和6年度事業計画(案)の概要について
- ・その他(福島県立美術館の運営等について)

### 2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

#### 〈加盟団体〉

- ・全国美術館会議 (会員)
- ・日本博物館協会 (会員)
- ・日本博物館協会東北支部 (会員)
- ・東北地区博物館協会 (会員)
- ・福島県博物館連絡協議会 (理事)

## 第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション（収蔵作品）の収集活動を継続的に行っている（ただし平成22年度以降、作品購入実績はない）。

令和5年度は440点の作品、および美術資料3点を寄贈により収蔵した。

### 1 収蔵作品点数（令和6年3月31日現在）

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	191	116	382
洋画	99	733	96	928
素描・下絵	15	186	17	218
版画	376	1,275	40	1,691
写真	0	391	20	411
立体	14	88	48	150
工芸	76	49	33	158
書	0	3	36	39
合計	1,077点	2,505点	410点	4,427点
美術資料				73件

### 2 収集評価委員会

#### (1) 委員

- 中山恵理 郡山市立美術館主査（令和元.12.1～）
- 松下由里 群馬県立近代美術館主幹兼専門員（令和元.12.1～）
- 水沢 勉 神奈川県立近代美術館長（令和元.12.1～）
- 濱崎礼二 宮城県美術館副館長（令和3.12.1～）
- 西山純子 千葉市美術館上席学芸員（令和3.12.1～）

#### (2) 委員会の開催

- 期日：令和5年12月16日(土)
- 内容：・令和3・4年度収集作品の報告
- ・令和5年度収集候補作品について

### 3 令和5年度収蔵作品

#### (1) 美術作品及び美術資料の収集

- 国内：日本画
  - 朝倉 摂 1点
  - 勝田蕉琴 8点
  - 金 紹城 1点
  - 谷口香嶠 1点
  - 小林古径 1点
  - 菅 楯彦 1点
  - 今井王芳 1点
  - 松林雪貞 1点
- 国内：洋画
  - 土橋 醇 3点
  - 斑目秀雄 2点

- 国内：立体
    - 金 暎淑 2点
    - 佐藤忠良 3点
    - 橋本朝秀 2点
  - 国内：版画
    - 巖 嘸 2点
    - 相笠昌義 1点
    - 麻田 浩 2点
    - 浅野竹二 1点
    - 瑛 九 4点
    - 岡村吉右衛門 7点
    - オノサト・トシノブ 1点
    - 小野忠重 2点
    - 柿崎 兆 6点
    - 金守世士夫 1点
    - 蒲地清爾 1点
    - 柄澤 齊 116点
    - 北川健次 34点
    - 木原康行 21点
    - 木村利三郎 1点
    - 黒須 昇 1点
    - 小林ドンゲ 1点
    - 城 景都 2点
    - 清宮質文 1点
    - 竹田和子 13点
    - 徳力富吉郎 1点
    - 内藤八千代 4点
    - 長島 充 2点
    - 西川洋一郎 2点
    - 萩原英雄 26点
    - 浜田知明 2点
    - 林 孝彦 2点
    - 日和崎尊夫 16点
    - 深沢幸雄 12点
    - 二見彰一 14点
    - 古沢岩美 31点
    - 古谷博子 3点
    - 星 襄一 1点
    - 三塩佳晴（英春） 5点
    - 森 義利 8点
    - 山下清澄 1点
    - 横山貞二 5点
    - 李 禹煥 8点
    - 若月公平 19点
    - 若林 奮 20点
    - 渡辺達正 3点
    - 『鑿』 5点
    - 『容器』 2点
    - ウィリアム・ホガース 3点
  - 国内：資料
    - 松林雪貞・桂月 1点
    - 斑目秀雄 1点
    - 佐藤忠良 1点
- 計 440点、美術資料3点

(2) 新収蔵作品一覧

1. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《金輪紫瀾》1915 (大正4) 年

絹本着色 (三幅対) 各 125.2 × 41.8cm 近藤基子氏寄贈



2. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《白萩に馳》1925 (大正14) 年

絹本着色 34.6 × 50.3cm 近藤基子氏寄贈



3. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《蜻蛉》1926 (大正15) 年

絹本淡彩 115.3 × 19.7cm 近藤基子氏寄贈



4. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《矮杜若》1926 (大正15) 年

紙本淡彩 129.8 × 32.4cm 近藤基子氏寄贈



5. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《罌粟》1929 (昭和4) 年

紙本淡彩 124.6 × 31.8cm 近藤基子氏寄贈



6. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《鶺鴒》1929 (昭和4) 年

紙本淡彩 133.3 × 30.6cm 近藤基子氏寄贈



7. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《雁来紅》1931 (昭和6) 年

紙本淡彩 125.3 × 31.8cm 近藤基子氏寄贈



8. 勝田蕉琴 (1879-1963)

《肇春》1952 (昭和27) 年

紙本淡彩 124.5 × 31.3cm 近藤基子氏寄贈



9. 金紹城 (1878-1926)

《春蘭図》1926 (大正15) 年

紙本墨画 129.5 × 32.7cm 近藤基子氏寄贈



10. 谷口香嶠 (1864-1915)

《江浦艸水鷄図》1902 (明治35) 年

絹本着色 111.9 × 30.4cm 近藤基子氏寄贈



11. 小林古径 (1883-1957)

《羅浮仙》1915-17 (大正4-6) 年

紙本着色 129.0 × 28.5cm 近藤基子氏寄贈



12. 菅楯彦 (1878-1963)

《大原女之図》不詳

絹本墨画淡彩 107.8 × 35.7cm 近藤基子氏寄贈



## 13. 今井玉芳 (1878-?)

《題不詳 [猫之図]》不詳

絹本着色 114.8 × 45.7cm 近藤基子氏寄贈



## 14. 松林雪貞 (1878-1969)

《菊図》不詳

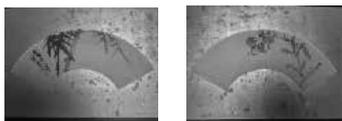
絹本着色 69.0 × 89.0cm 松林明氏寄贈



## 15. 【資料】松林雪貞 [百合]、桂月 [竹]

《合作扇面画》1910 (明治 43) 年 紙本墨画、紙本着色

54.1 × 15.4cm 54.8 × 15.5cm 松林明氏寄贈



## 16. 土橋醇 (1910-1978)

《無題》1956 (昭和 31) 年

カンヴァス・油彩 162.1 × 130.1cm 土橋亨氏寄贈



## 17. 土橋醇 (1910-1978)

《無題》1956 (昭和 31) 年

カンヴァス・油彩 92.0 × 73.0cm 土橋亨氏寄贈



## 18. 土橋醇 (1910-1978)

《無題》1957 (昭和 32) 年

カンヴァス・油彩 114.0 × 161.0cm 土橋亨氏寄贈



## 19. 斑目秀雄 (1911-1986)

《つばきの森》1959 (昭和 34) 年

カンヴァス、油彩 72.7 × 53.0cm 杉本紅子氏寄贈



## 20. 斑目秀雄 (1911-1986)

《洞門 朝 足摺》1964 (昭和 39) 年

カンヴァス、油彩 91.0 × 72.7cm 杉本紅子氏寄贈



## 21. 【資料】斑目秀雄 (1911-1986)

《スケッチブック (大1冊、小6冊)》不詳 紙・鉛筆、水彩ほか

54.0 × 38.0cm (大)、41.5 × 33cm (小) 杉本紅子氏寄贈



## 22. 金暎淑

《交差する点》2002 (平成 14) 年

カンヴァス・油彩 162.0 × 97.0cm 金暎淑氏寄贈



## 23. 金暎淑

《人魚》2005 (平成 17) 年

カンヴァス・油彩 162.0 × 162.0cm 金暎淑氏寄贈



## 24. 橋本朝秀 (1899-1960)

《黎明》1938 (昭和 13) 年

木彫 152.0 × 44.0 × 30.0cm 橋本篤秀氏寄贈



25. 橋本朝秀 (1899-1960)  
《夢違観世音菩薩尊像》1959年 (昭和34年 原型1937年)  
木彫 69.0 × 20.0 × 20.0cm 橋本篤秀氏寄贈



26. 朝倉撰 (1922-2014)  
《瓜子姫とあまんじゃく》1962 (昭和37)年  
紙本着色 163.5 × 98.7cm 伊藤亜古氏寄贈



27. 佐藤忠良 (1912-2011)  
《画家の貌》1953 (昭和28)年  
ブロンズ 28.0 × 22.0 × 15.5cm 伊藤亜古氏寄贈



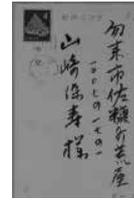
28. 佐藤忠良 (1912-2011)  
《[少年と鹿]》不詳  
ブロンズ 9.5 × 9.5 × 0.5cm 伊藤亜古氏寄贈



29. 佐藤忠良 (1912-2011)  
《[少年と山羊]》不詳  
ブロンズ 9.0 × 9.0 × 0.4cm



30. 【資料】佐藤忠良 (1912-2011)  
《[佐藤忠良からの葉書 (山崎保寿宛)]》1963.1.11-2009.5.22  
紙・インク、墨等 約15.0 × 10.0cm 山崎保寿氏寄贈



31-443. 金子コレクションの現代版画 金子元久氏寄贈

31. 巖嘯 (1931-) 《勸善懲惡》1988 (昭和63) 紙・シルクスクリーン 紙寸等:904 × 630/ 画面寸:760 × 522  
 32. 巖嘯 (1931-) 《勸善懲惡》1988 (昭和63) 紙・シルクスクリーン 紙寸等:904 × 630/ 画面寸:760 × 522  
 33. 相笠昌義 (1939-) 《ゴリラをみる人》1991 (平成3) 紙・エッチング 紙寸等:429 × 590/ 画面寸:278 × 427  
 34. 麻田 浩 (1931-1997) 《petit Événement no. 2》1977 (昭和52) 紙・アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙寸等:662 × 500/ 画面寸:327 × 330  
 35. 麻田 浩 (1931-1997) 《PLUME ET FILET》1977 (昭和52) 紙・アクアチント、エッチング、ドライポイント 紙寸等:671 × 502/ 画面寸:328 × 329  
 36. 浅野 竹二 (1900-1999) 《しゃがむ男》1970 (昭和45) 紙・木版 紙寸等:408 × 541/ 画面寸:363 × 482  
 37. 瑛九 (1911-1960) 《森の会話》1974 (昭和49) [初刷:1953 (昭和28)] 紙・エッチング 紙寸等:491 × 374/ 画面寸:363 × 274  
 38. 瑛九 (1911-1960) 《指》1969 (昭和44) [池田満寿夫刷/ 初刷:1952 (昭和27)] 紙・エッチング 紙寸等:320 × 243/ 画面寸:181 × 118  
 39. 瑛九 (1911-1960) 《手》1969 (昭和44) [池田満寿夫刷/ 初刷:1953 (昭和28)] 紙・エッチング 紙寸等:401 × 329/ 画面寸:251 × 182  
 40. 瑛九 (1911-1960) 《家族》1969 (昭和44) [池田満寿夫刷/ 初刷:1953 (昭和28)] 紙・エッチング 紙寸等:322 × 242/ 画面寸:180 × 119  
 41. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『万葉四季花盡し』1944 (昭和19) 紙・型染、本 紙寸等:325 × 203 × 7 (冊子)  
 42. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『會津本郷末窯抄』1956 (昭和31) 紙・型染、本 紙寸等:303 × 200 × 7 (冊子)  
 43. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『會津熱塩紙示現』1956 (昭和31) 紙・型染、本 紙寸等:273 × 161 × 5 (冊子)  
 44. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『三浦結縁抄』1959 (昭和34) 紙・型染、本 紙寸等:322 × 210 × 7 (冊子)  
 45. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『伊達茂庭の棉布』1960 (昭和35) 紙・型染、本 紙寸等:305 × 205 × 8 (冊子)  
 46. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 『徳次郎正業』1960 (昭和35) 紙・型染、本 紙寸等:304 × 207 × 7 (冊子)  
 47. 岡村吉右衛門 (1916-2002) 《松竹梅》1974 (昭和49) 紙・型染 紙寸等:391 × 296/ 画面寸:381 × 292  
 48. オノサト・トシノブ (1912-1986) 《Silk-59》1974 (昭和49) 紙・シルクスクリーン 紙寸等:334 × 411/ 画面寸:248 × 339  
 49. 小野忠重 (1909-1990) 《とぶ》1971 (昭和46) 紙・木版 紙寸等:142 × 214/ 画面寸:130 × 206  
 50. 小野忠重 (1909-1990) 《浜》1975 (昭和50) 紙・木版 紙寸等:310 × 233/ 画面寸:299 × 223  
 51. 柿崎 兆 (1953-) 《落葉》1993 (平成5) 紙・木版 紙寸等:338 × 286/ 画面寸:262 × 215  
 52. 柿崎 兆 (1953-) 《宵》1997 (平成9) 紙・木版 紙寸等:301 × 245/ 画面寸:261 × 215

53. 柿崎 兆 (1953-) 《冬の花》1999(平成 11) 紙・木版 紙寸等:273 × 408/ 画面寸:189 × 301
54. 柿崎 兆 (1953-) 《風の日》1999(平成 11) 紙・木版 紙寸等:271 × 407/ 画面寸:188 × 300
55. 柿崎 兆 (1953-) 《十六夜》2000(平成 12) 紙・木版 紙寸等:338 × 272/ 画面寸:313 × 235
56. 柿崎 兆 (1953-) 《秋草》2000(平成 12) 紙・木版 紙寸等:338 × 269/ 画面寸:300 × 224
57. 金守世士夫 (1922-2016) 《湖山〈不二・七夕〉》1997(平成 9) 紙・木版 紙寸等:541 × 374/ 画面寸:438 × 299
58. 蒲地清爾 (1948-) 《われら穢れの霊薬として》不詳紙・銅版 紙寸等:516 × 388/ 画面寸:363 × 276
59. 柄澤 齊 (1950-) 《捕えられた天使或は翼のある男》1972(昭和 47) 紙・木口木版 紙寸等:193 × 230/ 画面寸:98 × 117
60. 柄澤 齊 (1950-) 《ケーブル》1972(昭和 47) 紙・木口木版 紙寸等:191 × 218/ 画面寸:91 × 98
61. 柄澤 齊 (1950-) 《畸形的アンドロギュヌス或は愛の不完全(版画集『Al-Chimija』〈8枚の木口木版のための8つの錬金術的寓意〉より)》1972(昭和 47) 紙・木口木版 紙寸等:166 × 169/ 画面寸:58 × 77
62. 柄澤 齊 (1950-) 《地の果の獅子ベツレヘムの星を呑み込む或はもう一つの神聖受胎(版画集『Al-Chimija』〈8枚の木口木版のための8つの錬金術的寓意〉より)》1972(昭和 47) 紙・木口木版 紙寸等:289 × 244/ 画面寸:130 × 104
63. 柄澤 齊 (1950-) 《蝸牛の棲む塔或は生誕前夜(版画集『Al-Chimija』〈8枚の木口木版のための8つの錬金術的寓意〉より)》1972(昭和 47) 紙・木口木版 紙寸等:289 × 227/ 画面寸:157 × 101
64. 柄澤 齊 (1950-) 《エピメテウスの囊》1973(昭和 48) 紙・木口木版 紙寸等:210 × 246/ 画面寸:75 × 109
65. 柄澤 齊 (1950-) 《タルタロス》1974(昭和 49) 紙寸等:304 × 246/ 画面寸:142 × 103 材質技法:紙・木口木版
66. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《省察(表紙)》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:85 × 63/ 画面寸:80 × 58
67. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(1)虚栄 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:87 × 33
68. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(2)虚栄 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:145 × 101
69. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(3)貪欲 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:77 × 34
70. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(4)貪欲 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:153 × 96
71. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(5)憤怒 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:76 × 35
72. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(6)憤怒 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:143 × 101
73. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(7)怠惰 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:91 × 33
74. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(8)怠惰 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:153 × 92
75. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(9)大食 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:58 × 34
76. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(10)大食 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:153 × 94
77. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(11)嫉妬 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:70 × 37
78. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(12)嫉妬 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:152 × 93
79. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(13)姦淫 I》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:81 × 32
80. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(14)姦淫 II》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:136 × 101
81. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『燭罪領』〈「七つの大罪」による〉(表紙+15点組)より《(15)死の舞踏》1974-1975(昭和 49-50) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 284/ 画面寸:152 × 102
82. 柄澤 齊 (1950-) 《三精花》1976(昭和 51) 紙・木口木版 紙寸等:118 × 97/ 画面寸:42 × 31
83. 柄澤 齊 (1950-) 《オストラコン I》1976(昭和 51) 紙・木口木版 紙寸等:212 × 232/ 画面寸:85 × 100
84. 柄澤 齊 (1950-) 《漂流物 I》1977(昭和 52) 紙・木口木版 紙寸等:353 × 288/ 画面寸:152 × 102
85. 柄澤 齊 (1950-) 《漂流物 II》1977(昭和 52) 紙・木口木版 紙寸等:287 × 357/ 画面寸:99 × 151
86. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(1)カドムスト ハルモニア》1977(昭和 52) 紙・木口木版 紙寸等:206 × 187/ 画

面寸:100×60

87. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(2)キュクヌス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:55×103
88. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(3)ダブネ》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:124×36
89. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(4)ロティス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:78×39
90. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(5)アクタエオン》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:99×39
91. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(6)ニオベ》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:102×28
92. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(7)ナルキッソス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:126×32
93. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(8)グラウクス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:100×62
94. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(9)ヘルマフロディトス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:49×28
95. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『転身譚』(10点組)より《(10)ビュプリス》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:206×187/画面寸:62×89
96. 柄澤 齊 (1950-)《船》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:287×339/画面寸:101×153
97. 柄澤 齊 (1950-)《花筐I》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:238×155/画面寸:112×33
98. 柄澤 齊 (1950-)《花筐II》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:239×159/画面寸:115×29
99. 柄澤 齊 (1950-)《オストラコンII》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:287×195/画面寸:121×68
100. 柄澤 齊 (1950-)《ヴァチカン》1977(昭和52)紙・木口木版 紙寸等:287×355/画面寸:101×149
101. 柄澤 齊 (1950-)《真珠I》1978(昭和53)紙・木口木版 紙寸等:143×192/画面寸:50×79
102. 柄澤 齊 (1950-)《真珠II》1978(昭和53)紙・木口木版 紙寸等:143×191/画面寸:50×78
103. 柄澤 齊 (1950-)《真珠頌》1978(昭和53)紙・木口木版 紙寸等:193×143/画面寸:83×51
104. 柄澤 齊 (1950-)《沈黙I牡蠣》1980(昭和55)紙・木口木版 紙寸等:286×355/画面寸:120×152
105. 柄澤 齊 (1950-)《鬼火I》1980(昭和55)紙・木口木版 紙寸等:256×172/画面寸:136×52
106. 柄澤 齊 (1950-)《鬼火II》1980(昭和55)紙・木口木版 紙寸等:256×173/画面寸:103×73
107. 柄澤 齊 (1950-)《森へ》1981(昭和56)紙・木口木版 紙寸等:355×288/画面寸:154×113
108. 柄澤 齊 (1950-)《樹》1981(昭和56)紙・木口木版 紙寸等:351×286/画面寸:155×115
109. 柄澤 齊 (1950-)《朝》1981(昭和56)紙・木口木版 紙寸等:286×310/画面寸:126×147
110. 柄澤 齊 (1950-)《肖像II アルブレヒト・デューラー A》1981(昭和56)紙・木口木版 材紙寸等:350×287/画面寸:152×101
111. 柄澤 齊 (1950-)《肖像VIII ルカス・クラナッハ》1983(昭和58)紙・木口木版 紙寸等:380×289/画面寸:199×132
112. 柄澤 齊 (1950-)《肖像IX フランツ・カフカ》1983(昭和58)紙・木口木版 紙寸等:382×289/画面寸:182×135
113. 柄澤 齊 (1950-)《肖像X ヘルキュレス・セーヘルス》1983(昭和58)紙・木口木版 紙寸等:289×380/画面寸:135×195
114. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XII 上田秋成》1983(昭和58)紙・木口木版 紙寸等:408×274/画面寸:252×125
115. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XV シャルル・メリヨン》1983(昭和58)紙・木口木版 紙寸等:384×283/画面寸:187×136
116. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XIX ハンス・クリスティアン・アンデルセン》1984(昭和59)紙・木口木版 紙寸等:381×286/画面寸:194×147
117. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XX フランシスコ・デ・ゴヤB》1984(昭和59)紙・木口木版 紙寸等:400×301/画面寸:219×155
118. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXI ハンス・メムリンク》1984(昭和59)紙・木口木版 紙寸等:254×193/画面寸:101×69
119. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXIV アルフレート・クービン》1985(昭和60)紙・木口木版 紙寸等:383×285/画面寸:206×121
120. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXV ラファエルロ・サンツィオ》1985(昭和60)紙・木口木版 紙寸等:286×336/画面寸:153×179
121. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXVIII 李賀》1985(昭和60)紙・木口木版 紙寸等:194×149/画面寸:71×56
122. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXXI エゴン・シーレ》1985(昭和60)紙・木口木版 紙寸等:372×381/画面寸:236×250
123. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXXII テオドール・ジェリコー》1985(昭和60)紙・木口木版 紙寸等:385×259/画面寸:254×110
124. 柄澤 齊 (1950-)《肖像XXXVII エドワード・ムンク》1986(昭和61)紙・木口木版 紙寸等:384×290/画面寸:150×214
125. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-1 すべてを一つの夜が待つ 死を想え》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版、金箔 紙寸等:282×384/画面寸:135×212
126. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-2 円形劇場》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:336×385/画面寸:172×188
127. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-3 日蝕》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:256×316/画面寸:104×162
128. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-4 夢または流刑》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:319×386/画面寸:156×212
129. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-7 水》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:453×354/画面寸:244×211
130. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-8 旅》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:455×363/画面寸:254×215
131. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-9 果実》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:381×428/画面寸:210×242
132. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-10 夜の鏡B》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:315×233/画面寸:152×91
133. 柄澤 齊 (1950-)《死と変容 I-13 変相図A(BRONZINOによる)》1986-1988(昭和61-63)紙・木口木版 紙寸等:282×220/画面寸:111×81

134. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-14 変相図 B(GIOVANNI DA BOLOGNA による)》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:317 × 243/ 画面寸:160 × 104
135. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-15 変相図 C(PARMIGIANINO による)》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:278 × 264/ 画面寸:135 × 135
136. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-16 変相図 D(SALVIATI による)》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:317 × 243/ 画面寸:161 × 107
137. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-17 変相図 E(BRONZINO による)》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:282 × 213/ 画面寸:111 × 81
138. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-19 地の鉢》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:318 × 382/ 画面寸:163 × 209
139. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-20 ボート》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:302 × 353/ 画面寸:113 × 165
140. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 I-21 夢または旅路》1986-1988(昭和 61-63) 紙・木口木版 紙寸等:387 × 304/ 画面寸:216 × 156
141. 柄澤 齊 (1950-) 《James Joyce》1987(昭和 62) 金属凸版機械刷 紙寸等:230 × 183/ 画面寸:67 × 44
142. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-2 水の本》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:312 × 370/ 画面寸:151 × 202
143. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-3 月蝕》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:324 × 252/ 画面寸:162 × 103
144. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-4 睡り A》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:359 × 303/ 画面寸:215 × 216
145. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-5 神話 A》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:455 × 382/ 画面寸:330 × 206
146. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-6 神話 B》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:457 × 284/ 画面寸:340 × 166
147. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-7 神話 C》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:451 × 383/ 画面寸:330 × 260
148. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-10 洪水 A》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:450 × 355/ 画面寸:255 × 205
149. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-14 睡り B》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:290 × 353/ 画面寸:127 × 181
150. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-18 陳列室》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:456 × 353/ 画面寸:246 × 213
151. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-19 方舟》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:289 × 342/ 画面寸:128 × 180
152. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-20 CAPSULE》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 282/ 画面寸:181 × 129
153. 柄澤 齊 (1950-) 《死と変容 II-21 時の井戸》1989-1990(昭和 64/ 平成元-2) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 423/ 画面寸:211 × 246
154. 柄澤 齊 (1950-) 《母岩》1992(平成 4) 紙・木口木版 紙寸等:319 × 255/ 画面寸:163 × 104
155. 柄澤 齊 (1950-) 《肖像 XXXIX 葛飾北斎》1993(平成 5) 紙・木口木版 紙寸等:361 × 288/ 画面寸:127 × 177
156. 柄澤 齊 (1950-) 《方丈記 2 無常を争ふさま いはば朝顔の露に異ならず》1993-94(平成 5-6) 紙・木口凹版 紙寸等:385 × 575
157. 柄澤 齊 (1950-) 《植物の睡眠 X》1996(平成 8) 紙・木口凹版 紙寸等:395 × 348
158. 柄澤 齊 (1950-) 《鯉》1997(平成 9) 紙・木口木版 紙寸等:383 × 316/ 画面寸:255 × 203
159. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《狛犬(表紙)》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:306 × 270
160. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(1)島台》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:298 × 265
161. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(2)一寸法師》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:299 × 264
162. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(3)桃太郎》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:300 × 265/ 画面寸:128 × 120
163. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(4)酒吞童子》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:297 × 265
164. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(5)金太郎と山姥》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:297 × 262/ 画面寸:126 × 100
165. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(6)百合若大臣》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:298 × 265
166. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(7)鉢かづき》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:300 × 264/ 画面寸:135(直径)
167. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(8)道成寺》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:300 × 266
168. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(9)浦嶋太郎》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:298 × 263/ 画面寸:100 × 123
169. 柄澤 齊 (1950-) 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による 10 のカリカチュア』(表紙+10 点組)より《(10)かぐや姫》1999(平成 11) 木口木版紙寸等:300 × 265
170. 柄澤 齊 (1950-) 『書物の容姿』1998(平成 10) 材質技法: 紙寸等:145 × 132 × 14
171. 柄澤 齊 (1950-) 《サロメ(版画集『傾草紙』より)》2001(平成 13) 紙・木口木版 紙寸等:311 × 241/ 画面寸:192 × 80

172. 柄澤 齊 (1950-) 《Praeludium》2006(平成 18) 紙・木口木版 紙寸等:241 × 193/ 画面寸:50 × 96
173. 柄澤 齊 (1950-) 《Postludium》2006(平成 18) 紙・木口木版 紙寸等:241 × 194/ 画面寸:62 × 83
174. 柄澤 齊 (1950-) 《[人物と葡萄]》不詳紙・木口木版 紙寸等:177 × 167
175. 北川健次 (1952-) 《記憶の構図》1979(昭和 54) 紙・フォトエッチング 紙寸等:499 × 581/ 画面寸:362 × 462
176. 北川健次 (1952-) 《XIV》1979(昭和 54) 紙・フォトエッチング 紙寸等:475 × 582/ 画面寸:344 × 644
177. 北川健次 (1952-) 《死と騎士と悪魔》1988(昭和 63) 紙・エッチング、アクアチント、フォトグラヴェール 紙寸等:441 × 347/ 画面寸:182 × 138
178. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(1) SPECULO—あるいはスピノザの皮膚の破れ》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、シルクスクリーン 紙寸等:497 × 657/ 画面寸:497 × 657
179. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(2) PALAIS—A VICENCE》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント 紙寸等:657 × 497/ 画面寸:486 × 443
180. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(3) ACANTHUS》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント 紙寸等:497 × 659/ 画面寸:497 × 659
181. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(4) バジリカの走る雨》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、シルクスクリーン 紙寸等:494 × 654/ 画面寸:494 × 654
182. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(5) 逡巡する九月—プラハ》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、シルクスクリーン 紙寸等:500 × 660/ 画面寸:500 × 660
183. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(6) ジレーネの沈黙》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント 紙寸等:500 × 660/ 画面寸:500 × 660
184. 北川健次 (1952-) 版画集『サン＝シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る 7つの意匠』(7点組)より《(7) NIJINSKY または歩行の原理》1995(平成 7) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント 紙寸等:500 × 661/ 画面寸:500 × 661
185. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(1)Study of skin—RIMBRAUD》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:446 × 342/ 画面寸:241 × 175
186. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(2)完全な遊戯あるいはティエポロの七月の内耳》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:344 × 446/ 画面寸:179 × 235
187. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(3)サン・ミケーレの計測される翼》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:340 × 445/ 画面寸:340 × 445
188. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(4)エル・エスコリアル黒い肖像》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:446 × 342/ 画面寸:309 × 218
189. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(5)Persona》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:448 × 344/ 画面寸:266 × 261
190. 北川健次 (1952-) 版画集『サン・ミケーレの計測される翼』(6点組)より《(6)The Gordain Knot》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:449 × 344/ 画面寸:250 × 211
191. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(1)ヘレネの飛翔法》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:415 × 318/ 画面寸:231 × 193
192. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(2)オリュンピアの長い犬》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:414 × 317/ 画面寸:215 × 184
193. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(3)Nizinskii—あるいは水の鳥籠》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:415 × 316/ 画面寸:218 × 155
194. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(4)ベルニーニの視えない肖像》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:418 × 316/ 画面寸:163 × 147
195. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(5)マルティウス通り 12 番地》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:414 × 317/ 画面寸:181 × 128
196. 北川健次 (1952-) 版画集『ローマにおける僅か七ミリの受難』(6点組)より《(6)停止するカルヴィーノの夢》2001(平成 13) 紙・銅版 紙寸等:316 × 414/ 画面寸:139 × 235
197. 北川健次 (1952-) 《ローマ・クイリナーレの本 2003》紙 2003(平成 15) 紙・コラージュ、ミクストメディア 紙寸等:259 × 364/ 画面寸:259 × 364(本紙)
198. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称/鏡/蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(1)PERSONA—William Shakespear(黒い二つの仮面)》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグラウンドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:287 × 379/ 画面寸:287 × 379
199. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称/鏡/蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(2)肖像考—フランツ・カフカ》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグラウンドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:378 × 289/ 画面寸:378

- × 289
200. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(3)記憶の構図 マルセル・ブルースト頌(チェスをする少年二人)》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:289×378/画面寸:289×378
201. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(4)分光器—あるいは『兎を持てる少年』より》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:379×287/画面寸:379×287
202. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(5)サンマルコの視えない馬—(14の断章から構成される)(フェンシングする男)》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:289×378/画面寸:289×378
203. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(6)夢の通路にて—Galerie Véro-Dodat (レスリングする男二人)》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:285×379/画面寸:285×379
204. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(7)暗箱の中に立つ二人の男の肖像》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:380×289/画面寸:380×289
205. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組)より《(8)肖像考—Face of Rimbaud》2004(平成 16) 紙・フォトグラヴェール、アクアチント、ソフトグランドエッチング、シルクスクリーン 紙寸等:379×289/画面寸:379×289
206. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組+附録2点)より《付録(1)写真》2004(平成 16) 紙・インクジェットインク 紙寸等:299×212/画面寸:179×249
207. 北川健次 (1952-) 版画集『反対称 / 鏡 / 蝶番 夢の通路—VÉRO DODAT を通り抜ける試み』(8点組+附録2点)より《付録(2)ヴァレリー頌—立ち上がるダ・ヴィンチの形象のために》2004(平成 16) 紙・色彩銅版画 紙寸等:206×166/画面寸:206×166
208. 北川健次 (1952-) 《マリエスの巣箱》2004(平成 16) 紙・コラージュ、インクジェットプリント 紙寸等:275×385/画面寸:185×222
209. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(1)Mort 1》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
210. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(2)Mort 2》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
211. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(3)Mort 3》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:227×171
212. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(4)Mort 4》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:227×171
213. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(5)Mort 5》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:227×171
214. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(6) Métamorphose 1》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
215. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(7) Métamorphose 2》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
216. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(8) Métamorphose 3》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
217. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(9) Métamorphose 4》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:228×171
218. 木原康行 (1932-2011) 詩画集『死と転生』(10点組)より《(10) Métamorphose 5》1977(昭和 52) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:468×382/画面寸:227×171
219. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(1) Conséquence 1》1978(昭和 53) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:443×382/画面寸:268×209
220. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(2) Conséquence 2》1978(昭和 53) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:443×382/画面寸:268×209
221. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(3) Conséquence 3》1978(昭和 53) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:443×382/画面寸:268×209
222. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(4) Conséquence 4》1978(昭和 53) 紙・エングレーヴィング 紙寸等:443×382/画面寸:268×209
223. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(5) Conséquence 5》1979(昭和 54) 紙・エングレーヴィング 紙寸

- 等:443 × 382/画面寸:268 × 209
224. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(6) Conséquence 6》1979(昭和54)紙・エングレーヴィング紙寸等:443 × 382/画面寸:268 × 209
225. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(7) Conséquence 7》1979(昭和54)紙・エングレーヴィング紙寸等:443 × 382/画面寸:268 × 209
226. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(8) Conséquence 8》1979(昭和54)紙・エングレーヴィング紙寸等:382 × 443/画面寸:209 × 268
227. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(9) Conséquence 9》1980(昭和55)紙・エングレーヴィング紙寸等:443 × 382/画面寸:268 × 209
228. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(10) Conséquence 10》1980(昭和55)紙・エングレーヴィング紙寸等:443 × 382/画面寸:268 × 209
229. 木原康行 (1932-2011) 版画集『Conséquence』(11点組)より《(11) Conséquence 11》1980(昭和55)紙・エングレーヴィング紙寸等:443 × 382/画面寸:268 × 209
230. 木村利三郎 (1924-2014) 《City 378》1980(昭和55)紙・シルクスクリーン紙寸等:728 × 568/画面寸:643 × 503
231. 黒須昇 (1948-) 《天使の祈り》1982(昭和57)紙・リトグラフ紙寸等:533 × 678/画面寸:490 × 630
232. 小林ドンゲ (1926-2022) 《サロメ・踊りの報酬》1977(昭和52)紙・エングレーヴィング、エッチング、ドライポイント紙寸等:522 × 352/画面寸:326 × 237
233. 城景都 (1946-) 《静》1985(昭和60)紙・銅版紙寸等:351 × 298/画面寸:235 × 179
234. 城景都 (1946-) 《ポーズ》1985(昭和60)紙・銅版紙寸等:352 × 299/画面寸:235 × 179
235. 清宮賢文 (1917-1991) 《われむかしの日にしえの年をおもえり》1982(昭和57)紙・木版紙寸等:213 × 183/画面寸:153 × 131
236. 竹田和子 (1943-) 《Gemini》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:502 × 570/画面寸:314 × 357
237. 竹田和子 (1943-) 《Virgo》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:570 × 503/画面寸:359 × 315
238. 竹田和子 (1943-) 《Libra》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:568 × 504/画面寸:356 × 315
239. 竹田和子 (1943-) 《Scorpio》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:570 × 514/画面寸:357 × 314
240. 竹田和子 (1943-) 《Sagittarius》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:500 × 571/画面寸:315 × 357
241. 竹田和子 (1943-) 《Capricorn》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:504 × 571/画面寸:316 × 360
242. 竹田和子 (1943-) 《Aquarius》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:567 × 452/画面寸:357 × 314
243. 竹田和子 (1943-) 《Pisces》(版画集『十二宮の星座』より)1975(昭和50)紙・メゾチント紙寸等:500 × 572/画面寸:314 × 358
244. 竹田和子 (1943-) 詩画集『朝のない夜のむこうへ』《1》1970(昭和45)紙・メゾチント紙寸等:341 × 519/画面寸:285 × 225
245. 竹田和子 (1943-) 詩画集『朝のない夜のむこうへ』《2》1970(昭和45)紙・メゾチント紙寸等:341 × 519/画面寸:248 × 417
246. 竹田和子 (1943-) 詩画集『朝のない夜のむこうへ』《3》1970(昭和45)紙・メゾチント紙寸等:341 × 519/画面寸:247 × 245
247. 竹田和子 (1943-) 詩画集『朝のない夜のむこうへ』《4》1970(昭和45)紙・メゾチント紙寸等:341 × 519/画面寸:197 × 305
248. 竹田和子 (1943-) 《足音》2006(平成18)紙・銅版紙寸等:529 × 419/画面寸:393 × 292
249. 徳力富吉郎 (1902-2000) 《道頓堀の宵》1962(昭和37)頃紙・木版紙寸等:264 × 396/画面寸:232 × 364
250. 内藤八千代 (1942-) 《樹の下でII》不詳紙・エッチング、アクアチント紙寸等:254 × 372/画面寸:168 × 231
251. 内藤八千代 (1942-) 《オリエントブルー》不詳紙・エッチング、アクアチント紙寸等:341 × 238/画面寸:232 × 171
252. 内藤八千代 (1942-) 《タンポポ》不詳紙・エッチング、アクアチント紙寸等:367 × 254/画面寸:231 × 168
253. 内藤八千代 (1942-) 《ネコ二人》不詳紙・エッチング、アクアチント紙寸等:341 × 218/画面寸:147 × 97
254. 長島充 (1959-) 《グリーンマン伝説III秘儀》2002(平成14)紙・木口木版紙寸等:301 × 352/画面寸:183 × 230
255. 長島充 (1959-) 《虚飾の窓》2002(平成14)紙・木口木版紙寸等:352 × 302/画面寸:202 × 152
256. 西川洋一郎 (1959-) 《Here's that rainy day》不詳紙・リトグラフ紙寸等:466 × 345/画面寸:381 × 272
257. 西川洋一郎 (1959-) 《予感》不詳紙・リトグラフ紙寸等:481 × 221/画面寸:420 × 151
258. 萩原英雄 (1913-2007) 《狩(1)》1965(昭和40)紙・木版紙寸等:417 × 240/画面寸:338 × 186
259. 萩原英雄 (1913-2007) 《蚊と牛(〈イソップ絵噺〉より)》1976(昭和51)紙・木版紙寸等:231 × 287/画面寸:194 × 242
260. 萩原英雄 (1913-2007) 《星月夜 No.1》1979(昭和54)紙・木版紙寸等:675 × 500/画面寸:602 × 454
261. 萩原英雄 (1913-2007) 《星月夜 No.3》1980(昭和55)紙・木版紙寸等:489 × 368/画面寸:447 × 327
262. 萩原英雄 (1913-2007) 《天上の花》1980(昭和55)紙・木版紙寸等:448 × 320/画面寸:333 × 254
263. 萩原英雄 (1913-2007) 《一つ星》1981(昭和56)紙・木版紙寸等:427 × 573/画面寸:361 × 458
264. 萩原英雄 (1913-2007) 《三十六富士 山中湖暁雲》1981-1986(昭和56-61)紙・木版紙寸等:444 × 571/画面寸:365 × 464
265. 萩原英雄 (1913-2007) 《三十六富士 石和早春》1981-1986(昭和56-61)紙・木版紙寸等:570 × 419/画面寸:466 × 349
266. 萩原英雄 (1913-2007) 《木もれ日(2)》1984(昭和59)紙・木版紙寸等:300 × 335/画面寸:188 × 249
267. 萩原英雄 (1913-2007) 《花園(F)》1984(昭和59)紙・木版紙寸等:259 × 318/画面寸:191 × 239
268. 萩原英雄 (1913-2007) 《日暮の詩(3)》1984(昭和59)紙・木版紙寸等:301 × 367/画面寸:223 × 300

269. 萩原英雄 (1913-2007) 《眠れる美女(川端康成シリーズ)》1987(昭和62) 紙・木版 紙寸等:756 × 565/ 画面寸:599 × 422
270. 萩原英雄 (1913-2007) 《ほのぼの》1988(昭和63) 紙寸等:270 × 333/ 画面寸:211 × 266 材質技法:紙・木版
271. 萩原英雄 (1913-2007) 《秋立つ沢》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:403 × 533/ 画面寸:344 × 468
272. 萩原英雄 (1913-2007) 《淡雪降る》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:402 × 531/ 画面寸:347 × 466
273. 萩原英雄 (1913-2007) 《暮れなずむ》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:403 × 532/ 画面寸:346 × 468
274. 萩原英雄 (1913-2007) 《宵月かゝる》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:533 × 402/ 画面寸:466 × 346
275. 萩原英雄 (1913-2007) 《雲海の果に》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:402 × 530/ 画面寸:345 × 468
276. 萩原英雄 (1913-2007) 《雨上る》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:403 × 536/ 画面寸:345 × 468
277. 萩原英雄 (1913-2007) 《雪もよい》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:403 × 534/ 画面寸:346 × 468
278. 萩原英雄 (1913-2007) 《投影富士》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:402 × 529/ 画面寸:350 × 466
279. 萩原英雄 (1913-2007) 《黒雲沸く》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:403 × 533/ 画面寸:346 × 470
280. 萩原英雄 (1913-2007) 《昏れんとす》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:402 × 532/ 画面寸:346 × 468
281. 萩原英雄 (1913-2007) 《晩秋残映》(版画集『拾遺富士』より)1990-1991(平成2-3) 紙・木版 紙寸等:533 × 402/ 画面寸:468 × 347
282. 萩原英雄 (1913-2007) 《散華》1996(平成8) 紙・木版 紙寸等:413 × 318/ 画面寸:298 × 227
283. 萩原英雄 (1913-2007) 《ガラスの祭典》1998(平成10) 紙・木版 紙寸等:485 × 336/ 画面寸:367 × 269
284. 浜田知明 (1917-2018) 《ある日...》1982(昭和57) 紙・銅版 紙寸等:371 × 261/ 画面寸:219 × 159
285. 浜田知明 (1917-2018) 《夜》1988(昭和63) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:453 × 379/ 画面寸:257 × 220
286. 林孝彦 (1961-) 《風合瀬-1》1989(昭和64/平成元) 紙・銅版 紙寸等:279 × 372/ 画面寸:164 × 266
287. 林孝彦 (1961-) 《風合瀬-2》1989(昭和64/平成元) 紙・銅版 紙寸等:284 × 377/ 画面寸:200 × 279
288. 日和崎尊夫 (1941-1992) 《KALPA BC》1968(昭和43) 紙・木口木版 紙寸等:328 × 423/ 画面寸:97 × 252
289. 日和崎尊夫 (1941-1992) 《KALPA 69-A》1969(昭和44) 紙・木口木版 紙寸等:344 × 484/ 画面寸:186 × 247
290. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(1)薔薇魚》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:36 × 107
291. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(2)花》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:109 × 76
292. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(3)海》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:64 × 90
293. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(4)樹木》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:82 × 75
294. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(5)寓話》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:90 × 52
295. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(6)凝視》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:104 × 65
296. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(7)薔薇刑》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:111 × 56
297. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(8)蝶》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:67 × 63
298. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(9)寓意》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:112 × 62
299. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(10)葉》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:62 × 97
300. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(11)焰》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:112 × 44
301. 日和崎尊夫 (1941-1992) 『薔薇刑』(12点組)より《(12)死》1970(昭和45) 紙・木口木版 紙寸等:266 × 220/ 画面寸:99 × 53
302. 日和崎尊夫 (1941-1992) 《KALPA 74》1974(昭和49) 紙・木口木版 紙寸等:401 × 341/ 画面寸:255 × 202
303. 日和崎尊夫 (1941-1992) 詩画集『FRESIMA』(7点組)1980(昭和55) 紙・木口木版 紙寸等:268 × 196 × 25
304. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《春の日の夕暮》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 176
305. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《春の夜》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:224 × 175
306. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《黄昏》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
307. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《汚れつちまつた悲しみに……》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
308. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《雪の宵》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
309. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《夜更けの雨》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
310. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《冷たい夜》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
311. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』(12点組)より《老いたる者をして》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175

312. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』 (12点組)より《曇天》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
313. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』 (12点組)より《蜻蛉に寄す》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
314. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』 (12点組)より《幻影》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
315. 深沢幸雄 (1924-2017) 『汚れつちまつた悲しみに……』 (12点組)より《古代土器の印象》1998(平成10) 紙・メゾチント 画面寸:225 × 175
316. 二見彰一 (1932-) 《凍った季節》1969(昭和44) 紙・アクアチント 紙寸等:498 × 324/ 画面寸:332 × 204
317. 二見彰一 (1932-) 《オウバード》1969(昭和44) 紙・アクアチント 紙寸等:479 × 316/ 画面寸:306 × 211
318. 二見彰一 (1932-) 《海のうた》1969(昭和44) 紙・アクアチント 紙寸等:377 × 283/ 画面寸:231 × 158
319. 二見彰一 (1932-) 《サウンド・ミッドナイト》1969(昭和44) 紙・アクアチント 紙寸等:472 × 353/ 画面寸:307 × 250
320. 二見彰一 (1932-) 《青の宴》1969(昭和44) 紙・アクアチント 紙寸等:465 × 362/ 画面寸:310 × 252
321. 二見彰一 (1932-) 《宇宙へのプレリュード》1969(昭和44) 紙・アクアチント、メゾチント 紙寸等:452 × 362/ 画面寸:320 × 200
322. 二見彰一 (1932-) 《孤独の祭》1970(昭和45) 紙・アクアチント 紙寸等:499 × 362/ 画面寸:324 × 233
323. 二見彰一 (1932-) 《ラウンドミッドナイト(版画集『マイクロドラマ』より)》1971(昭和46) 紙・アクアチント 紙寸等:329 × 255/ 画面寸:159 × 101
324. 二見彰一 (1932-) 《ガラスのとり(版画集『マイクロドラマ』より)》1971(昭和46) 紙・アクアチント 紙寸等:329 × 255/ 画面寸:140 × 116
325. 二見彰一 (1932-) 《夜の航海(版画集『マイクロドラマ』より)》1971(昭和46) 紙・アクアチント 紙寸等:329 × 255/ 画面寸:141 × 102
326. 二見彰一 (1932-) 《星の音(版画集『マイクロドラマ』より)》1971(昭和46) 紙・アクアチント 紙寸等:329 × 255/ 画面寸:160 × 82
327. 二見彰一 (1932-) 《華やかな終幕(版画集『マイクロドラマ』より)》1971(昭和46) 紙・アクアチント 紙寸等:329 × 255/ 画面寸:160 × 103
328. 二見彰一 (1932-) 《祝祭の夜》1972(昭和47) 紙・アクアチント 紙寸等:497 × 360/ 画面寸:324 × 202
329. 二見彰一 (1932-) 《青のよそおい》1973(昭和48) 紙・アクアチント 紙寸等:498 × 362/ 画面寸:331 × 207
330. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《扉絵》1960-1993(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 287/ 画面寸:119 × 92
331. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《I 仙乞》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:246 × 177
332. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《II 姦》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:245 × 176
333. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《III 狂女》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:195 × 175
334. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《IV 強姦》1960-76(昭和35-51) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:149 × 113
335. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《V 草苺老婆》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:245 × 178
336. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《VI 揚子江》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288 × 380/ 画面寸:179 × 246
337. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《VII 苦役》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288 × 380/ 画面寸:179 × 246
338. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《VIII 後送貨車》1960-76(昭和35-51) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:132 × 163
339. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《IX 男になれ》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:195 × 175
340. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《X 洞庭夏月》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288 × 380/ 画面寸:175 × 196
341. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XI 吠え月》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:195 × 178
342. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XII 軍馬無惨》1960-81(昭和35-56) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:178 × 196
343. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XIII 掠奪》1960-93(昭和35-平成5) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 288/ 画面寸:245 × 175

344. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XIV 犬死》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:179×196
345. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XV 幽山哭》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:175×196
346. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XVI 鬼哭》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:246×178
347. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XVII 貧掠膳》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:175×245
348. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XVIII 素絲哀》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:178×247
349. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XIX 洞窟》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:245×178
350. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XX 蒼暮》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:175×246
351. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXI 屍》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:276×174
352. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXII 桃花原》1960-81(昭和35-56)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:179×243
353. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXIII コレラ》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:180×246
354. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXIV 斬》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:246×178
355. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXV 屍体清掃》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:196×175
356. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXVI ファイラ》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:199×180
357. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXVII 闇》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:245×175
358. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXVIII 糞骨》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380×288/画面寸:245×179
359. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXIX 斃卒》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:179×246
360. 古沢岩美 (1912-2000) 版画集『修羅餓鬼』(扉絵+30点組)より《XXX 腐翼》1960-93(昭和35-平成5)紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:288×380/画面寸:179×247
361. 古谷博子 (1961-)《マラルメの三つの詩》1997(平成9)紙・木版 紙寸等:1024×716/画面寸:880×580
362. 古谷博子 (1961-)《船の出る日》1999(平成11)紙・木版 紙寸等:500×590/画面寸:390×492
363. 古谷博子 (1961-)《遠い記憶》不詳紙・木版 紙寸等:403×351/画面寸:300×251
364. 星 襄一 (1913-1979)《梢(赤)》1973(昭和48)紙・木版 紙寸等:311×309/画面寸:248×248
365. 三塩佳晴(英春) (1956-)《森》2006(平成18)紙・木口木版 紙寸等:195×285/画面寸:100×150
366. 三塩佳晴(英春) (1956-)《風の行方》2006(平成18)紙・木口木版 紙寸等:193×285/画面寸:100×150
367. 三塩佳晴(英春) (1956-)《グラーツの夜》2006(平成18)紙・木口木版 紙寸等:194×285/画面寸:99×149
368. 三塩佳晴(英春) (1956-)《The Milky Way》2006(平成18)紙・木口木版、彩色(パステル) 紙寸等:330×234/画面寸:199×150
369. 三塩佳晴(英春) (1956-)《遠ざかる銀河》2006(平成18)紙・木口木版、彩色(パステル) 紙寸等:236×330/画面寸:150×199
370. 森 義利 (1898-1992)《酉の市 一頭の芋売り》不詳紙・木版 紙寸等:423×304/画面寸:423×304
371. 森 義利 (1898-1992)《夏の市 観音堂四万六千日》不詳紙・木版 紙寸等:423×304/画面寸:423×304
372. 森 義利 (1898-1992)《歳の市 飾物売り》不詳紙・木版 紙寸等:423×310/画面寸:423×310
373. 森 義利 (1898-1992)《獅子舞》不詳紙・木版 紙寸等:448×311/画面寸:448×311
374. 森 義利 (1898-1992)《歌舞伎役者》不詳紙・木版 紙寸等:436×311/画面寸:436×311
375. 森 義利 (1898-1992)《毬と女》不詳紙・木版 紙寸等:453×310/画面寸:453×310
376. 森 義利 (1898-1992)《仁王》不詳紙・木版 紙寸等:448×313/画面寸:448×313
377. 森 義利 (1898-1992)《神輿》不詳紙・木版 紙寸等:433×310/画面寸:433×310
378. 山下清澄 (1941-)《第四庭園 [巨蟹宮] (版画集『ゾーデアックあるいは12のサッポの庭園』より)》2005(平成17)紙・銅版金剛 紙寸等:342×307/画面寸:195×195

379. 横山貞二 (1952-) 《遺跡》 2000(平成 12) 紙・木版 紙寸等:491 × 332/ 画面寸:391 × 272
380. 横山貞二 (1952-) 《魚たち》 2001(平成 13) 紙・木版 紙寸等:508 × 322/ 画面寸:391 × 274
381. 横山貞二 (1952-) 《ノイローゼ》 2001(平成 13) 紙・木版 紙寸等:490 × 339/ 画面寸:391 × 270
382. 横山貞二 (1952-) 《プレゼント》 2003(平成 15) 紙・木版 紙寸等:504 × 329/ 画面寸:387 × 278
383. 横山貞二 (1952-) 《おたまじゃくし》 2003(平成 15) 紙・木版 紙寸等:492 × 334/ 画面寸:385 × 274
384. 李 禹煥 (1936-) 《項 G》 1978(昭和 53) 紙・木版 紙寸等:334 × 453/ 画面寸:226 × 301
385. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 1》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 655/ 画面寸:297 × 363
386. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 2》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 658/ 画面寸:296 × 360
387. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 3》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 660/ 画面寸:298 × 364
388. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 4》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 660/ 画面寸:294 × 362
389. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 5》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 657/ 画面寸:298 × 363
390. 李 禹煥 (1936-) 《FROM POINT AND LINE 6》 1982(昭和 57) 紙・ドライポイント 紙寸等:502 × 660/ 画面寸:298 × 363
391. 李 禹煥 (1936-) 《FROM WIND C》 1986(昭和 61) 紙・ドライポイント 紙寸等:352 × 284/ 画面寸:179 × 149
392. 若月公平 (1956-) 《Mérange-A》 1990(平成 2) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:533 × 378/ 画面寸:350 × 250
393. 若月公平 (1956-) 《Lundi》 1991(平成 3) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:349 × 263/ 画面寸:250 × 180
394. 若月公平 (1956-) 《Page 3, 4》 1991(平成 3) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:383 × 482/ 画面寸:248 × 333
395. 若月公平 (1956-) 《Page 9,10》 1991(平成 3) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:381 × 471/ 画面寸:249 × 333
396. 若月公平 (1956-) 《玄香-6》 1995(平成 7) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:433 × 361/ 画面寸:282 × 215
397. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《一月の薄氷》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:365 × 250
398. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《二月 滝が凍る日》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
399. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《三月の霜柱》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:398 × 519/ 画面寸:250 × 366
400. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《四月の花束》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:398 × 519/ 画面寸:250 × 366
401. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《五月の午睡》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:398 × 519/ 画面寸:250 × 366
402. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《六月の水量》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:398 × 519/ 画面寸:250 × 366
403. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《七月の雨》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
404. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《八月のオーロラ》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
405. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《九月の地熱》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
406. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《十月の光合成》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:398 × 519/ 画面寸:250 × 366
407. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《十一月の嵐》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
408. 若月公平 (1956-) 版画集『十二カ月』(12点組)より《十二月の幻灯》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:519 × 398/ 画面寸:366 × 250
409. 若月公平 (1956-) 《暁光》 2001(平成 13) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:541 × 398/ 画面寸:365 × 249
410. 若月公平 (1956-) 《発光》 2015(平成 27) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:516 × 398/ 画面寸:364 × 248
411. 若林 奮 (1936-2003) 《Landscape I》 1961(昭和 36) [1991(平成 3)発行] 紙・エッチング 紙寸等:267 × 351/ 画面寸:118 × 135
412. 若林 奮 (1936-2003) 《Landscape II》 1961(昭和 36) [1991(平成 3)発行] 紙・エッチング 紙寸等:266 × 351/ 画面寸:134 × 183
413. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鱭』《1》 1977(昭和 52) [1978(昭和 53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/ 画面寸:143 × 91
414. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鱭』《2》 1977(昭和 52) [1978(昭和 53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/ 画面寸:148 × 92
415. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鱭』《3》 1977(昭和 52) [1978(昭和 53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/ 画面寸:150 × 93
416. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鱭』《4》 1977(昭和 52) [1978(昭和 53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 ×

- 352/画面寸:139 × 92
417. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《5》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:147 × 182
418. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《6》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
419. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《7》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・エッチング、ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
420. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《8》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 181
421. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《9》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・エッチング、ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
422. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《10》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 184
423. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《11》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
424. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《12》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
425. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《13》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・エッチング、ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:149 × 183
426. 若林 奮 (1936-2003) 版画集『ノート・鮭の尾鰭』《14》1977(昭和52)[1978(昭和53)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:267 × 352/画面寸:147 × 182
427. 若林 奮 (1936-2003) 《S字-III》1977(昭和52)[1991(平成3)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:351 × 267/画面寸:230 × 158
428. 若林 奮 (1936-2003) 《燕〈廊下〉》1977(昭和52)[1991(平成3)発行] 紙・ドライポイント 紙寸等:266 × 351/画面寸:145 × 90
429. 若林 奮 (1936-2003) 《燕〈地表の厚み〉》1977(昭和52)[1991(平成3)発行] 紙・ドライポイント、エングレーヴィング 紙寸等:266 × 351/画面寸:148 × 181
430. 若林 奮 (1936-2003) 《ノート・鮭の尾鰭 補遺 水のとどまるところ II》1978(昭和53) 紙・ドライポイント 紙寸等:322 × 322/画面寸:149 × 91
431. 渡辺達正 (1947-) 《花(仮題)(版画集『白い花と魚』より)》1977(昭和52) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:380 × 314/画面寸:249 × 184
432. 渡辺達正 (1947-) 《三匹の魚(版画集『白い花と魚』より)》1977(昭和52) 紙・エッチング、アクアチント 紙寸等:419 × 327/画面寸:248 × 222
433. 渡辺達正 (1947-) 《白い花(プバリア)》1984(昭和59) 紙・銅版 紙寸等:387 × 331/画面寸:258 × 214
434. 『鑿』創刊号 1979(昭和54) 紙・木口木版、本 紙寸等:257 × 185 × 15
435. 『鑿』II 1980(昭和55) 紙・木口木版、本 紙寸等:263 × 190 × 21
436. 『鑿』III 1981(昭和56) 紙・木口木版、本 紙寸等:263 × 190 × 24
437. 『鑿』IV 1982(昭和57) 紙・木口木版、本 紙寸等:364 × 262 × 27
438. 『鑿』V 1983(昭和58) 紙・木口木版、本 紙寸等:362 × 262 × 26
439. 『容器I』1984(昭和59) 紙寸等:260 × 180 × 9
440. 『容器II』1985(昭和60) 紙寸等:190 × 184 × 13
441. ウィリアム・ホガース (1697-1764) 《放蕩息子一代記 第8回 精神病院にて》1763以降 紙・エングレーヴィング、エッチング 画面寸:357 × 409
442. ウィリアム・ホガース (1697-1764) 《ジン横丁》1822以降 紙・エッチング、エングレーヴィング 画面寸:390 × 320
443. ウィリアム・ホガース (1697-1764) 《ビール街》1822以降 紙・エッチング、エングレーヴィング 画面寸:390 × 352

## 4 図書資料の収集

収蔵図書数 66,053 冊 (令和6年2月20日現在)

## 5 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

## (1) 保存環境調査の実施

時期：令和5年6月5日(月)～19日(月)、8月9日(木)～25日(金)  
内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

## (2) 美術作品の修復

酒井三良《村芝居》、荻生天泉《待宵》、内田あぐり《ロマノフの海》、木村莊八《於東京帝大構内》、瑛九《建物》、織田彩子《サイネリア》、土橋醇《仏蘭西の避暑地》の修復を行った。北川民次《二十年目の悲しみの夜》、野田英夫《母子像》の額を交換した。そのほか、アンドリュウ・ワイエス《松ぼっくり男爵》、クロード・モネ《ジヴェルニーの草原》、カミーユ・ピサロ《エラニーの菜園》、カミーユ・コロー《ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロア家へ向かう池沿いの道》、ピエール＝オーギュスト・ルノワール《帽子を被る女》、ジョルジュ・ルオー《超人》、関根正二《姉弟》、関根正二《自画像》、関根正二《神の祈り》、安井曾太郎《ターヴルの上》、岸田劉生《自画像》、岸田劉生《静物(白き花瓶と皿と林檎四個)》のガラスのクリーニングを行った。

また、退色が指摘されていた庭園の彫刻、フェルナン・レジェ《歩く花》の再塗装を行った。(※詳細は次項参照)

## (3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開している。なお、震災後10年が経過し、線量も落ち着いていることから、令和2年度より測定回数および箇所数を減じることとした。

時期：令和5年4月14日、7月7日、10月13日、令和6年1月12日 計4回測定

場所：美術館内および敷地内、計8か所

測定機種：ALOKA TCS-172 (γ線)、ALOKA TCS-146 (β線)

## 【寄託作品修復報告】

## ■作品データ

フェルナン・レジェ《歩く花》1952-53 原型 (1980 年代鋳造か)  
高 612 × 幅 511 × 奥行 285cm (概数)、ブロンズ・エナメル塗装

サイン・エディション：F.LEGER 1/3 (脚部下部に印刷)

## ■経緯

1993年1月に寄託設置された、フランスの巨匠、レジェの彫刻作品は、設置より30年を経過し、塗装の経年劣化が著しく、金属サビも散見されるなど、かなり設置当初の姿からは変化していた。このため、修復費用を寄託者に何とか手当ていただくことと、修復経験のある、彫刻の森美術館の修復担当者に監修いただくことを条件に、地元塗装会社による修復、再塗装を行うこととした。

## ■関係者

美術館：保存担当学芸員

寄託者：アサガミ株式会社 (東京都千代田区丸の内3-1-1)

監修者：有田司氏 (公財彫刻の森芸術文化財団)

施工者：高野塗装店 (福島市野田町3-4-64)

[足場：ジョブマスター株式会社、塗装：アール塗装]

## ■使用塗料

彫刻の森美術館でも使用したフランス、レジェ財団指定色の塗料を使用。

- ・メタルグリップ EX 白 (関西ペイント) 16kg 缶 … 1
- ・デルترون DG D100 ホワイト (DELTRON) 3.5L 缶 … 2
- ・デルترون DG D718 イエロー (DELTRON) 1.0L 缶 … 2
- ・デルترون DG D717 レッド (DELTRON) 1.0L 缶 … 2
- ・デルترون DG D701 ブルーブラック (DELTRON) 3.5L 缶 … 2
- ・PPG DG2037-20 グリーン (DELTRON) 4.0L 缶 … 1
- ・PPG スタンダードクリア 5.0L 缶 … 1
- ・PPG MS ハードナースタンダード 3.0L 缶 … 4
- ・PPG871 D871 ミディアムシンナー 4.0L 缶 … 2
- ・PPG872 D872 スローシンナー 4.0L 缶 … 2

## ■工期

9月11日(木)	仮設足場設置
9月12日(木)	清掃、ケレン
9月13日(金)-14日(土)	下地補修 (ポリパテ処理)
9月15日(日)	プライマー塗布
9月16日(月)	裏面黒色塗装
9月19日(木)-21日(土)	各色塗装
9月25日(木)-26日(木)	クリア塗装
9月30日(月)	完了確認検査
10月2日(木)	仮設足場解体、竣工

## ■備考

この作品は、2011年の東日本大震災後、放射能汚染土が周囲に一時的に埋設され、汚染土撤去後には20cm近く盛り土され、脚部の作家サインと彫刻エディションが埋もれ、かなりみすぼらしい状態

にあった。幸い、寄託者も作品保全に理解を示し、美術館が開館40周年を迎える2024年までには修復を終わらせておく必要があるとの判断により、費用をご負担いただいた。

本作と同じ型から铸造された作品を所有する彫刻の森美術館の有田司氏に監修をお願いし、懇切で的確な指導助言により、作業はスムーズに進行した。レジェ財団指定の塗料を使うこと、有田氏の出張費用も経費に込めていただいた。施工は、塗装業者では福島市内で最も規模が大きく、歴史のある高野塗装店に依頼した。

天候にも恵まれ、施工職人の下地を生かした調整、再塗装も非常にうまく仕上がりと、制作時の輝きを取り戻したのは、何よりであった。この場を借り、関係各位に改めて感謝申し上げる。なお今後は、10年に一度は軽度のメンテナンスを行い、20年後には全面塗り替えが望ましい保全サイクルと考えられる。

(報告：堀 宜雄)



①修復前、2023年7月。塗装がはがれ、下地の白が出ているところがあり、脚部は、子供たちが上って遊んだため、躯体の金属がむき出しになってしまった。脚部は除染作業後の埋め戻し盛り土がかぶり、サインとエディションは土中にあった。



②9月11日、仮設足場の組立作業中。作業ステージは三階建て、さらに屋上部も設けられ、関係者以外が侵入できないよう囲いと施錠が施された。作品にぎりぎり接触しないように注意深く足場が設置された。



③9月15日。現場打合せ。塗装をはがし、下地を調整し、躯体内部の水抜きを行い、下地を再塗装。さらに色面を元通りに施すための輪郭確保用マスキングテープを貼り、下地のテクスチャー処理を打ち合わせて決めている。作業確認の最も重要な打合せである。



④10月2日、修復完了。塗装がおわり、足場撤去を行い、制作当初の鮮やかな色が現れた。脚部周辺の盛り土は除去したままとし、脚部に容易に上れないよう、結界の意味をこめた。凹みにはホームセンターから玉砂利を買い入れて撒いている。

## 第3節 展示事業

### 1 常設展示

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年4回(版画は年8回)展示替えを行っている。

令和5年度より各期に1回、学芸員が展示作品について解説する「常設トーク」を開催している。

#### (1) 常設展示

##### ① 「第1期コレクション展」

会期：前期＝令和5年3月28日(火)～4月27日(木)

後期＝令和5年4月28日(金)～6月18日(日)

内容：・春の日本画：小茂田青樹《薫房》、池田遥邨《大漁》ほか  
・福島の洋画：吉井忠、鎌田正蔵、若松光一郎、橋本章ほか  
・西洋の近代版画：エルンスト《博物誌》、ルオー《ミセレレ》ほか  
・追悼・大宮政郎

常設トーク：5月14日(日)14時～14時30分

担当：濱田洋亮(学芸員)、橋本恵里(学芸員)

参加者数：3名

出品リスト(\*は寄託作品)：

#### 展示室A

##### ◆春から初夏の日本画

小杉 放庵(1881-1964)《水菘訪客》大正末期 絹本墨画淡彩・軸装  
伊東 深水(1898-1972)《春光》1922(大正11)年頃 絹本著色・軸装  
山口 華楊(1899-1984)《畑》1925(大正14)年 絹本著色・屏風二曲一隻

小茂田 青樹(1891-1933)《薫房》1927(昭和2)年 紙本著色・屏風二曲一雙

木下 春(1892-1973)《機織》1934(昭和9)年 紙本著色・屏風二曲一隻

佐藤 玄々(朝山)(1888-1963)《蜥蜴》1940年代 木彫彩色 | 《巢鶏》1920(大正9)年頃 木彫彩色 ※すべて横井美恵子コレクション

安田 鞞彦(1884-1978)《茶室》1962(昭和37)年 紙本著色

猪巻 清明(1894-1974)《はさみ将棋》1934(昭和9)年 紙本著色

酒井 三良(1897-1969)《沖縄風俗》1955(昭和30)年 紙本墨画淡彩 | 《松籟》1964(昭和39)年 紙本墨画淡彩

##### ◆関根正二と大正期の洋画

宮川 教助(1898-1926)《逍遙》1922(大正11)年 カンヴァス・油彩

木村 荘八(1893-1958)《樹の下に遊んでいる子供》1915(大正4)年 カンヴァス・油彩

川口 軌外(1892-1966)《柘榴》1932(昭和7)年 カンヴァス・油彩

亀井 至一(1843-1905)《第四代田中太右衛門邦懿像》制作年不詳 カンヴァス・油彩 寄託

高橋 由一(1828-1894)《鐸木西美像》1881(明治14)年 カンヴァス・油彩 | 《栗子山昔時景》1881(明治14)年頃 カンヴァス・油彩

高橋 勝蔵(1860-1917)《WOODSHOLL(森の入江)》1906(明治39)年 カンヴァス・油彩 寄託

赤城 泰舒(1889-1955)《雨の止まみに》1914(大正3)年 紙・水彩\*

佐久間文吾(1868-1940)《花(牡丹)》制作年不詳 カンヴァス・油彩\*

小出 楯重(1887-1931)《けしの花》1926(大正15、昭和元)年 紙・グアッシュ

関根 正二(1899-1919)《一本杉の風景》1918(大正7)年頃 カンヴァス・油彩 | 《真田吉之助夫妻像》1918(大正7)年 カンヴァス・油彩 | 《神の祈り》1918(大正7)年頃 カンヴァス・油彩

安井 曾太郎(1888-1955)《テーブルの上》1912(大正元)年 カンヴァス・油彩

恩地 孝四郎(1891-1955)《静物(レモン)》1920(大正9)年 カンヴァス・油彩

#### 展示室B

##### ◆福島の洋画

鎌田 正蔵(1913-1999)《作品》1952(昭和27)年 カンヴァス・油彩 | 《春》1952(昭和27)年 カンヴァス・油彩 | 《[作品]》1958(昭和33)年 カンヴァス・油彩 | 《エスキース1》1958(昭和33)年 紙・水彩など | 《エスキース8》1957～58(昭和32～33)年 紙・水彩など

若松 光一郎(1914-1995)《北国の記念碑》1966(昭和41)年 カンヴァス・和紙・カゼインカラー・墨ほか | 《[作品]》1966(昭和41)年 板・カゼインカラー、墨、和紙ほか | 《宇宙の記念碑(-)》1977(昭和52)年 カンヴァス・カゼインカラー、墨、和紙ほか | 《大地の歌 26.1.86》1986(昭和61)年 カンヴァス・カゼインカラー、墨、和紙、油彩

橋本章(1919-2003)《国鉄新幹線》1980(昭和55)年 カンヴァス・油彩 | 《武装する都市》1979(昭和54)年 カンヴァス・油彩

田口 安男(1930-)《波から焔へ-A》1982(昭和57)年 カンヴァス・油彩、テンペラ | 《波から焔へ-B》1982(昭和57)年 カンヴァス・油彩、テンペラ

##### ◆斎藤清とその周辺 [前期]

川上 澄生(1895-1972)《女と洋燈(1)》1971(昭和46)年 | 《女と洋燈(2)》1971(昭和46)年 | 《女と洋燈(3)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(4)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(5)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(6)》1972(昭和47)年 ※すべて 紙・木版

斎藤 清(1907-1997)《ワイン、パリ》1960(昭和35)年 | 《憩い、パリ》1960(昭和35)年 | 《ショッピングガール・パリ》1960(昭和35)年 | 《本屋、セーヌ、パリ》1960(昭和35)年 | 《祈り(尼僧)パリ》1960(昭和35)年 | 《ノートルダム、パリ(B)》1960(昭和35)年 ※すべて紙・木版

##### ◆斎藤清とその周辺 [後期]

川上 澄生(1895-1972)《女と洋燈(1)》1971(昭和46)年 | 《女と洋燈(2)》1971(昭和46)年 | 《女と洋燈(3)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(4)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(5)》1972(昭和47)年 | 《女と洋燈(6)》1972(昭和47)年 ※すべて 紙・木版

斎藤 清(1907-1997)《パリ(2)》1961(昭和36)年 | 《パリ(3)》1961(昭和36)年 | 《パリ(4)》1961(昭和36)年 | 《パリ(5)》1961(昭和36)年 | 《雨、パリ(B)》1962(昭和37)年 | 《凝視、モデル、パリ(A)》1960(昭和35)年 ※すべて紙・木版

#### 展示室C

##### ◆印象派と海外の作品

アンドリュウ・ワイエス(1917-2009)《そよ風》1978年 紙・水彩  
カミーユ・ピサロ(1830-1903)《エラニーの菜園》1899年 カンヴァス・油彩

ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)《帽子を被る女》制作年不詳 カンヴァス・油彩

ヘンリー・ムーア(1898-1986)《母と子：腕》1980年 ブロンズ

◆西洋の近代版画 [前期]

マックス・エルンスト (1891-1976) <博物誌> (34点組) 1926年刊行  
紙・フロッタージュ・コロタイプより

《(1)海と雨》|《(2)一瞥》|《(4)雪の結晶模様のショール》|《(8)誤った位置》|《(11)鞭打ち、もしくは火山岩の紐》|《(17)魅惑的な糸杉》|《(28)死の食事》

ジョルジュ・ルオー (1871-1958) <ミセレーレ> 紙・銅版より

《(1)神よ、我を憐れみたまえ、御身の大きいなる慈悲によりて》1923年 | 《(7)我ら自らを王と思ひ》1923年 | 《(11)明日は晴れるだろう、難破した者は、そう言った》1922年 | 《(13)愛すれば心嬉しきに》1923年 | 《(23)「孤独者」通り》1922年 | 《(24)冬、大地の癩》1922年 | 《(30)われら…彼の死において、洗礼を受けたり》制作年判読不明 | 《(37)人は人にとって狼》1926年

フェルナン・レジェ (1881-1955) 《サーカス》1950年刊行 紙・リトグラフ(64点組のうち5点)

◆西洋の近代版画 [後期]

マックス・エルンスト (1891-1976) <博物誌> (34点組) 1926年刊行  
紙・フロッタージュ・コロタイプより

《彼ははるかかあなたに落ちていくだろう》|《木の葉の習性》|《予防接種を受けたパン》|《14歳以下の稲妻》|《戦場、洪水、地震の植物》|《太陽の通貨制度》|《すべてを忘れてしまうほど》

ジョルジュ・ルオー (1871-1958) <ミセレーレ> 紙・銅版より

《(8)顔に皺を描かぬ者はいようか?》1923年 | 《(20)見捨てられた十字架のイエスの下で》1926年 | 《(25)ジャン=フランソワは決してハレルヤを歌わず…》1923年 | 《(29)朝の祈りを歌えよ、日は甦る》1922年 | 《(26)渇きと怖れの国で》1923年 | 《(42)母たちに忌み嫌われる戦争》1927年 | 《(54)「死者よ起て!」》1927年 | 《(56)「高慢と無信仰のこの暗き時代に、地の果てより聖母は見守る」》1927年

フェルナン・レジェ (1881-1955) 《サーカス》1950年刊行 紙・リトグラフ(64点組のうち5点)

展示室 D

◆追悼・大宮政郎

大宮 政郎 (1930-2022) 《ミリオンカラットの友人たちⅢ》1987(昭和62)年 | 《ミリオンカラットの友人たちⅣ》1987(昭和62)年 | 《ミリオンカラットの友人たち イブ・クライン》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち エゴン・シーレ》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち ピョートル・チャイコフスキー》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち アーノルド・シェーンベルク》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち グスタフ・マーラー》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち ウラジミール・マヤコフスキー》1987-88(昭和62-63)年頃 | 《ミリオンカラットの友人たち ポール・セザンヌ》1987-88(昭和62-63)年頃 ※すべて綿・エッチング

屋外・ホール彫刻

ジャコモ・マンズー (1908-1991) 《車に乗った子供》1982年 ブロンズ  
林 範親 (1948-) 《路地裏》1994年 ナラ・ヒバ・古材・アクリル絵具  
佐藤 忠良 (1912-2011) 《若い女・シャツ》1982年 ブロンズ  
エミリオ・グレコ (1913-1995) 《スケートをする女》1951年 ブロンズ  
マリノ・マリーニ (1901-1980) 《騎手》1956-1957年 ブロンズ  
井上 武吉 (1930-1998) 《My Sky Hole 89-2》1989年 ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) 《歩く花》1952-53年 原型作成 ブロンズ・エナメル塗装 寄託



展示風景



常設トーク

② 「第Ⅱ期コレクション展」

会期：令和5年7月1日(土)～8月27日(日)

- 内容：・勝田蕉琴と福陽美術会：湯田玉水、酒井三良、荻生天泉、松本榮ほか  
・印象派とフランス美術：モネ《ジヴェルニーの草原》、ピサロ《エラニーの草原》ほか  
・日本の水彩画：後藤工志《[失題]》ほか  
・小関庄太郎と芸術写真

常設トーク：8月20日(日) 11時～11時30分

担当：濱田洋亮(学芸員)

参加者数：20名

出品リスト (\*は寄託作品)

展示室 A

◆没後60年・勝田蕉琴と福陽美術会

勝田蕉琴資料【インド関連資料】画稿6枚、はがき4枚、写真3枚  
【蕉琴写生画稿/福陽美術会資料】\*小下図2枚/\*写生画稿7枚/福陽美術会関連資料5点

勝田 蕉琴 (1879-1963) 《煙る小雨》1922(大正11)年 絹本着色

角田 磐谷 (1889-1970) 《漢織呉織之図》1916(大正5)年 絹本着色・屏風六曲一双

坂内 青嵐 (1881-1936) 《運動会之図》1915(大正4)年 絹本着色・屏風六曲一隻

猪巻 清明 (1894-1974) 《はさみ将棋》1934(昭和9)年 紙本着色

須田 善二 (1907-1964) 《溪の葉月》1936(昭和11)年 絹本着色\*

酒井 白澄 (1902-1985) 《閑炉》1958(昭和33)年 紙本着色

勝田 蕉琴 (1879-1963) 《出城釈迦図》1907(明治40)年 絹本着色

太田 秋民 (1881-1950)《唐美人図》制作年不詳 絹本着色  
 荻生 天泉 (1882-1946)《待宵》1925(大正 14)年 絹本着色  
 酒井 三良 (1897-1969)《村芝居》1921(大正 10)-1924(大正 13)年  
 絹本着色  
 湯田 玉水 (1879-1929)《霜風千林図》1926(大正 15)年 絹本墨画淡彩  
 木下 春 (1892-1973)《機織》1934(昭和 9)年 紙本着色・屏風二曲一  
 隻  
 室井 東志生 (1935-2012)《緑蔭》1960(昭和 35)年 紙本着色  
 菊地 養之助 (1908-2003)《煙突の下の子供達》1956(昭和 31)年 紙  
 本着色  
 黒沢 吉蔵 (1928-2009)《煙突》1956(昭和 31)年 紙本着色  
 永山 十志夫 (1917-2002)《街》1973(昭和 48)年 紙本着色  
 星 茂 (1925-2021)《木精》1979(昭和 54)年 紙本着色  
 太田 正弘 (1914-1978)《朝暉》1976(昭和 51)年 紙本着色  
 今井 珠泉 (1930-2023)《穹》1972(昭和 47)年 紙本着色  
 常盤 大空 (1913-1983)《華巖》1967(昭和 42)年 紙本着色  
 松本 榮 (1927-2007)《大王崎》1971(昭和 46)年 紙本着色  
 大山 忠作 (1922-2009)《O 先生》1946(昭和 21)年 紙本着色  
 ◆佐藤玄々の彫刻  
 佐藤 玄々(朝山) (1888-1963)《山兔》1951 年頃 木彫  
 《聖大黒天》1940 年代 木彫彩色 横井美恵子コレクション

#### 展示室 B

◆フランス美術の名品  
 クロード・モネ (1840-1926)《ジヴェルニーの草原》1890 年 カンヴァ  
 ス・油彩  
 カミュ・ピサロ (1830-1903)《エラニーの菜園》1899 年 カンヴァ  
 ス・油彩  
 ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)《帽子を被る女》制  
 作年不詳 カンヴァス・油彩  
 ジョルジュ・ルオー (1871-1958)《超人》1916 年 紙・油彩  
 〈ミセレーレ〉紙・銅版より | 《(39)われわれはみな愚かもの…》1922  
 年 | 《(49)心気高ければ、首筋強張らず》1926 年 | 《(58)我が癒さ  
 れたるは、彼の打傷によりてなり》1922 年  
 〈流れる星のサーカス〉紙・銅版より | 《(1)屏絵―見世物小屋の呼び込み》  
 1934 年 | 《(2)黒いピエロ》1935 年 | 《(3)苦いレモン》1935 年  
 ◆海外作品の名品  
 パブロ・ピカソ (1881-1973) 〈二人の裸婦〉18 点組 紙・リトグラフ  
 より  
 《(2)》1945 年 11 月 13 日 | 《(4)》1945 年 11 月 22 日 | 《(6)》  
 1945 年 11 月 26 日 | 《(8)》1946 年 1 月 5 日 | 《(10)》1946 年 1  
 月 17 日 | 《(12)》1946 年 1 月 24 日 | 《(14)》1946 年 1 月 31 日 |  
 《(16)》1946 年 2 月 6 日 | 《(18)》1946 年 2 月 12 日  
 ジョン・スローン (1871-1951)《ジェファーソンマーケット ナイト》  
 1911 年 カンヴァス・油彩  
 《サンタフェからの二人の女》1921 年 カンヴァス・油彩  
 ベン・シャーン (1898-1969)《トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・  
 ウォーカー》1932-1933 年 紙・グアッシュ | 《スイミングプール》  
 1945 年 ボード・テンペラ  
 ヘンリー・ムーア (1898-1986)《母と子：腕》1980 年 ブロンズ  
 アンドリュー・ワイエス (1917-2009)《農場にて》1988 年 紙・水彩  
 ◆安部直人の版画  
 安部 直人(1952-)《腐食と侵食Ⅳ》1980 年 紙・エッチング・アクア  
 チント

《まなざし》1990 年 | 《還元》1990 年 | 《崩壊の過程》1994 年 | 《水  
 の鏡・銅の鑑Ⅲ》2005 年 ※すべて紙・ディープエッチング、メゾチ  
 ント  
 ◆斎藤清の版画  
 斎藤 清 (1907-1997)《孤独》1948(昭和 23)年 | 《赤い花》1948(昭  
 和 23)年 | 《凝視(花)》1950(昭和 25)年 | 《アネモネ》1963(昭和  
 38)年 | 《影》1970(昭和 45)年  
 《月下美人(A)》1975(昭和 50) ※すべて紙・木版

#### 展示室 C

◆日本の水彩画  
 渡部 菊二 (1907-1947)《夏の女》1938(昭和 13)年 紙・水彩  
 《勤労の娘たち》1940(昭和 15)年 紙・水彩  
 長沢 節 (1917-1999)《いねむり》1972(昭和 47)年 カンヴァス・水  
 彩  
 吉田 博 (1876-1950)《小出雲村月出》1903(明治 36)頃 紙・水彩  
 赤城 泰舒 (1889-1955)《土塀》1920(大正 9)年 紙・水彩  
 後藤 文志 (1893-1929)《[風景]》1919(大正 8)年 紙・水彩 | 《風景》  
 1917(大正 6)年 紙・水彩  
 丸山 晚霞 (1867-1942)《溪流(飛騨蒲田の激湍)》1912(大正元)年 紙  
 ・水彩  
 ◆関根正二と近代の洋画  
 萬 鉄五郎 (1885-1927)《庫》1918(大正 7)年 カンヴァス・油彩  
 岸田 劉生 (1891-1929)《静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)》1918(大  
 正 7)年 カンヴァス・油彩  
 関根 正二 (1899-1919)《牛舎》1915(大正 4)年頃 | 《井上郁像》1917  
 (大正 6)年\* ※すべてカンヴァス・油彩 | 《裏の娘》1917(大正 6)年  
 紙・水彩、パステル、鉛筆  
 木村 莊八 (1893-1958)《母の像》1912(大正元)年 板・油彩  
 上野山 清貢 (1889-1960)《ムッシュ O の肖像》1915(大正 4)年 カン  
 ヴァス・油彩  
 寺田 政明 (1912-1989)《樹木と街》1980(昭和 55)年 板・油彩  
 松本 竣介 (1912-1948)《駅》1942(昭和 17)年 板・油彩  
 相田 直彦 (1888-1946)《都会の昼時》1933(昭和 8)年 紙・水彩 | 《花》  
 1925(大正 14)年 紙・水彩

#### 展示室 D

◆小関庄太郎と福島の写真家  
 村越 としや (1980-)《木立を抜けて》シリーズより 撮影 2009 年 / 発  
 表 2013 年\* | 《無題》2011 年\* ※すべてゼラチンシルバー・プリ  
 ント  
 小関 庄太郎 (1907-2003)《麓の家》1925(大正 14)年\* | 《田園小景》  
 1926(大正 15)年 | 《働き男》1936(昭和 11)年\* | 《路傍》1937(昭  
 和 12)年 | 《海辺夕景》1937(昭和 12)年 | 《夕照》1938(昭和 13)年 | 《落  
 陽社頭》1939(昭和 14)年 ※すべてゼラチン・シルバープリント  
 椿本 金三郎 (1897-1982)《白い犬》1928(昭和 3)年 ゼラチン・シル  
 バープリント  
 佐藤 信 (1897-1987)《都会》1928(昭和 3)年 ゼラチン・シルバー  
 プリント  
 本田 仙花 (1897-1951)《影》1924(大正 13)年 ゼラチン・シルバ  
 ープリント  
 川村 重和 (1901-1988)《海辺風景》1935(昭和 10)年 ゼラチン・シル  
 バープリント  
 金沢 治男 (1913-1939)《夜の静物》1935(昭和 10)年 ゼラチン・シル  
 バープリント

## 屋外・ホール彫刻

ジャコモ・マンズー (1908-1991) 《車に乗った子供》1982年 ブロンズ

林 範親 (1948-) 《路地裏》1994年 ナラ・ヒバ・古材・アクリル絵具

佐藤 忠良 (1912-2011) 《若い女・シャツ》1982年 ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) 《スケートをする女》1951年 ブロンズ

マリノ・マリーニ (1901-1980) 《騎手》1956-1957年 ブロンズ

井上 武吉 (1930-1998) 《My Sky Hole 89-2》1989年 ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) 《歩く花》1952-53年 原型作成  
ブロンズ・エナメル塗装\*



展示風景



常設トーク



## ③ 「第Ⅲ期コレクション展」

会期：前期＝令和5年9月16日(土)～11月2日(木)

後期＝令和5年11月3日(金)～12月27日(水)

内容：・現代の工芸：緑川宏樹《裂》ほか

・安斎コレクションと石原コレクション

・アメリカの美術：ワイエス《松ぼっくり男爵》ほか

・斎藤清の木版画：〈会津の冬〉シリーズほか

常設トーク：10月22日(日) 14時～14時30分

担当：月本寿彦 (副主任学芸員)

参加者数：11名

出品リスト (\*は寄託作品)

## 展示室 A

## ◆日本画の名品

速水 御舟 (1894-1935) 《晩冬の桜》1928年 / 《女二題 其一》《女二題 其二》1931年 全て絹本着色

勝田 蕉琴 (1879-1963) 《喬松蒼鷹》1928年 絹本着色

《安らかなる鳥の巢》1921年 絹本着色・屏風二曲一双

池田 遙邨 (1895-1988) 《大漁》1932年 絹本着色・屏風二曲一隻

山内 神斧 (1886-1966) 《和蘭陀船》1916年頃 麻布に着色、星野桂三氏寄贈

中島 清之 (1899-1989) 《胡瓜》1923年 絹本着色

岡村 宇太郎 (1899-1971) 《舞妓図》1925年5月 絹本着色

福王寺 法林 (1920-2012) 《バドガオンの月》1982年 / 《ヒマラヤの花》1983年 全て紙本着色

大山 忠作 (1922-2009) 《爽涼》1980年 紙本着色

内田 あぐり (1949-) 《ロマノフの海》1984年 紙本着色

鈴木 芳子 (1929-1998) 《ある家族の肖像》1975年 紙本着色

佐藤 玄々(朝山) (1888-1963) 《青鳩》1933年 / 《南洋人物像》1910年代、横井美恵子コレクション 全て木彫彩色

## ◆現代の工芸

根本 裕子 (1984-) 《野良犬》2020-2023年 陶\* ※受付横に展示

清水 卯一 (1926-2004) 《柿釉壺》1963年 / 《青瓷大鉢》1973年 全て陶器

加守田 章二 (1933-1983) 《灰釉壺》1964年 / 《灰釉花瓶》1960年代 / 《灰釉大皿》1966年頃 全て陶器

鈴木 治 (1926-2001) 《泥像》1965年 / 《馬形》1982年 / 『掌上泥象三十八景』1987年原型制作・2000年焼成 全て陶器

山田 光 (1923-2001) 《作品》1966年 陶土 / 《黒陶と金彩の窓》1981年 黒陶・金彩 / 《銀泥 楢円のパイプ》1995年 陶・ステンレス・銀泥

緑川 宏樹 (1938-2010) 《薄(うすら)》1990年頃 / 《裂》1988年頃 / 《裂》1988年頃 全て陶

## 展示室 B

## ◆日本の洋画—大正から昭和—

上山野 清貞 (1889-1960) 《ムッシュOの肖像》1915年 カンヴァス・油彩

関根 正二 (1899-1919) 《姉弟》1918年 / 《一本杉の風景》1918年頃 全てカンヴァス・油彩

木村 荘八 (1893-1958) 《於東京帝大構内》1927年 / 《樹の下に遊んでいる子供》1915年 全てカンヴァス・油彩

瑛 九 (1911-1960) 《建物》1948年 カンヴァス・油彩

吉井 忠 (1908-1999) 《赤い風景》1939年 カンヴァス・油彩

長谷川 利行 (1891-1940) 《浅草の女》1935年 カンヴァス・油彩

前田 寛治 (1896-1930)《後向き裸婦》1927年 カンヴァス・油彩、河野保雄コレクション

◆石原コレクション

舟越 保武 (1912-2002)《R》1986年 ブロンズ、石原コレクション  
 笹戸 千津子 (1948-)《彫刻家》1988年／《おんなの子》1994年 ブロンズ、石原コレクション

佐藤 忠良 (1912-2011)《ジャコピン》1977年 ブロンズ、石原コレクション

吾妻 兼治郎 (1926-2016)《鳥》制作年不詳 軽合金・樹脂パネル他／《MU-785》1978年 ブロンズ 全て石原コレクション

流 政之 (1923-2018)《風の実》1977年 研ぎ出しブロンズ、石原コレクション

澄川 喜一 (1931-2023)《そりのあるかたち》1980年 ブロンズ、石原コレクション

マリノ・マリーニ (1901-1980)《馬と騎手》1972年 紙・リトグラフ、石原コレクション

ヘンリー・ムーア (1898-1986)《母と子：腕》1980年 ブロンズ  
 《彫刻のアイデア I》1980年 紙・エッチング・アクアチント、石原コレクション

オーギュスト・ロダン (1840-1917)《髪をすく女》1900年以前(2002年鑄造)／《柱上のフナイユ夫人の胸像》1898-1900年 (1996年鑄造) 全てブロンズ、石原コレクション

ジャン・カルトン (1912-1988)《乳房を吸う幼子》制作年不詳 ブロンズ、石原コレクション

◆安齋勇雄コレクション

亜欧堂 田善 (1748-1822)《陸奥国石川郡大隈滝芭蕉翁碑之図》1814年 紙・銅版、安齋勇雄コレクション

チャールズ・ワーグマン (1832-1891)《風景(山峡)》制作年不詳／《風景》制作年不詳 全て紙・水彩、鉛筆 安齋勇雄コレクション

白瀧 幾之助 (1873-1960)《風景》制作年不詳 紙・水彩、安齋勇雄コレクション

恩地 孝四郎 (1891-1955)《北京風景》1939年 紙・油彩 安齋勇雄コレクション

海老原 喜之助 (1912-1986)《馬と少年》制作年不詳 紙・水彩、安齋勇雄コレクション

野地 正記 (1914-1997)《愛神》1966-67年 紙・水彩・インク、安齋勇雄コレクション

春日部 たすく (1914-1997)《樹間の美瑛》制作年不詳 紙・水彩、安齋勇雄コレクション

井上 長三郎 (1906-1995)《自画像》1980年 カンヴァス・油彩、安齋勇雄コレクション

小山田 二郎 (1914-1991)《鳥女》1979年／《子供》1980年 全て紙・水彩、安齋勇雄コレクション

展示室C

◆アメリカの美術 [前期]

ジョン・スローン (1871-1951)《サンタフェからの二人の女》1921年 カンヴァス・油彩

アンドリュー・ワイエス (1917-2009)《ガニング・ロックス》1966年 紙・水彩／《松ぼっくり男爵》1976年 ボード・テンペラ

ベン・シャーン (1898-1969)《農民にたずねよ》1941年 ボード・グアッシュ／《労働者より農民へ…感謝をこめて》1944年 紙・オフセット／『リルケ「マルテの手記」より 一行の詩のためには…』より《多くの事物を》《飛ぶ鳥の姿》《小さな草花のたたずまい》《少年時代の病気を》《一篇の詩の最初の言葉》1968年 紙・リトグラフ

清水 登之 (1887-1945)《十四番街の地下鉄駅》1918年 カンヴァス・油彩

レジナルド・マーシュ (1898-1954)《回転ブランコ》1931年 板・テンペラ

国吉 康雄 (1889-1953)《婦人と子供》1920年 カンヴァス・油彩／《綱渡りの女》1938年 紙・リトグラフ

野田 英夫 (1908-1939)《牛乳ワゴン》1936年 カンヴァス・油彩／《少女》1936年 カンヴァス・油彩、河野保雄コレクション

◆アメリカの美術 [後期]

ジョン・スローン (1871-1951)《サンタフェからの二人の女》1921年 カンヴァス・油彩

アンドリュー・ワイエス (1917-2009)《ガニング・ロックス》1966年 紙・水彩／《松ぼっくり男爵》1976年 ボード・テンペラ

ベン・シャーン (1898-1969)《農民にたずねよ》1941年 ボード・グアッシュ／《我々は平和を望んでいる》1946年 紙・リトグラフ／『リルケ「マルテの手記」より 一行の詩のためには…』より《思いがけぬ邂逅》《少年の日の思い出を》《星くずとともに消え去った旅寝の夜々》《愛にみちた多くの夜の回想》《産婦の叫び》1968年 紙・リトグラフ

清水 登之 (1887-1945)《十四番街の地下鉄駅》1918年 カンヴァス・油彩

レジナルド・マーシュ (1898-1954)《回転ブランコ》1931年 板・テンペラ

国吉 康雄 (1889-1953)《婦人と子供》1920年 カンヴァス・油彩／《綱渡りの女》1938年 紙・リトグラフ

野田 英夫 (1908-1939)《牛乳ワゴン》1936年 カンヴァス・油彩／《少女》1936年 カンヴァス・油彩、河野保雄コレクション

◆ヨーロッパの美術

カミーユ・コロー (1796-1875)《ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道》1873年 カンヴァス・油彩

カミーユ・ピサロ (1830-1903)《エラニーの菜園》1899年 カンヴァス・油彩

ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919)《帽子を被る女》制作年不詳 カンヴァス・油彩

展示室D

◆斎藤清の会津 [前期]

斎藤 清 (1907-1997)《会津の家(A)》1972年／《会津の家(H)》1974年／《稔りの会津(2)》1975年／《稔りの会津(1)》1975年／《柿の会津(2)》1973年／《只見川、会津柳津(1)》1979年／《只見川、会津柳津(2)》1979年／《会津の冬(51)》1982年／《会津の冬(57)》1982年 全て紙・木版

◆斎藤清の会津 [後期]

斎藤 清 (1907-1997)《会津の冬(1)》1970年／《会津の冬(3)》1970年／《会津の冬(10)》1970年／《会津の冬(17)》1970年／《会津の冬(19)》1970年／《会津の冬(21)》1974年／《会津の冬(29)》1977年／《会津の冬(32)》1978年／《会津の冬(50)》1981年／《会津の冬(71) 若松》1987年 全て紙・木版

◆戦後日本の版画 [前期]

駒井 哲郎 (1920-1976)《思い出》1948年／《東の間の幻影》1950年／《海底の祭》1951年 全て紙・銅版

清宮 質文 (1917-1991)《ある空間(蝶)》1962年／《九月の海辺》1962年／《虜囚の窓》1972年／《窓のカンテラ》1972年／《入日》1972年／《夕日の静物》1972年 全て紙・木版

山中 現 (1954-)《光の海で》《路の途中で》2009年 全て和紙・木版

◆戦後日本の版画 [後期]

駒井 哲郎 (1920-1976) 《墓 (マルドロオルの歌)》1956年 / 《鳥と果実》1959年 / 《調理場》1960年 全て紙・銅版  
 清宮 質文 (1917-1991) 《火屋の中》1966年 / 《歳月》1970年 / 《葬送の花火》1973年 / 《深夜の蠟燭》1974年 / 《早春の静物》1977年 全て紙・木版  
 山中 現 (1954-) 《もうひとつの赤》《連》《夜よりほかに》2008年 全て和紙・木版

#### 屋外・ホール彫刻

井上 武吉 (1930-1998) 《My Sky Hole 89-2》1989年 ステンレス  
 エミリオ・グレコ (1913-1995) 《スケートをする女》1951年 ブロンズ  
 佐藤 忠良 (1912-2011) 《若い女・シャツ》1982年 ブロンズ  
 林 範親 (1948-) 《路地裏》1994年 ナラ・ヒバ・古材・アクリル絵具  
 マリノ・マリーニ (1901-1980) 《騎手》1956-57年 ブロンズ  
 ジャコモ・マンズー (1908-1991) 《車に乗った子供》1982年 ブロンズ  
 フェルナン・レジェ (1881-1955) 《歩く花》1952-53年 ブロンズ\*



展示風景



常設トーク

#### ④ 「第IV期常設展」

会期：令和6年1月10日(木)～3月3日(日)

内容：・戦後の日本画：横山操《闇迫る》ほか

・関根正二と大正期の洋画：関根正二《姉弟》ほか

・50年前の美術—再考 1970年代：横尾忠則《葬列II》ほか

・アメリカの美術 ベン・シャーン《ラッキー・ドラゴン》

常設トーク：2月18日(日) 11時～11時30分

担当：濱田洋亮 (学芸員)

参加者数：15名

出品リスト (\*は寄託作品)

#### 展示室 A

##### ◆戦後の日本画

山本 丘人 (1900-1986) 《月夜の噴煙》1962年 絹本着色

今井 珠泉 (1930-2023) 《夕照》1967年 紙本着色・屏風二曲一隻

黒沢 吉蔵 (1928-2009) 《起重機》1956年 / 《煙突》1956年 紙本着色

永山 十志夫 (1917-2002) 《街》1973年 / 《雨の窓》1974年 紙本着色

朝倉 摂 (1922-2014) 《寮》1952年 / 《おんな》1955年頃 カンヴァス・岩絵具

横山 操 (1920-1973) 《闇迫る》1958年 麻布着色 / 《黒い工場(下図)》1956年 紙・コンテ・墨 / 《黒い工場》1961年 紙本着色

太田 正弘 (1914-1978) 《北壁》1963年 紙本着色

水戸 童 (1937-) 《家族》1971年 紙本着色

佐藤 園夫 (1922-2006) 《少年と馬》1980年 紙本着色

##### ◆佐藤玄々(朝山)の木彫

佐藤 玄々(朝山) (1888-1963) 《牝猫》1928年 木彫 / 《聖大黒天》1940年代、木彫彩色

##### ◆関根正二と大正期の洋画

関根 正二 (1899-1919) 《牛舎》1915年頃 カンヴァス・油彩 / 《裏の娘》1917年 紙・水彩、パステル、鉛筆 / 《風景》1918年頃 板・油彩 / 《一本杉の風景》1918年 カンヴァス・油彩 / 《姉弟》1918年 カンヴァス・油彩

丸山 晚霞 (1867-1942) 《溪流 (飛騨蒲田の激湍)》1912年 紙・水彩

小出 楯重 (1887-1931) 《けしの花》1926年 紙・グアッシュ

安井 曾太郎 (1888-1955) 《テーブルの上》1912年 カンヴァス・油彩

恩地 孝四郎 (1891-1955) 《自画像D(白和服)》1919年 / 《静物(レモン)》1920年 カンヴァス・油彩

岸田 劉生 (1891-1929) 《自画像》1914年 / 《静物 (白き花瓶と台皿と林檎四個)》1918年 カンヴァス・油彩 / 《畑と赤土の道 (浜松風景)》1920年 板・油彩 河野保雄コレクション

春日部 たすく (1903-1985) 《電柱のある風景》1924年 紙・水彩 / 《二十三歳の自画像》1926年 カンヴァス (ボール紙に貼付)・油彩

古賀 春江 (1885-1933) 《赤い風景》1926年 紙・水彩

#### 展示室 B

##### ◆50年前の美術—1970年代の姿かたち

岡本 太郎 (1911-1996) 《太陽の塔》1970年 鉄 河野保雄コレクション

秀島 由己男 (1934-2018) 《《霊歌》ベトナム》1971年 紙・メゾチント

丹治 日良 (1925-2013) 《ガードのある風景》1972年 カンヴァス・油彩

野田 哲也 (1940-) 《日記 1973年10月25日》1973年 / 《日記 1975年11月12日 (c)》1975年 / 《日記 1977年3月3日 (b)》1977年 全て紙・木版、シルクスクリーン / 《日記 1974年9月1日》1974年 紙・リトグラフ

木村 光佑 (1936-) 《アウト・オブ・タイム No.24》《アウト・オブ・タイム No.25》《アウト・オブ・タイム No.26》1970年 紙・アクリル・リトグラフ・セリグラフ

新国 孝雄 (1931-1990) 《黒いリンゴ》1972年 石

靄 嘔 (1931-) 《レインボー北斎・ポジション (A)》1970年 紙・シルクスクリーン

三浦 哲行 (1929-2020) 《仮晶 I》1973年 カンヴァス・油彩

オノサト トシノブ (1912-1986) 《作品》1974年 カンヴァス・油彩

山田 正亮 (1930-2010) 《Work D-321》《Work D-325》1979年 カンヴァス・油彩

斎藤 清 (1907-1997) 《波 (A)》 / 《流れ (A)》 / 《赤い実 (A)》1975年 紙・木版

土橋 醇 (1910-1978) 《スペインの幻想》1973年 板・油彩・コラージュ

建畠 寛造 (1919-2006) 《SMOKE》1970年 強化プラスチック・アクリル塗装

星野 眞吾 (1923-1997) 《暗色の記憶》1979年 紙・岩絵具など

工藤 哲巳 (1935-1990) 《危機の中の芸術家の肖像》1976年 鳥かご・ミクストメディア

◆没後10年 河野保雄コレクション

吉井 忠 (1908-1999) 《河野保雄像》1950-60年代 紙・水彩 河野保雄コレクション

長谷川 利行 (1891-1940) 《カフェーオリエント》1935年 カンヴァス・油彩 河野保雄コレクション

麻生 三郎 (1913-2000) 《街と人》1959年 カンヴァス・油彩 河野保雄コレクション

青木 繁 (1882-1911) 《漁夫晩帰 下図》1908年 カンヴァス・油彩 河野保雄コレクション

藤島 武二 (1867-1943) 《夜の黄浦江》1941年頃 板・油彩 河野保雄コレクション

三岸 好太郎 (1903-1934) 《風景》1927年 カンヴァス・油彩 河野保雄コレクション

竹久 夢二 (1884-1934) 《花火 (『婦人クラブ』8月号表紙)》1924年 紙・木版 河野保雄コレクション

中原 淳一 (1913-1983) 《もののおもひ》制作年不詳 紙・石版 河野保雄コレクション

初山 滋 (1897-1973) 《へんなぞう》1964年 紙・水彩 河野保雄コレクション

#### 展示室 C

##### ◆フランス美術の名品

カミーユ・コロー (1796-1875) 《ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロー家へ向かう池沿いの道》1873年 カンヴァス・油彩

ピサロ・カミーユ (1830-1903) 《エラニーの菜園》1899年 カンヴァス・油彩

ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919) 《帽子を被る女》制作年不詳 カンヴァス・油彩

##### ◆ベン・シャーンとアメリカ絵画

ベン・シャーン (1898-1969) 『ドレフュス事件』「(1) 鑑定人たち」「(2) ラボリとピカール」「(3) パレオローグとドゥマンジュ」「(4) ドレフュス大尉」「(5) エステラジー」「(6) ジョルジュ・ピカール」「(7)

デュ・パティ・ドゥ・クラム」「(8) ラボリ弁護士」1930年 (1984年刊行)、紙・ポショワール

《我々フランス労働者は警告する》1942年 / 《我が友よ》1944年 紙・オフセット / 《恐怖の夜の町》1951年 ボード・グアッシュ・テンペラ / 《ラッキードラゴン》1960年 綿布・テンペラ / 《創造のアルファベット》1963年 紙・グアッシュ

アンドリュー・ワイエス (1917-2009) 《ドイツ人の住むところ》1973年 / 《冬の水車小屋》1978年 紙・水彩

トーマス・ハート・ベントン (1889-1975) 《サワーウッド・マウンテンで彼女ができたよ》1938年 / 《川下り》1939年 / 《麦を収穫する》1939年 / 《日曜日の朝》1939年 紙・リトグラフ

ヘンリー・ムーア (1898-1986) 《母と子：腕》1980年 ブロンズ

#### 展示室 D

##### ◆創作版画の世界

斎藤 清 (1907-1997) 《少女》1936年 / 《郷の稚児》1938年 / 《少女》1938年 / 《会津の冬 (坂下)》1938-40年頃 / 《港・小樽》1948年 / 《みろく》1948年 / 《凝視 (猫)》1948年 / 《椿》1948年 / 《白い夢》1949年 / 《赤い実》1950年 紙・木版

山本鼎 (刻) / 青木繁 (画) (1882-1946 / 1882-1911) 《鑄斧》1905年 紙・木口木版

南 薫造 (1883-1950) 《風景》1912年頃 紙・木版

田中 恭吉 (1892-1915) 《画稿より》1915年 紙・木版

恩地 孝四郎 (1891-1955) 《母と子》1917年 紙・木版

平川 清蔵 (1897-1964) 《失題 (草の中)》1931年 紙・木版

川上 澄生 (1895-1972) 《賭博者》1925年 紙・木版

藤森 静雄 (1891-1943) 《路傍の子猫》1929年 紙・木版

谷中 安規 (1897-1946) 《詩巻 (心の花 I)》1934年 紙・木版

川西 英 (1894-1965) 《ダンスホール》1932年 紙・木版

平塚 運一 (1895-1997) 《雪のニコライ堂》1935年 紙・木版

長谷川 潔 (1891-1980) 《サン＝ポール＝ド＝ヴァンスの風景》1936年 紙・銅版

#### 屋外・ホール彫刻

井上 武吉 (1930-1998) 《My Sky Hole 89-2》1989年 ステンレス

エミリオ・グレコ (1913-1995) 《スケートをする女》1951年 ブロンズ

佐藤 忠良 (1912-2011) 《若い女・シャツ》1982年 ブロンズ

林 範親 (1948-) 《路地裏》1994年 ナラ・ヒバ・古材・アクリル絵具

マリノ・マリーニ (1901-1980) 《騎手》1956-57年 ブロンズ

ジャコモ・マンズー (1908-1991) 《車に乗った子供》1982年 ブロンズ

フェルナン・レジェ (1881-1955) 《歩く花》1952-53年 ブロンズ\*



常設トーク

## 2 特集展示

### (1) 眼にうつる詩—美術と文学の交差点



A3 チラシ

会 期：令和5年5月30日(火)～6月18日(日) 開催日数 18日

分 野：海外、洋画、日本画、版画

展示数：146点

観覧料：常設展料金

観覧者数：1,198名

担 当：濱田洋亮、坂本篤史

関連事業：

・ギャラリートーク

講師：濱田洋亮（学芸員）

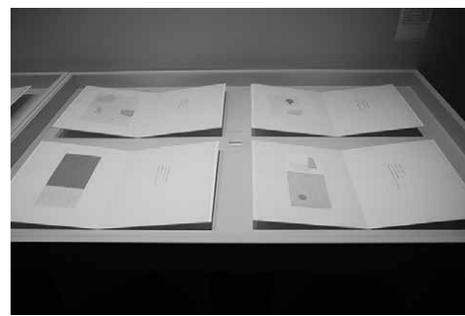
日時：6月3日(土) 14時～15時

場所：企画展示室

参加者数：25名

概要：

古くから美術と文学は親和する関係にあるとされてきた。当館にも、明治期から現代に至るまでの文学と関わりをもった美術作品が多数収蔵されている。それらから見えてくるのは、美術と文学には、社会や時代背景と接続する多彩な関わり合いがあることだ。美術家と文学者の交流や、画家をモデルにした小説、あるいは自ら詩作をした美術家など、美術と文学は芸術ジャンルの領域を越えて交錯していた。この展覧会では、当館の収蔵作品から美術と文学の様々なつながりを紹介し、美術を通して文学史の一側面を辿った。



展示風景



ギャラリートーク

## 出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質技法(形状)/所蔵及び備考]

## ◆第1章 自然を見る—写生の文芸

- 1 / カミーユ・コロー・ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロエ家へ向かう池沿いの道 / 1873 / カンヴァス・油彩
- 2 / 徳富 健次郎(蘆花) / 『自然と人生』(東京民友社、1900年刊)
- 3 / 『アララギ』復刻版(全15巻、教育出版センター、1981年刊)  
※初版:1908(明治41)年10月～1934(昭和9)年12月
- 4 / 小川千襲 / 短冊(門間春雄関係資料より) / 1916(大正5) / 絹本着色
- 5 / 小川 千襲 / 門間春雄訪問記(門間春雄関係資料より) / 1917(大正6) / 紙本墨画(画帖)
- 6 / 斎藤茂吉色紙写真(門間春雄関係資料より) / 不詳
- 7 / 小川 芋銭 / 門間春雄宛書簡(門間春雄関係資料より) / 1916(大正5) / 紙本墨書
- 8 / 門間 春雄 / 『門間春雄歌集』(岩波書店、1931年刊、装幀:平福百穂)
- 9 / 小川 芋銭 / 細道絵日記 / 1911(明治44) / 紙本墨画淡彩(卷子装)
- 10 / 小川 芋銭 / 飲中八仙図 / 1916(大正16) / 紙本墨画淡彩(屏風八曲一隻) / 寄託
- 11 / 小川 千襲 / 秋の芭蕉翁 / 不詳 / 紙本墨画
- 12 / 平福 百穂 / ふき / 不詳 / 紙本墨画淡彩(屏風二曲一隻)
- 13 / 斎藤 茂吉 / 『短歌寫生の説』(鐵塔書院、1929年)
- ◆第2章 生命の沸騰—デカダンスの美術と文学
- 14 / 『白樺』復刻版(全14巻、岩波ブックセンター、1988年刊) ※初版:1910(明治43)年4月～1923(大正12)年8月 / 福島県立図書館蔵
- 15 / 岸田 劉生 / (1) 欲望(〈天地創造〉より) / 1914(大正3) / 紙・銅版
- 16 / 岸田 劉生 / (2) 怒れるアダム(〈天地創造〉より) / 1914(大正3) / 紙・銅版
- 17 / 岸田 劉生 / (3) 石を噛む人(〈天地創造〉より) / 1914(大正3) / 紙・銅版
- 18 / 岸田 劉生 / 地 / 1915(大正4) / 紙・水彩、インク、鉛筆
- 19 / オーギュスト・ロダン / 《影》の頭部 / 不詳(1995年鑄造) / ブロンズ / 石原コレクション
- 20 / 関根 正二 / 自画像 / 1916(大正5)頃 / 紙・インク
- 21 / 関根 正二 / 死を思う日 / 1915(大正4) / カンヴァス・油彩 / 寄託
- 22 / 関根 正二 / 風景 / 1915(大正4)頃 / カンヴァス・油彩 / 寄託
- 23 / 素木しづ / 『轉機』(『黒潮』2巻9号[太陽通信社、1917年刊]より)
- 24 / 久米 正雄 / 『弱き心』(春陽堂、1920年刊)
- 25 / 村山 槐多 / 樹木(けやき) / 1917(大正6)頃 / 紙・木炭
- 26 / 村山 槐多 / 庭園の少女 / 1914(大正3) / 紙・水彩
- 27 / 村山 槐多 / 『槐多の歌へる』(アルス、1920年刊)
- 28 / 村山 槐多 / 『槐多の歌へる』[豪華版](アルス、1927年刊、装幀:恩地孝四郎)
- 29 / 草野 心平 / 『村山槐多』(株式会社日動出版部、1976年刊)
- 30 / 恩地 孝四郎 / 自画像D(白和服) / 1919(大正8) / カンヴァス・油彩
- 31 / 恩地 孝四郎 / (1) 死によりてあげらるる生(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 32 / 田中 恭吉 / (2) 画稿『埋葬の日』(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 33 / 藤森 静雄 / (3) 亡びゆく肉(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・

## 木版

- 34 / 藤森 静雄 / (4) 枝をはなれし一つの果(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 35 / 藤森 静雄 / (5) 聖なる夜 (『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 36 / 藤森 静雄 / (6) 墓穴を掘る人々(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 37 / 藤森 静雄 / (7) 妹の葬らるるべき日(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 38 / 藤森 静雄 / (8) へだてられたるもの(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 39 / 藤森 静雄 / (9) 悲しきねがひ(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 40 / 恩地 孝四郎 / (10) 泪してあふぐ日(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 41 / 恩地 孝四郎 / (11) おさむるものと地の哀傷(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 42 / 恩地 孝四郎 / (12) とぶもの・つけるもの(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 43 / 恩地 孝四郎 / (13) のこころ(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 44 / 恩地 孝四郎 / (14) そらよりくだるかげ(『月映』IVより) / 1915(大正4) / 紙・木版
- 45 / 恩地 孝四郎 / ポエム No.2 山の属 / 1937(昭和12) / 紙・木版
- 46 / 恩地 孝四郎 / 「氷島」の著者 萩原朔太郎像 / 1955(昭和30)頃 [平井版] / 紙・木版 / ※初版:1943(昭和18)年
- 47 / 恩地 孝四郎 / Poem "Winter" / 1953(昭和28) / 紙・石版 / 河野保雄コレクション
- 48 / 田中 恭吉 / 悔恨(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 49 / 田中 恭吉 / 冬の夕(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 50 / 田中 恭吉 / 死人とあとに残れるもの(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 51 / 田中 恭吉 / こもるみのむし(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 52 / 田中 恭吉 / 懈怠(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 53 / 田中 恭吉 / 画稿より I (『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 54 / 田中 恭吉 / 画稿より II (『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 55 / 田中 恭吉 / 画稿より III (『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 56 / 恩地 孝四郎 / 抒情(ひとりすめば)(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 57 / 恩地 孝四郎 / 抒情(よろこびすみ)(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 58 / 恩地 孝四郎 / 抒情(よろこびあふれ)(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 59 / 田中 恭吉 / 空にさくエーテルの花(『月に吠える』挿画) / 1915(大正4) / 紙・木版 / 寄託(安斎勇雄コレクション)
- 60～71 / 竹久 夢二 / 『露地のほそみち』より1～12 / 1926(大正

- 15) / 紙・木版 / 河野保雄コレクション
- ◆第3章 眼にうつる詩一視覚と言葉の交歓
- 72 / 井上 長三郎 / ドン・キホーテ / 不詳 / カンヴァス・油彩 / 河野保雄コレクション
- 73 / 長谷川 潔 / 狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話) / 1963(昭和38) / 紙・メゾチント
- 74 / 桂 ゆき / ブドウとキツネ / 不詳 / ガラス・油彩 / 河野保雄コレクション
- 75 / 谷内 六郎 / 狸囃子 / 不詳 / 紙・油彩 / 河野保雄コレクション
- 76 ~ 85 / マルク・シャガール / 少年時代の思い出(10点組) / 1958(1958年刊行) / 紙・エッチング、アクアチント
- 86 ~ 109 / ベン・シャーン / <リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには…> より
- 86 / 扉1 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 87 / 扉2 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 88 / 多くの都市を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 89 / 多くの人々を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 90 / 多くの事物を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 91 / 禽獣を知らねばならぬ / 1968 / 紙・リトグラフ
- 92 / 飛ぶ鳥の姿 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 93 / 小さな草花のたたずまい / 1968 / 紙・リトグラフ
- 94 / まだ知らぬ国々の道を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 95 / 思いがけぬ邂逅 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 96 / 遠くから近づいて来るのが見える別離 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 97 / 少年の日の想い出を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 98 / 心を悲しませてしまった両親を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 99 / 少年時代の病気を / 1968 / 紙・リトグラフ
- 100 / 静かなしんとした部屋で / 1968 / 紙・リトグラフ
- 101 / 海辺の朝 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 102 / 海そのものの姿 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 103 / 星くずとともに消え去った旅寝の夜々 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 104 / 愛にみちた多くの夜の回想 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 105 / 産婦の叫び / 1968 / 紙・リトグラフ
- 106 / 白衣の中に眠りおちて恢復をまつ産後の女 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 107 / 死んでゆく人の枕もと / 1968 / 紙・リトグラフ
- 108 / 死者の傍で / 1968 / 紙・リトグラフ
- 109 / 一篇の詩の最初の言葉 / 1968 / 紙・リトグラフ
- 110 / ベン・シャーン 詩篇 133 / 1963 / 紙・リトグラフ
- 111 / ベン・シャーン 伝道の手紙 / 1966 / 紙・リトグラフ
- 112 / ベン・シャーン 創造のアルファベット / 1963 / 板に貼られた紙・ゲアッシュ
- 113 / 村上 善男 / 卍町に釘打ち(参) / 1983(昭和58) / カンヴァス・紙・アクリル
- 114 / 村上 善男 / 卍町に釘打ち(四) / 1983(昭和58) / カンヴァス・紙・アクリル
- 115 / 村上 善男 / 津軽・赤倉山系大石神社越後屋 千代吉帰還之圖・冬圖 / 1997(平成9) / 和紙・布・紐、アクリル
- 116 / 椋木 弘 / 『澱循環』(北奥舎、1984年刊)
- 117 / 椋木 弘 / 『林檎蜂起』(北奥舎、1986年刊)
- 118 / 椋木 弘 / 『鱈景』(詩行舎、1996年刊)
- 119 / 椋木 弘 / 『塩景』(斜塔出版、1998年刊)
- 120 / 高橋 昭八郎 / 『第一語の暗箱』(私家版、2004年刊)
- 121 / 『VOU』119号(VOU、1969年刊)
- 122 / 『VOU』123号(VOU、1970年刊)
- 123 ~ 130 / 日和崎 尊夫 / 詩画集《卵》(詩：嶋岡晨、8点組、シロタ画廊、1969年刊)
- 131 / 柄澤 齊 / 肖像IV アルチュール・ランボー / 1982(昭和57) / 紙・木口木版
- 132 / 柄澤 齊 / 肖像VI マルセル・ブルースト / 1983(昭和58) / 紙・木口木版
- 133 / 柄澤 齊 / 肖像VII シャルル・ボードレー / 1983(昭和58) / 紙・木口木版
- 134 / 柄澤 齊 / 肖像XIII エドガー・アラン・ポー / 1983(昭和58) / 紙・木口木版
- 135 / 柄澤 齊 / 肖像XVI マティアス・グリューネバルト / 1983(昭和58) / 紙・木口木版
- 136 / 柄澤 齊 / 肖像XXXV 泉鏡花 / 1985(昭和60) / 紙・木口木版
- 137 ~ 144 / 山中 現 / 詩画集《水の庭》(詩：松永伍一、シロタ画廊、2003年刊)より
- 137 / 水の庭 / 和紙・木版
- 138 / 雲の静物 / 和紙・木版
- 139 / 影の旅 / 和紙・木版
- 140 / 大地の音 / 和紙・木版
- 141 / 空の種 / 和紙・木版
- 142 / 星の果実 / 和紙・木版
- 143 / 石の声 / 和紙・木版
- 144 / 時の河 / 和紙・木版
- ベン・シャーン / 『創造のアルファベット』(Pantheon Books、1954年刊)
- ベン・シャーン / 『内容の外形』(Harvard University Press、1957年刊)
- ルイス・ウンターマイヤー / 『ラブ・ソネツ』(The Odyssey Press、1964年刊、ベン・シャーン装幀)
- ベン・シャーン / 『詩は甘美なりし』(The Odyssey Press、1965年刊)
- ベン・シャーン / 『文字をめぐる愛とよろこび』(Grossman Publisher、1963年刊)

### 3 企画展示

#### (1) 美をつくしー大阪市立美術館コレクション



B2 ポスター

会 期：令和 5 年 3 月 21 日(火)～5 月 21 日(日)

開催日数 54 日 (令和 5 年度 44 日)

分 野：絵画、書籍、彫刻、工芸等

展示数：約 180 点

主 催：大阪市立美術館ふくしま展実行委員会

[構成：福島県立美術館、テレビユー福島、福島民報社]

企画協力：大阪市立美術館、毎日新聞社

観覧料：一般 1,300 (1,100) 円、高校・大学生 1,000 (800) 円、小・中学生 400 (300) 円 ※ ( ) 内は前売および 20 名以上の団体料金

観覧者数：18,703 名 (令和 4 年度 2,698 名)

担 当：増淵鏡子、宮武 弘、月本寿彦

関連事業：

- ・講演会「大阪市立美術館のコレクションについて」  
講師：内藤 栄氏 (大阪市立美術館館長)  
日時：4 月 22 日(土) 14 時～15 時 30 分  
場所：美術館講堂  
参加者数：85 名

概要：

昭和 11 年 (1936) 5 月、庭園 (慶沢園) とともに大阪市に寄贈された住友家の本邸があった天王寺茶白山の地に、大阪市立美術館は開館した。8,500 件以上にのぼる所蔵作品は、日本・中国の絵画・書蹟・彫刻・工芸など多岐にわたる。関西を中心に活躍した財界人らが収集したコレクションをまとめて所蔵する点に特徴があり、古美術から近代の作品まで実に多彩な顔ぶれである。

本展は、開館 90 周年を迎えるのを前に大規模な改修工事を行う休館の時期に、大阪市立美術館が所蔵するこれらの名品から厳選された 172 件の作品を一堂で紹介する企画であった。

(巡回先：サントリー美術館、熊本県立美術館)



展示風景



入場 1 万人セレモニー (5/11)

## 出品リスト：

[No./指定(◎=重要文化財、○=重要美術品)/作品名/作者・伝来など/法量/年代/コレクション名・寄贈者/展示期間(㉗=3/21～4/2、㉘=4/4～4/9、㉙=4/11～4/16、㉚=4/18～4/30、㉛=5/2～5/14、㉜=5/16～5/21)]

## ◆はじめは「唐犬」から コレクションを彩る近代美術

- 158/自画像/村山槐多/55.0×47.0/大正7年(1918)/㉗㉘㉙  
㉚㉛㉜
- 159/武者小路実篤像/椿貞雄/43.8×31.7/大正11年(1922)/㉗㉘㉙㉚㉛㉜
- 160/ブルターニュの風景/森田恒友/50.0×61.0/大正4年(1915)/鈴置恒子氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 161/梅檀の木の家/国枝金三/72.5×60.3/大正10年(1921)/㉗㉘㉙㉚㉛
- 162/教会(裏面:パリの裏町)/佐伯祐三/59.4×73.0/大正13年(1924)/㉗㉘㉙㉚㉛
- 163/染付 安堵村模様皿/富本憲吉/各高2.6、口径11.4×11.4、底径7.0×7.0/大正9年(1920) 銘/辻本コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 164/白磁 壺/富本憲吉/高18.7、口径13.0、底径5.7、胴径24.5/昭和9年(1934)/辻本コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 165/色絵 赤更紗模様皿/富本憲吉/高2.6、口径26.0、底径15.0/昭和16年(1941)/辻本コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 166/唐犬/橋本閑雪/164.0×366.0/昭和11年(1936)/㉗㉘㉙㉚㉛
- 167/枯野/児玉希望/173.5×357.4/昭和11年(1936)/㉗㉘㉙㉚㉛
- 168/業平東下り/今村紫紅/各167.7×374.2/明治44年(1911)頃/㉗㉘㉙㉚㉛
- 169/伽羅の薫/島成園/212.3×82.7/大正9年(1920)/島成園氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 170/上海にて/島成園/40.0×51.2/大正14年(1925)頃/森本美津子氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 171/宵宮の雨/北野恒富/87.5×118.0/昭和3年(1928)/松宮文明氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 172/星/北野恒富/175.3×84.9/昭和14年(1939)/北野恒富氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 173/晩秋/上村松園/182.0×86.0/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 174/北政所/菊池契月/184.5×111.5/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 175/夜桜/北野恒富/各171.2×185.3/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 176/芸能譜/中村貞以/各173.0×171.0/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 177/秋陽/小野竹喬/143.0×193.0/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 178/朝靄/榊原紫峰/121.6×143.7/昭和19年(1944)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 179/風/山口華楊/205.8×278.8/昭和19年(1944)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 180/如意輪観音/堂本印象/210.0×167.0/昭和18年(1943)/住友コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛

## ◆日本美術の精華 魅惑の中近世美術

- 56/新蔵人物語絵巻/(伝)後柏原院卿内侍/(上巻)10.6×728.7(下巻)10.6×594.5/室町時代・16世紀/㉗㉘㉙
- 57/化物草子/(伝)土佐行秀/26.0×296.8/江戸時代・17世紀/田万コレクション/㉚㉛㉜
- 58/龍虎図屏風/狩野派(伝)祥啓/各166.7×348.0/室町時代・16世紀/㉚㉛㉜
- 59/◎/四季花鳥図屏風/狩野宗秀/各161.3×355.4/桃山時代・16世紀/田万コレクション/㉘㉙
- 60/豊臣秀吉像/惟杏永哲賛/109.8×45.2/桃山時代・慶長5年(1600)/古賀勝夫氏寄贈/㉗㉘㉙
- 61/鳥泉図屏風/長谷川等伯/148.6×170.3/江戸時代・慶長12年(1607)/㉚㉛㉜
- 62/四季花鳥図屏風/狩野派/各152.9×349.0/江戸時代・17世紀/田万コレクション/㉚㉛㉜
- 63/山水人物花鳥図押絵貼屏風/曾我二直庵/各図132.6×50.2/江戸時代・17世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙
- 64/洛中洛外図屏風/各152.2×333.2/江戸時代・17世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙
- 65/邸内遊楽図屏風/89.2×255.4/江戸時代・17世紀/㉚㉛㉜
- 66/扇屋軒先図/68.5×49.0/江戸時代・17世紀/田万コレクション/㉚㉛㉜
- 67/◎/衣裳図案帳 \*途中展示替あり/雁金屋/各28.0×13.4/江戸時代・17世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 68/◎/円型図案集/尾形光琳/各図径約11.0/江戸時代・17～18世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉗㉘
- 69/◎/図案小品集/尾形光琳/各図約5.5×12.0/江戸時代・17～18世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉚㉛
- 70/◎/松鶴図屏風画稿/尾形光琳/40.2×92.5/江戸時代・17～18世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉗㉘
- 71/◎/梅時絵箱図案/尾形光琳/36.5×63.7/江戸時代・17～18世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉙㉚
- 72/◎/鶴虎図下絵/尾形光琳/23.2×125.9/江戸時代・17～18世紀/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉚㉛
- 73/◎/こにし宛書状/尾形光琳/32.3×45.0/江戸時代・宝永6年(1709)/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉗㉘
- 74/◎/寿市郎宛書状/尾形光琳/16.0×120.0/江戸時代・正徳4年(1714)/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉙㉚
- 75/◎/光琳宛書状/尾形乾山/15.9×61.6/江戸時代・元禄9年(1696)/小西家伝来・尾形光琳関係資料 武藤金太氏寄贈/㉚㉛
- 76/燕子花図/尾形光琳/35.0×115.5/江戸時代・17～18世紀/㉗㉘㉙
- 77/柳図・立葵図団扇/「方淑」印/各23.8×23.8/江戸時代・18世紀/㉚㉛㉜
- 78/秋草図/俵屋宗理/各139.0×63.0/江戸時代・18世紀/㉚㉛㉜
- 79/藤図扇面/長洲、沢田東江賛/23.5×50.3/江戸時代・18世紀/㉗㉘㉙
- 80/蓮図扇面/中村芳中/32.0×66.0/江戸時代・19世紀/㉗㉘㉙
- 81/小袖屏風虫干図巻/勝部如春斎/40.7×794.2/江戸時代・18世紀/㉗㉘㉙

- 82 / 廬山図 / 蓆関月 / 127.4 × 127.4 / 江戸時代・18世紀 / 長田捨三郎氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 83 / 猿図 森狙仙 / 102.2 × 34.7 / 江戸時代・文化2年(1805)頃 / ㊦㊧㊨
- 84 / 寒月狸図 / 森徹山 / 105.1 × 37.2 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 85 / 百鬼夜行絵巻 / 原在中 / 32.4 × 629.6 / 江戸時代・18～19世紀 / 望月信成氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 86 / 猫図 / 原在正、四辻公説賛 / 27.0 × 41.0 / 江戸時代・18～19世紀 / 田万コレクション / ㊦㊧㊨
- 87 / 牡丹孔雀図 / 岸駒 / 158.5 × 140.4 / 江戸時代・天明5年(1785) / ㊦㊧㊨
- 88 / 富士図 / 上田耕夫 / 44.0 × 84.2 / 江戸時代・18～19世紀 / ㊦㊧㊨
- 89 / 雪中行旅図襖 / 上田公長 / 各169.2 × 93.7 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 90 / 蟹子復讐之図 / 上田公長、篠崎小竹賛 / 48.6 × 66.6 / 江戸時代・19世紀 / 小菅長次氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 91 / 象図屏風 / 関蓑洲 / 170.5 × 138.2 / 江戸時代・慶応2年(1866) / 倉田陽三氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 92 / 花鳥図 / 西山芳園 / 各140.7 × 65.7 / 江戸時代・19世紀 / 小田栄作氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 93 / 秋野美人図 / 磯田湖龍斎 / 32.1 × 47.5 / 江戸時代・18世紀 / ウンゲルン・シュテルンベルク氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 94 / 立美人図 / 三島上龍 / 97.5 × 48.4 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 95 / 三代目市川八百蔵の田辺文蔵 / 東洲斎写楽 / 37.1 × 24.5 / 江戸時代・寛政6年(1794) / 植田喜久子氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 96 / 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 / 葛飾北斎 / 25.8 × 38.4 / 江戸時代・天保元年(1830)頃 / 植田喜久子氏寄贈 / ㊦㊧㊨
- 97 / ㊦ / 潮干狩図 / 葛飾北斎 / 54.3 × 86.3 / 江戸時代・19世紀 / 中島小一郎氏寄贈 / ㊦
- ◆江戸の粋 世界が注目する近世工芸
- 98 / 萌黄縮緬地御所解模様振袖 / 裾64.5 丈167.0 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 99 / 縹縮緬地雪輪模様友禅染小袖 / 裾62.0 丈165.0 / 江戸時代・18～19世紀 / ㊦㊧㊨
- 100 / 白綸子地蓬萊模様縫振袖 / 裾63.0 丈168.0 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 101 / 藍綸子地南天扇面散模様振袖 / 裾61.5 丈158.0 / 江戸時代・19世紀 / ㊦㊧㊨
- 102 / 九曜紋蒔絵調度 \*半期で入替 / 縦25.8 × 横32.3 × 高22.0 ほか / 江戸時代・17～18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 103 / 橋姫蒔絵硯箱 / 縦21.6 × 横20.0 × 高4.1 / 江戸時代・18～19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 104 / 麻葉繫菊透彫銀覆輪棟櫛 / 縦4.7 × 横9.7 / 江戸時代・18～19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 105 / 雪持笹蒔絵櫛 銘「梶川 / (榮)」 / 縦4.2 × 横12.1 / 江戸時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 106 / 橘尺柳川象牙櫛・位置止 / (櫛) 縦4.1 × 横8.7 (位置止) 長9.8 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 107 / 歳寒三友桜柳川象牙櫛 / 縦4.3 × 横9.3 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 108 / 花扇蒔絵象牙櫛・笄 / 磯井如真 銘「如真」 / (櫛) 縦4.1 × 横8.8

- (笄) 長19.0 / 明治時代・20世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩
- 109 / 花卉透彫象牙櫛・笄 / (櫛) 縦4.8 × 横12.2 (笄) 長18.8 / 明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 110 / 薄鴛鴦芝山象嵌櫛・笄 / (櫛) 縦4.1 × 横8.3 (笄) 長16.7 / 明治時代・19～20世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 111 / 柳枝燕子蒔絵印籠 / 幸阿弥長孝 銘「幸阿弥長孝作」 / 縦9.0 × 横4.7 × 厚2.6 / 江戸時代・18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 112 / 源三位頼政鶴退治蒔絵印籠 / 銘「梶川作(榮)」 / 縦9.5 × 横4.8 × 厚2.7 / 江戸時代・18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 113 / 御簾葵蒔絵印籠 飯塚桃葉 / 銘「歡松斎(花押)」 / 縦6.3 × 横6.1 × 厚1.7 / 江戸時代・18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 114 / 菊水蒔絵印籠 / 中西松立斎 銘「松立斎 / 達榮(榮)」 / 縦9.3 × 横4.8 × 厚2.8 / 江戸時代・18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 115 / 祇園山鉾蒔絵印籠 / 古満巨柳 銘「巨柳作」 / 縦9.0 × 横5.0 × 厚2.7 / 江戸時代・18世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 116 / 雲龍龜甲彫花丸蒔絵印籠 / 原羊遊斎 銘「羊遊斎」 / 縦6.5 × 横4.7 × 厚1.9 / 江戸時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 117 / 春草蒔絵印籠 / 原羊遊斎 銘「羊遊斎」 / 縦9.2 × 横5.7 × 厚2.2 / 江戸時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 118 / 桜銅鑼蒔絵印籠 / 柴田是真 銘「是真」 / 縦8.9 × 横5.9 × 厚2.4 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 119 / 青海波塗印籠 / 柴田是真 銘「是真」 / 縦5.7 × 横4.5 × 厚1.2 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 120 / 梅厚司蒔絵印籠 / 柴田是真 銘「對柳居是真」 / 縦7.6 × 横5.5 × 厚2.2 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 121 / 粟鴉牙彫根付 / 銘「岡友」 高4.2 / 江戸時代・18～19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 122 / 道成寺鬼女牙彫根付 / 銘「宝実」 / 高5.3 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 123 / 道成寺牙彫根付 / (釣鐘) 高3.7 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 124 / 鬚髯牙彫根付 / 銘「忠親」 / 高4.0 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 125 / 鬼形彫差根付 / 高12.1 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 126 / 白蔵主牙彫根付 / 銘「吉定」 / 高4.8 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 127 / 猿牙彫根付 / 銘「正民」 / 高3.7 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 128 / 猿使牙彫根付 / 高9.0 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 129 / 鼠形彫根付 / 銘「玉山」 / 高3.4 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 130 / 萩蒔絵籠甲箱根付 / 銘「峯雲斎(花押)」 / 縦3.8 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 131 / 茸蝦蟇形彫根付 / 銘「泰通」 / 高4.6 / 江戸～明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 132 / 三竦み牙彫根付 / 銘「笑斎」 / 高3.9 / 明治時代・19世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪

- 133 / 舌切雀葛籠牙彫根付 / 銘「定興」 / 高 3.8 / 江戸～明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 134 / 舌切雀牙彫根付 / 高 5.3 / 江戸～明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 135 / 蘇東坡形彫根付 / 高 9.3 / 江戸～明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 136 / 寿老大黒形彫根付 / 銘「光月」 / 幅 12.2 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 137 / 面根付 べし見 / 銘「正之」 / 頭長 3.7 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 138 / 面根付 般若 / 銘「正之」 / 頭長 3.8 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 139 / 面根付 尉 / 銘「祐康」 / 頭長 4.5 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 140 / 面根付 賢徳 / 銘「舟月作」 / 頭長 3.8 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 141 / 面根付 雷 / 銘「舟月作」 / 頭長 3.8 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 142 / 面根付 鬼 / 銘「舟月作」 / 頭長 4.2 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 143 / 面根付 泣尼 / 銘「舟月作」 / 頭長 4.0 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 144 / 面根付 賢徳 / 頭長 4.0 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 145 / 面根付 うそふき / 銘「□□斎」 / 頭長 4.3 / 江戸～明治時代・18～19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 146 / 獅子舞牙彫根付 / 高 4.3 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 147 / 獅子舞牙彫根付 / 銘「八雅」 / 高 4.5 / 明治時代・19～20 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 148 / 達磨牙彫根付 / 銘「宗明」 / 高 5.1 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 149 / 達磨牙彫根付 / 高 4.0 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 150 / 枇杷蟻牙彫根付 / 高 4.1 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 151 / 舌切雀形彫根付 / 高 4.4 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 152 / 小犬陶製根付 / 高 5.0 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 153 / 大蛸形彫根付 / 高 11.9 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 154 / 扇面散時絵箱根付 / 柴田是真 銘「是真」 / 縦 3.3 / 江戸～明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 155 / 山水時絵箱根付 / 縦 4.1 / 明治時代・19 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 156 / 秋草時絵箱根付 / 縦 3.1 / 明治時代・19～20 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 157 / 葵文時絵鼓胴形彫根付 / 高 4.3 / 明治時代・19～20 世紀 / カザールコレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪

## ◆世界に誇るコレクション 珠玉の中国美術

- 1 / 青銅 饗養文 / 高 22.2 / 殷(商)時代・紀元前 14～11 世紀 /

- 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 2 / 青銅金銀錯 龍文平形帶鉤 / 長 7.8 / 春秋～戦国時代・紀元前 5～4 世紀 / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 3 / 青銅 蒜頭瓶 / 高 40.2 / 秦～前漢時代・紀元前 3～2 世紀 / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 4 / 青銅鍍金銀 仙人 / 高 9.5 / 後漢時代・1～2 世紀 / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 5 / 青銅 辟邪形水滴 / 長 10.8 / 三国時代・3 世紀 / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 6 / 石造 菩薩交脚像龕 / 高 31.5 / 南北朝時代北魏・5 世紀 / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 7 / 石造 河神像 / 河北省北響堂山石窟 将来 / 高 44.0 幅 25.6 / 南北朝時代北齊・6 世紀 / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 8 / 石造 菩薩五尊像龕 / 高 64.4 幅 26.8 奥 7.0 / 南北朝時代北周・保定 5 年 (565) / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 9 / 石造 菩薩立像 / 高 56.8 幅 17.6 奥 13.2 / 隋時代・6 世紀 / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 10 / 石造 如来倚坐像 / 高 33.3 / 唐時代・長安 3 年 (703) / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 11 / ○ / 青銅 狻猊双鸞唐草文八稜鏡 / 径 32.7 / 唐時代・8 世紀 / 田万コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 12 / 三彩印花 花文碗 / 高 3.9、口径 9.9 / 唐時代・8 世紀 / 田万コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 13 / 白磁劃花 牡丹唐草龍文鉢 / 定窯 / 高 6.5、口径 22.5、底径 6.9 / 北宋時代・11 世紀 / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 14 / 豆彩 瑞果文鉢 / 景德鎮窯「大明萬曆年製」銘 / 高 11.0、口径 22.5、底径 9.0 / 明時代・万曆期 (1573～1620) / 山口コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 16 / ◎ / 伏生授經図 / (伝) 王維 / 25.4 × 44.7 / 阿部コレクション / ㊦㊧㊨
- 17 / ◎ / 草書四帖 / 米芾 / 25.1 × 40.6 ほか / 北宋時代・紹聖 4 年～元符 2 年 (1097～99) / 武居巧氏寄贈 / ㊦㊧
- 18 / 品茶図 / (伝) 銭選 / 32.6 × 63.3 / 明時代・15～16 世紀 阿部コレクション / ㊦㊧㊨
- 19 / 九成宮図 / 仇英(款) / 31.8 × 342.2 / 明～清時代・17 世紀 / 阿部コレクション / ㊦㊧
- 21 / 法関全山水図 / 米万鍾 / 32.9 × 547.0 / 明時代・万曆 34 年 (1606) / ㊦㊧
- 22 / 倣李營丘江山雪霽図 / 王翬 / 29.9 × 779.5 / 清時代・17～18 世紀 / 阿部コレクション / ㊦㊧
- 23 / 花卉図冊 \* 半期で 2 面ずつ展示 / 惲寿平 / 各 27.5 × 43.0 清時代・17 世紀 / 阿部コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 24 / 花鳥図冊 \* 半期で 2 面ずつ展示 / 高其佩 / 各 25.8 × 37.5 / 清時代・康熙 25 年 (1686) / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 25 / 秋声賦意図 / 華岳 / 94.0 × 113.5 / 清時代・乾隆 20 年 (1755) / 阿部コレクション / ㊦㊧㊨㊩
- 27 / 春元瑞兆図 / 金廷標 / 154.8 × 84.3 / 清時代・18 世紀 / 阿部コレクション / ㊦㊧㊨

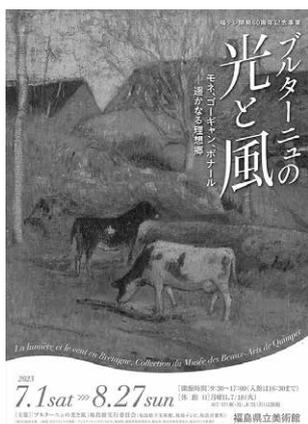
## ◆祈りのかたち 仏教美術

- 30 / ◎ / 金銅 菩薩立像 / 奈良・横井廃寺出土 / 高 19.9 / 飛鳥時代・7 世紀 / 田万コレクション / ㊦㊧㊨㊩㊪
- 31 / ◎ / 青銅 山雲双鸞文鏡 / 奈良・横井廃寺出土 / 径 14.7 / 唐時代・

- 8世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 32/銅造 誕生仏立像/高13.4/白鳳時代・7～8世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 33/脱活乾漆 十大弟子像頭部/高23.7/奈良時代・8世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 34/○/金銅 如来立像/高21.5/奈良時代・8世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 35/○/木造 観音菩薩立像/高103.2/平安時代・12世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 36/○/木造 大將軍神坐像/高67.7/平安時代・12世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 37/○/金銅 独鈷杵/鳥取県倉吉市出土/長19.8/平安時代・11世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 38/金銅 三鈷鈴/静岡・尊永寺伝来/高25.9/平安～鎌倉時代・12～13世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 39/金銅 蓮華形磬/幅14.7/鎌倉時代・13世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 40/青銅 胎藏界大日如来鏡像/径18.7/鎌倉時代・正応3年(1290)銘/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 41/◎/銅 湯瓶/高25.9/鎌倉時代・13～14世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 42/銀鍍金透彫 宝相華文経箱 /高13.2/南北朝時代・14世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 43/◎/鉄 「極楽律寺綱維坊」尾垂釜/天命/高17.1/南北朝時代・文和元年(1352)銘/中島小一郎氏寄贈/㉗㉘㉙㉚㉛
- 44/◎/青銅 萩薄扇面双雀文鏡/径21.2/南北朝時代・14世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 46/○/大般若経(薬師寺経)/縦25.3/奈良時代・8世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 47/大般若経/奈良時代・8世紀/田万コレクション/㉗㉘
- 48/大金色孔雀王咒経(神護寺経)/26.0×488.2/平安時代・12世紀/田万コレクション/㉚㉛
- 49/法華経/25.4×939.0ほか/平安時代・12世紀/田万コレクション/㉗㉘㉙㉚㉛
- 51/春日鹿曼荼羅/101.6×37.4/室町時代・応永13年(1406)/清海復三郎氏寄贈/㉗㉘
- 52/金剛薩埵像/77.0×52.0/鎌倉時代・13～14世紀/田万コレクション/㉚㉛
- 54/茶吉尼天曼荼羅図/82.5×41.4/室町時代・15世紀/田万コレクション/㉗㉘
- 55/役行者八大童子像/98.9×41.9/室町時代・15世紀/田万コレクション/㉚㉛

## (2) プルターニュの光と風

モネ、ゴーギャン、ボナール—遙かなる理想郷



A4 チラシ

会 期：令和 5 年 7 月 1 日(土)～ 8 月 27 日(日) 開催日数 51 日

分 野：絵画、版画

展示数：69 点

主 催：「プルターニュの光と風」福島展実行委員会

〔構成：福島県立美術館、福島テレビ、福島民報社〕

後 援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、  
福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、福島リ  
ビング新聞社

協 力：福島交通

企画協力：(株) ホワイトインターナショナル

観覧料：一般 1,500 (1,300) 円、大学生 1,000 (800) 円、小・  
中・高校生 600 (500) 円 ※ ( ) 内は前売および 20 名以上の  
団体料金

観覧者数：24,050 名

担 当：橋本恵里、濱田洋亮

## 関連事業：

## ・記念講演会

講師：千足伸行氏（本展監修者、広島県立美術館長）

日時：7月2日(日) 14時～15時

場所：美術館講堂

参加者数：120名

## ・ギャラリートーク

① 7月22日(土) 14時～15時

担当：橋本恵里（学芸員） 参加者数：72名

② 7月29日(土) 14時～15時

担当：濱田洋亮（学芸員） 参加者数：75名

③ 8月13日(日) 14時～15時

担当：濱田洋亮（学芸員） 参加者数：20名

④ 8月20日(日) 14時～15時

担当：橋本恵里（学芸員） 参加者数：35名

・アオウゼ出張レクチャー「プルターニュの光と風展 見どころ  
はここ！」

日時：7月14日(金) 14時～15時

担当：橋本恵里（学芸員） 参加者数：60名

## 概要：

本展は、プルターニュに所在するカンペール美術館の屈指の収蔵品を中心に、45 作家による 69 点の油彩画・版画・素描を御紹介する展覧会である。フランス北西部のプルターニュ地方は印象派をはじめ、ポン＝タヴァン派、ナビ派などの新しい美術運動が生まれる契機となった地である。モネやボナール、ゴーギャンといった著名な画家の作品とともに、これまであまり日本で紹介されてこなかった、それ以前のサロンの画家の海を描いた大作などもあり、美術と地域を結びつける内容が新鮮であった。（巡回先：SOMPO 美術館、静岡市美術館、豊橋市美術博物館、広島県立美術館）



展示風景



開会式（7/1）



講演会



ギャラリートーク (7/22)

出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/技法・材質/所蔵]

◆第1章：ブルターニュの風景—豊饒な大地と海

- 1/テオドール・ギュダン/ベル=イル沿岸の暴風雨/1851年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 2/エヴァリスト=ヴィタル・リュミネ/グラドロン王の逃亡/1884年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 3/テオフィル・デイロール/鱈漁/1881年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 4/アルフレッド・ギユ/さらば!/1892年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 5/アルフレッド・ギユ/コンカルノーの鱈加工場で働く娘たち/1896年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 6/オーギュスト・アナスタジ/ドゥアルヌネの渡し船の乗り場/1870年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 7/エミール・ヴェルニエ/コンカルノーのブルターニュの引馬/1883年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 8/エマニュエル・ランシエ/干潮のドゥアルヌネ湾/1879年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 9/ジャン=マリー・ヴィラルール/ドゥアルヌネ近郊のケルレゲールの岩場/1878年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 10/カミーユ・ベルニエ/サン=タンヌの荒地/1878年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 11/アレクサンドル・セジェ/ブルケルムール溪谷、アレー山地/1883年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 12/エヴァリスト=ヴィタル・リュミネ/狩猟の帰途、またはブルターニュの密猟者/1861年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 13/オーギュスト・ゴワ/ボン=ラベ近くの室内風景/1858年/油彩、厚紙/カンペール美術館蔵

- 14/ジャン=マリー・ヴィラルール/ブルターニュの室内風景/1870年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 15/アドルフ・ルルー/ブルターニュの婚礼/1863年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 16/ジョルジュ=アレクサンドル・フィシエ/ブルターニュの理髪師/1868年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 17/ポール=モーリス・デュワ/ブルターニュ女性の肖像/1896年/油彩、カンヴァス /カンペール美術館蔵
- 18/リュシアン・レヴィ=デュルメール/パンマールの聖母/1896年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 19/ジョゼフ=フェリックス・ブショール/サン=タンヌ=ドーレの奇跡の泉/1900-10年頃/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵

◆第2章：ブルターニュに集う画家たち—印象派からナビ派へ

- 20/ウジェーヌ・ブーダン/ノルマンディーの風景/1854-57年/油彩、板にカンヴァス/丸沼芸術の森 (埼玉県立近代美術館に寄託)
- 21/ウジェーヌ・ブーダン/教会前のブルターニュ女性 /19世紀/水彩、紙/カンペール美術館蔵
- 22/クロード・モネ/ルエルの眺め/1858年/油彩、カンヴァス/丸沼芸術の森 (埼玉県立近代美術館に寄託)
- 23/クロード・モネ/アンティープ岬/1888年/油彩、カンヴァス/愛媛県美術館蔵
- 24/ポール・ゴーギャン/2人の音楽家/1886-89年頃/黒鉛筆、青い紙/カンペール美術館蔵
- 25/ポール・ゴーギャン/マルティニックの眺め/1887年/鉛筆、紙/カンペール美術館蔵
- 26/ポール・ゴーギャン/いちじくと女/1894年/エッチング・淡彩・緑色のインク、亜鉛版/カンペール美術館蔵
- 27/ポール・ゴーギャン/ブルターニュの子供/1889年/水彩・パステル、紙/福島県立美術館蔵
- 28/エミール・ベルナル/サン=ブリアックの風景/1886年/鉛筆、紙/カンペール美術館蔵
- 29/エミール・ベルナル/水瓶を持つブルターニュの女性/1886年/ジンコグラフ、紙/カンペール美術館蔵
- 30/エミール・ベルナル/りんごの採り入れ/1889年/ジンコグラフ、紙/カンペール美術館蔵
- 31/エミール・ベルナル/収穫/1888年/木炭・水彩、紙/カンペール美術館蔵
- 32/ポール・セリュジエ/ル・プールの老婦人/1889-93年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 33/ポール・セリュジエ/水瓶を持つブルターニュの若い女性/1892年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 34/ポール・セリュジエ/さようなら、ゴーギャン/1906年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 35/ポール・セリュジエ/青い背景のりんご/1917年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 36/アンリ・モレ/ポン=タヴァンの風景/1888-89年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 37/アンリ・モレ/ブルターニュの風景/1889-90年/油彩、カンヴァス/カンペール美術館蔵
- 38/モーリス・ドニ/小舟の中のブルターニュ女性/1891-92年/油彩、板、紙/カンペール美術館蔵
- 39/モーリス・ドニ/フォルゲットのパルドン祭/1930年/油彩、

カンヴァス/カンパール美術館蔵

40/アルマン・セガン/横たわるブルターニュの女性あるいはプリマヴェ  
ェラ/1895年/ジンコグラフ、紙/カンパール美術館蔵

41/ジョルジュ・ラコンブ/カマレの荒地 /20世紀初頭/鉛筆、  
紙/カンパール美術館蔵

42/ジョルジュ・ラコンブ/森の中の3人のビッグダン地方の女性/1894  
年/テンペラ、カンヴァス/カンパール美術館蔵

43/ピエール・ボナール/アンドレ・ボナール嬢の肖像 画家の  
妹/1890年/油彩、カンヴァス/愛媛県美術館蔵

#### ◆第3章：新たな眼差し—多様な表現の探求

44/クロード=エミール・シュフネッケル/ブルターニュの岩石海  
岸/1886年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

45/マクシミリアン・リュス/岩の多い海岸/1893年/油彩、板/カ  
ンパール美術館蔵

46/マキシム・モーフラ/3つの断崖、サン=ジャン=デュ=ド  
ワ/1894年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

47/マキシム・モーフラ/海岸の泥炭地における黄昏、ロクテュデ  
ィ/1898年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

48/アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン/ブルターニュの海/1900  
年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

49/フェルディナン・ロワイアン・デュ・ピュイゴドー/藁ぶき屋根の  
家のある風景/1921年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

50/エミール・ジュールダン/嵐の後/1900-14年/油彩、カンヴァ  
ス/カンパール美術館蔵

51/ウラディスラウ・スレヴィンスキー/水の入ったグラスとりんごの  
ある静物 /1904年頃/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

52/ウラディスラウ・スレヴィンスキー/バナナのある静物/1901  
年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

53/ギュスターヴ・クールベ/波/1869年/油彩、カンヴァス/愛媛  
県美術館蔵

54/シャルル・コッテ/嵐から逃げる漁師たち/1903年頃/油彩、厚  
紙/カンパール美術館蔵

55/シャルル・コッテ/海/1903-05年頃/油彩、カンヴァス/カン  
パール美術館蔵

56/リュシアン・シモン/じゃがいもの収穫/1907年/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

57/アンドレ・ドーシェ/ラニューロンの松の木/1917年/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

58/イヴ・ブレイア/カマレの岩/1929年/油彩、カンヴァス/カン  
パール美術館蔵

59/フェルナン・ル・ゲー=ジェラル/カンパールのテール=オ=デ  
ュック広場/1910年/油彩、カンヴァス/カンパール美術館蔵

60/ジャン=ジュリアン・ルモルダン/逆風/1905年頃/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

61/エドゥアール=エドモン・ドワニョー/ポン=ラベの子どもた  
ち/1905年/油彩、厚紙/カンパール美術館蔵

62/ジョルジュ・ゴボ/ドゥアルヌネ、港の通り/1929年頃/油彩、  
カンヴァス/カンパール美術館蔵

63/モーリス・レオナル/ビッグダンの祭り/20世紀/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

64/モーリス・レオナル/ブルターニュの市場/1923年頃/油彩、  
カンヴァス/カンパール美術館蔵

65/ピエール・ド・ブレ/コンカルノーの港 /1927年/油彩、厚紙/  
カンパール美術館蔵

66/ピエール・ド・ブレ/コンカルノーの港 /1927年/油彩、厚紙/  
カンパール美術館蔵

67/ピエール・ド・ブレ/ブルターニュの少女/1940年/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

68/ピエール・ド・ブレ/ブルターニュの女性/1940年/油彩、カン  
ヴァス/カンパール美術館蔵

69/マックス・ジャコブ/ふたりのブルターニュの女性/1930年頃/  
グワッシュ、紙/カンパール美術館蔵

(3) 発掘された珠玉の名品 少女たち  
夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより



A4 チラシ

会 期：令和5年9月23日(土)～11月12日(日)

開催日数 44 日間

分 野：日本画、洋画

展示数：121 点

主 催：福島県立美術館

企画協力：青幻舎プロモーション

観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円／高校生 600 (500) 円

／小中学生 400 (300) 円 ※ ( ) は 20 名以上の団体料金

観覧者数：4,017 名

担 当：堀 宜雄、月本寿彦

関連事業：

・特別ゲストトーク

講師：星野桂三氏（星野画廊代表）

日時：10月8日(日) 14時～16時

場所：企画展示室

参加者数：42名

・ギャラリートーク

① 9月24日(日) 14時～15時

担当：堀 宜雄（専門員）21名

② 10月14日(土) 14時～15時

担当：月本寿彦（副主任学芸員）35名

③ 11月3日(金) 14時～15時

担当：堀 宜雄（専門員）17名

概 要：

星野画廊は星野桂三氏（1943～）により、1973年京都に開設された。ユニークな人柄と眼力で集められた作品は、有名無名を問わず、きらめく個性を放っている。京都日本画の個性派画家・岡本神草、秦テルヲや、浅井忠門下の画家たちなどを、次々と発掘、紹介した。中核をなす、時代の空気や情念をとらえた女性像の数々は、リアルな生気を宿している。話題作約 121 点の日本画・洋画作品による、初の星野コレクション本格的紹介展である。  
(巡回先：京都文化博物館、新潟市美術館、高知県立美術館、呉市立美術館、三鷹市美術ギャラリー)



展示風景



特別ゲストトーク

## 出品リスト：

[No./作家名(生没年)/作品名/制作年/材質技法/画面寸法]

## ◆第1章 明治の少女たち

- 1/笠木治郎吉(1863-1921)/下校の子供たち/c.1899/紙・水彩/50.5×33.8cm
- 2/佐久間文吾(1868-1940)/団扇をもつ少女/1888/カンヴァス・油彩/53.3×45.3cm
- 3/矢崎千代二(1872-1947)/花を生ける少女/1900-1911/カンヴァス・油彩/80.0×61.0cm
- 4/八條弥吉(1877-1937)/赤いショール/1900-1911/カンヴァス・油彩/43.7×34.6cm
- 5/笠木治郎吉(1863-1921)/花を摘む少女/1897-1912/紙・水彩/51.0×34.0cm
- 6/笠木治郎吉(1863-1921)/蓮池の少女/1897-1912/紙・水彩/50.8×33.2cm
- 7/笠木治郎吉(1863-1921)/筏師の娘/1897-1912/紙・水彩/51.0×33.0cm
- 8/笠木治郎吉(1863-1921)/網を繕う漁師の娘/1897-1912/紙・水彩/50.5×33.6cm
- 9/作者不詳(Tani)/婦女読書図/1900-1911/紙・水彩/32.3×49.8cm
- 10/作者不詳(Tani)/客を迎える少女/1900-1911/紙・水彩/48.7×31.8cm
- 11/作者不詳(Tani)/覗き見する少女/1900-1911/紙・水彩/49.7×33.1cm
- 12/作者不詳(Ryuko)/窓辺の交流/1900-1911/紙・水彩/47.5×32.4cm
- 13/石井金陵(1842-1926)/妙なる調べ/1888-1911/絹本著色/112.4×41.0cm
- 14/寺松国太郎(1876-1943)/まひこ/1911/カンヴァス・油彩/45.5×33.4cm

## ◆第2章 四季のうつろいの中で

- 15/北野恒富(1880-1947)/初姿/1926-1935/絹本著色/45.5×51.0cm
- 16/林 司馬(1906-1985)/追い羽根/1931頃/紙本著色/40.3×28.2cm
- 17/菊池素空(1873-1922)/羅浮仙女/1888-1911/絹本著色/127.7×42.0cm
- 18/堀井香坡(1897-1990)/桃の節句/1916-1920/絹本著色/142.0×155.0cm
- 19/樋口富麻呂(1898-1981)/春/1926/紙本著色/96.4×180.0cm
- 20/松浦舞雪(1886-c.1970)/花摘みの図/1914/絹本著色/123.9×51.0cm
- 21/田代正子(1913-1995)/娘/1940/絹本著色/130.0×52.6cm
- 22/岡本大更(1879-1945)/花咲く頃/1920/絹本著色/138.9×50.6cm
- 23/作者不詳(芳玉)/花園の少女/1915/絹本著色/113.8×41.6cm
- 24/作者不詳(柳江)/夏苑の少女/1912-1925/絹本著色/123.3×56.5cm

- 25/作者不詳(龍山)/手習児/1923-1930/紙本著色/133.0×49.7cm
- 26/林 司馬(1906-1985)/若葉の頃/1945/紙本著色/43.2×33.0cm
- 27/小川千甕(1882-1971)/白川女/1907-1912/絹本著色/109.5×41.2cm
- 28/三宅風白(呉月)(1893-1957)/白川女/1921/絹本著色/124.5×43.2cm
- 29/作者不詳(東汀)/桑つみの少女/1912-1925/絹本著色/125.0×55.0cm
- 30/岡田幽明(生没年不詳)/鸚鵡/1912-1925/絹本著色/175.1×72.1cm
- 31/松村綾子(1906-1983)/薫風/c.1943/カンヴァス・油彩/64.8×90.6cm
- 32/中澤弘光(1874-1964)/京舞妓/1926-1930/カンヴァス・油彩/44.8×37.8cm
- 33/渡辺幾春(1895-1976)/涼宵/1920-1926/絹本著色/128.4×41.5cm
- 34/乾 誠一郎(1908-1970)/蛭/1923-1930/絹本著色/132.7×41.2cm
- 35/和気春光(1889-?)/初夏美人/1912-1925/絹本著色/151.7×42.0cm
- 36/木村斯光(1895-1976)/朝/1925-1930/絹本著色/47.8×51.0cm
- 37/作者不詳(数馬)/窓辺御簾美人/1925-1935/絹本著色・描表具/100.7×52.5cm
- 38/作者不詳(左伊)/願いの糸/191X-1914/絹本著色/122.5×41.2cm
- 39/平山成翠(生没年不詳)/憶い/1917-1920/絹本著色/110.2×42.0cm
- 40/緒方文年(生没年不詳)/女/1915/絹本著色/111.8×41.4cm
- 41/樋口富麻呂(1898-1981)/憶い/1912-1918/絹本著色/111.8×34.3cm
- 42/岡本大更(1879-1945)/初秋/1918-1923/絹本著色/112.4×50.0cm
- 43/玉村方久斗(1893-1951)/貴人虫追い図/1933-1935/紙本著色/32.5×40.8cm
- 44/島 成園(1892-1970)/きぬた/1912-1920/絹本著色/126.0×41.0cm
- 45/林 司馬(1906-1985)/立花を見る女/1940頃/絹本著色/40.2×50.2cm
- 46/亀高文子(1886-1977)/秋果童女/1940/カンヴァス・油彩/65.3×50.5cm
- 47/堀井香坡(1897-1990)/紅葉美人図/1926-1930/絹本著色/117.7×24.7cm
- 48/紅葉谷紫陽(1892-c.1960)/紅葉汐汲み図/1913-1925/絹本著色/115.4×32.5cm
- 49/上野山清貢(1889-1960)/舞妓(京都にて)/1933/カンヴァス・油彩/72.8×91.0cm
- 50/不二木阿古(1896-1943)/もだえ/1911-1918/絹本著色/113.7×41.5cm

## ◆第3章 大正の個性派画家たち

- 51 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 曲芸 / 1916 / 紙本著色 / 133.4 × 31.4cm
- 52 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 淵に佇めば / 1917 / 麻・著色 / 44.8 × 52.6 cm
- 53 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 妊みし女の喘ぎ / c.1920 / 麻・著色 / 53.0 × 45.8cm
- 54 / 岡本神草 (1894-1933) / 拳の舞妓 / c.1922 / 絹本著色 / 48.0 × 61.8cm
- 55 / 甲斐荘楠音 (1894-1978) / 畜生塚の女 / 1919 / 絹本著色 / 27.4 × 24.5cm
- 56 / 甲斐荘楠音 (1894-1978) / サイダーを飲む女 / 1930-1934 / 絹本著色 / 32.6 × 37.8cm
- 57 / 鈴木潮司 (1902-?) / 楽屋の女 / 1920-1925 / 絹本著色 / 145.5 × 86.5cm
- 58 / 小西長廣 (1892-?) / 太夫之図 / 1917-1920 / 絹本著色 / 142.0 × 167.0cm
- 59 / 増原宗一 (1893-1927) / 舞妓 / 1917-1920 / 絹本著色 / 83.5 × 65.7 cm
- 60 / 増原宗一 (1893-1927) / 雪月花幻想 / 1920-1926 / 絹本著色 / 左 140.9 × 23.8cm、中 140.8 × 23.8cm、右 141.0 × 24.0cm

## ◆第4章 歴史画に見る少女たち

- 61 / 久保田米僊 (1852-1906) / 静法楽舞 / 1897 / 紙本著色 / 130.3 × 61.3cm
- 62 / 久保田米僊 (1852-1906) / 引路菩薩図 / 1883-1885 / 絹本著色 / 118.3 × 37.5 cm
- 63 / 田村宗立 (1846-1918) / 羽衣天女之図 / 1912-1915 / 絹本著色 / 101.9 × 41.6cm
- 64 / 岡本大更 (1879-1945) / 魯生女之図 (倣鳳山) / 1940 / 絹本著色 / 133.9 × 51.5cm
- 65 / 佐治大輔 (1904-?) / 楊貴妃 / 1913-1926 / 絹本著色 / 187.6 × 118.4cm
- 66 / 玉村方久斗 (1893-1951) / 竹取物語 / 1933-1935 / 紙本著色 / 38.7 × 57.2cm
- 67 / 久保田米僊 (1852-1906) / 紫式部之図 / 1888-1893 / 絹本著色 / 44.5 × 25.0cm
- 68 / 堀井香坡 (1897-1990) / 百萬 / 1928 / 絹本著色 / 138.8 × 50.0cm

## ◆第5章 夢見る少女たち

- 69 / 野田英夫 (1908-1939) / 籠を持てる少女 / 1932 / 紙・水彩、インク、新聞記事コラージュ / 23.6 × 38.5cm
- 70 / 野口謙蔵 (1901-1944) / 若葉の婦人像 / 1925-1930 / カンヴァス・油彩 / 73.0 × 61.2cm
- 71 / 薄田芳彦 (1898-1982) / 少女 / 1929 / カンヴァス・油彩 / 116.7 × 80.0cm
- 72 / 松村綾子 (1906-1983) / 少女・金魚鉢 / 1937 / カンヴァス・油彩 / 96.8 × 130.5cm
- 73 / 伊谷賢蔵 (1902-1970) / 婦人像 / 1945 / ベニヤ板・油彩 / 45.5 × 36.3cm
- 74 / 谷出孝子 (1907-1987) / ロバに乗る少女(満州) / 1942 / カンヴァス・油彩 / 73.0 × 91.0cm

- 75 / 飯田清毅 (1909-1972) / 影絵 / 1942 / カンヴァス・油彩 / 116.5 × 91.0cm
- 76 / 宮本三郎 (1905-1974) / マライの少女 / 1943 / カンヴァス・油彩 / 38.2 × 45.3cm
- 77 / 安藤義茂 (1888-1967) / 二人 / 1950 / 紙・油彩、混合技法(刀画) / 62.2 × 47.5cm
- 78 / 幸田暁治 (1925-1975) / 双子 / 1970 / 板に紙・著色 / 120.0 × 95.0cm
- 79 / 赤松麟作 (1878-1953) / 舞妓習作 / 1920年代 / カンヴァス・油彩 / 41.5 × 32.5cm
- 80 / 幸田暁治 (1925-1975) / 舞 / 1975 / 板に紙・著色 / 65.4 × 53.5cm
- 81 / 霜鳥之彦 (1884-1982) / 琉球のおどり子 / 1972 / カンヴァス・油彩 / 72.8 × 53.0cm

## ◆第6章 慈しむ母として

- 82 / 二世五姓田芳柳 (1864-1943) / 農村のまひる / 絹本著色 / 46.2 × 72.5cm
- 83 / 黒田重太郎 (1887-1970) / 母子像 / 1919 / カンヴァス・油彩 / 80.8 × 65.3cm
- 84 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 瓶原母子像 / 1923 / 寒冷紗・著色 / 46.3 × 35.2cm
- 85 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 恵まれしもの / 1925 / 麻・著色 / 44.0 × 33.3cm
- 86 / 秦 テルヲ (1887-1945) / 慈悲心鳥の唄 / 1923 / 麻・著色 / 72.2 × 74.8cm
- 87 / 谷出孝子 (1907-1987) / 庭(樹陰) / 1935 / カンヴァス・油彩 / 91.0 × 116.5cm
- 88 / 野田英夫 (1908-1939) / 都会 / 1936 / 紙・インク、水彩 / 15.8 × 31.7cm
- 89 / 桑重儀一 (1883-1943) / 母子像 / 1926-1930 / カンヴァス・油彩 / 50.7 × 118.0cm
- 90 / 劉栄楓 (1892-?) / 母子 / 1927 / 板・油彩 / 32.5 × 23.7cm
- 91 / 樋口富麻呂 (1898-1981) / 和楽図 / 1927-1945 / 絹本著色 / 128.9 × 42.2cm

## ◆第7章 モダンガールズ

- 92 / 粥川伸二 (1896-1949) / 娘 / 1928 / 絹本著色 / 56.4 × 37.5cm
- 93 / 青木大乘 (1891-1979) / 想い / 1925-1930 / カンヴァス・油彩 / 65.4 × 50.0cm
- 94 / 里見勝蔵 (1895-1981) / 顔 / 1931 / ボード・油彩 / 32.0 × 24.5cm
- 95 / 谷出孝子 (1907-1987) / C嬢(モスリンの着物) / 1932 / カンヴァス・油彩 / 90.7 × 72.5cm
- 96 / 島崎鶏二 (1907-1944) / 朝 / 1934 / カンヴァス・油彩 / 194.0 × 106.0cm
- 97 / 中西利雄 (1900-1948) / 赤いスカーフ / 1938? / 紙・グアッシュ / 67.0 × 51.0cm
- 98 / 中西利雄 (1900-1948) / 花と少女 / 1940 / 紙・グアッシュ / 60.0 × 48.7cm
- 99 / 堂本尚郎 (1928-2013) / 鏡 / 1953 / 板に紙・著色 / 65.3 × 91.2cm

100 / 下村良之介 (1923-1998) / たこ焼き / 1980 / 板に紙・著色 / 90.6 × 72.6cm

101 / 中村善種 (1914-1995) / 街路樹の中の女 / 1990 / カンヴァス・油彩 / 146.0 × 112.5cm

#### ◆第8章 日仏画家の競艶

102 / ラファエル・コラン (1850-1916) / 『アフロディテ』挿絵原画 / 1909 / カンヴァス・油彩 / 35.2 × 27.3cm

103 / ロジェ・ビシエール (1886-1964) / 薔薇をもつ婦人像 / 1920 / カンヴァス・油彩 / 86.2 × 68.5cm

104 / シャルル・ゲラン (1875-1939) / 室内婦人像 / 1910-1920 / カンヴァス・油彩 / 66.0 × 66.0cm

105 / 有島生馬 (1882-1974) / バルコニーの婦人像 / 1907 / カンヴァス・油彩 / 53.0 × 41.0cm

106 / 太田喜二郎 (1883-1951) / 花摘図 / 1911-1912 / カンヴァス・油彩 / 130.0 × 118.0 cm

107 / 徳永仁臣 (1871-1936) / 赤いターバン / 1912-1913 / カンヴァス・油彩 / 66.5 × 51.5cm

108 / 澤部清五郎 (1884-1964) / バラの髪飾り / 1912 / カンヴァス・油彩 / 71.7 × 58.5cm

109 / 澤部清五郎 (1884-1964) / 女 / 1913 / カンヴァス・油彩 / 48.0 × 40.3cm

110 / 満谷国四郎 (1874-1936) / 手鏡を見る少女 / c.1915 / カンヴァス・油彩 / 53.2 × 45.5cm

111 / 北島浅一 (1887-1948) / 踊り子 / 1921 / カンヴァス・油彩 / 80.8 × 65.2cm

112 / 田中善之助 (1889-1946) / 赤い帽子の女 / 1920-1922 / カンヴァス・油彩 / 60.5 × 53.0cm

113 / 松田 俊 (1881-1954) / 《青い帽子の婦人像》 / 1920-1924 / カンヴァス・油彩 / 65.3 × 53.5cm

114 / 跡見 泰 (1884-1953) / 田舎の娘 / 1923 / カンヴァス・油彩 / 91.0 × 72.5cm

115 / 鈴木 誠 (1897-1969) / アトリエの女 / 1923-1926 / カンヴァス・油彩 / 37.8 × 45.5cm

116 / 川端弥之助 (1893-1981) / オランダ、ホーレンダム風景 / 1923-1924 / カンヴァス・油彩 / 31.4 × 40.6cm

117 / 霜鳥之彦 (1884-1982) / 赤いスウェーター / 1923 / カンヴァス・油彩 / 65.2 × 50.4cm

118 / 熊岡美彦 (1889-1944) / プルターニュ少女 / 1928 / カンヴァス・油彩 / 92.2 × 73.0cm

119 / 田中繁吉 (1898-1994) / バリージェンヌ / 1927 / カンヴァス・油彩 / 100.0 × 72.8cm

120 / 鶴田吾郎 (1890-1969) / フィンランドの娘 / 1930 / カンヴァス・油彩 / 58.8 × 48.5 cm

121 / 伊藤慶之助 (1897-1984) / 縫物せる婦人 (於巴里) / 1931 / カンヴァス・油彩 / 50.3 × 60.7cm

(4) 現代版画の小宇宙 金子コレクションから



A4 チラシ

会 期：令和5年11月21日(火)～12月27日(水)

開催日数 31日

分 野：版画

展示数：258点

主 催：福島県立美術館

観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 600 (500) 円、  
小・中学生 400 (300) 円 \* ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：2,484 名

担 当：坂本篤史、紺野朋子、濱田洋亮

関連事業：

- ・講演会 「現代版画入門—金子コレクションから—」

講師：三木哲夫氏（兵庫陶芸美術館長）

日時：12月17日(日) 14時～15時30分

参加者数：50名

- ・ギャラリートーク

講師：坂本篤史（主任学芸員）

日時：12月9日(土) 14時～15時

参加者数：20名

概要：

福島県伊達市出身の精神科医・金子元久氏は、現代日本版画や蔵書票の収集家としても知られている。当館では2022年度に同氏から130作品の寄贈に加え、400点以上の作品の寄託を受けた。なかでも木版画家・黒崎彰の作品は90点にも上り、初期から晩年まで彼の作風をたどることができる貴重なコレクションと言える。

本展は黒崎彰に加え、木口木版画家・柄澤齊や銅版画家・北川健次、日本の現代美術のひとつの動向である「もの派」を主導した李禹煥など、戦後の日本版画界を代表する作家から、シャガールのポスターまで、258点の作品を通して、同氏のコレクションの全貌に迫った。



展示風景



講演会



ギャラリートーク

## 出品リスト：

[出品番号/作家名/作品名/シリーズ名/材質・技法/所蔵]

- 1 / 川上 澄生 / カラーと勲章 / 紙・木版 / 1932(昭和7)年 / 個人蔵
- 2 / 川上 澄生 / 蚕船入津(街景) / 紙・木版、手彩色 / 1949(昭和24)年 / 個人蔵
- 3 / 川上 澄生 / 波囲み南蛮船 / 紙・木版 / 1949(昭和24)年 / 個人蔵
- 4 / 川上 澄生 / 胸中の地図 / 紙・木版、ニス / 1953(昭和28)年 / 個人蔵
- 5 / 川上 澄生 / 南蛮ぶり / 紙・木版、手彩色 / 1955(昭和30)年 / 個人蔵
- 6 / 川上 澄生 / ランプ4本 / 紙・木版 / 1955(昭和30)年 / 個人蔵
- 7 / 川上 澄生 / 偽版 GIPANG 古地図 / 紙・木版 / 1956(昭和31)年 / 個人蔵
- 8 / 川上 澄生 / 明治写真館 / 紙・木版 / 1956(昭和31)年 / 個人蔵
- 9 / 川上 澄生 / 聖者と花魁 / 紙・木版 / 1958(昭和33)年 / 個人蔵
- 10 / 川上 澄生 / 蚕船入津 船載珍貨 / 紙・木版、手彩色 / 1959(昭和34)年 / 個人蔵
- 11 / 芹沢 銈介 / 微笑観音 / 紙・合羽摺、手彩色 / 1947(昭和22)年 / 個人蔵
- 12 / 芹沢 銈介 / 新版絵本どんきほうて / 紙・型染、本 / 1976(昭和51)年 / 個人蔵
- 13 / 芹沢 銈介 / 喜 / 絹、型染 / 制作年不詳 / 個人蔵
- 14 / 芹沢 銈介 / 団扇模様 / 絹、型染 / 制作年不詳 / 個人蔵
- 15 / 芹沢 銈介 / 壺 / 絹、型染 / 制作年不詳 / 個人蔵
- 16 / 芹沢 銈介 / いろは文字 / 絹、型染 / 制作年不詳 / 個人蔵
- 17 / 森 義利 / 踊り子 / 紙・合羽摺 / 1979(昭和54)年 / 個人蔵
- 18 / 森 義利 / 夏の市 観音堂四万六千日 / 紙・木版 / 制作年不詳 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 19 / 浅野 竹二 / しゃがむ男 / 紙・木版 / 1970(昭和45)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 20 / 畦地 梅太郎 / 鳥と山男 / 紙・木版 / 1955(昭和30)年 / 個人蔵
- 21 / 徳力 富吉郎 / 道頓堀の宵 / 紙・木版 / 1962(昭和37)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 22 / 笹島 喜平 / 不動明王 No.64 / 紙・木版(拓摺) / 1976(昭和51)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 23 / 斎藤 清 / 会津の冬(100)三島町 大石田 / 紙・木版 / 1992(平成4)年 / 個人蔵
- 24 / 小野 忠重 / 浜(赤) / 紙・木版 / 1975(昭和50)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 25 / 萩原 英雄 / 星月夜 No.1 / 紙・木版 / 1979(昭和54)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 26 / 萩原 英雄 / 三十六富士 石和早春 / 紙・木版 / 1981-86(昭和56-61)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 27 / 星 襄一 / 梢(赤) / 紙・木版 / 1973(昭和48)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 28 / 関野 準一郎 / フィレンツェの屋根 / 紙・木版 / 1959(昭和34)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 29 / 関野 準一郎 / 棟方志功像 / 紙・木版 / 1968(昭和43)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 30 / 関野 準一郎 / 西陣雪 / 紙・木版 / 1973(昭和48)年 / 個人蔵
- 31 / 関野 準一郎 / 京の朝 / 紙・木版 / 1979(昭和54)年 / 個人蔵
- 32 / 関野 準一郎 / 京の夕 / 紙・木版 / 1980(昭和55)年 / 個人蔵
- 33 / 関野 準一郎 / 奥の細道版画冊 飯坂(穴原) / 紙・木版 / 1984(昭和59)年 / 個人蔵

- 34 / 岡村 吉右衛門 / 『會津熱塩紙示現』 / 紙・型染、本 / 1956(昭和31)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 35 / 岡村 吉右衛門 / 『會津本郷未窯抄』 / 紙・型染、本 / 1956(昭和31)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 36 / 岡村 吉右衛門 / 『伊達茂庭の瀑布』 / 紙・型染、本 / 1960(昭和35)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 37 / 清宮 質文 / われむかしの日にしえの年をおもえり / 紙・木版 / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 38 / 金守 世士夫 / 湖山 不二・七夕 / 紙・木版 / 1997(平成9)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 39 / クリントン・カーフ / Hatsuyuki / 紙・木版 / 1992(平成4)年 / 個人蔵
- 40 / 井堂 雅夫 / わら葺き屋根の茶屋 / 紙・木版 / 1990(平成2)年 / 個人蔵
- 41 / 横山 貞二 / 遺跡 / 紙・木版 / 2000(平成12)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 42 / 柿崎 兆 / 雨後 / 紙・木版 / 1990(平成2)年 / 個人蔵
- 43 / 山中 現 / 白の領域 / 紙・木版 / 2011(平成23)年 / 個人蔵
- 44 / 山中 現 / 夜の帳 / 紙・木版 / 2014(平成26)年 / 個人蔵
- 45 / 岩切 裕子 / モノリスの月への聖画(アイコン) / 紙・木版 / 1995(平成7)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 46 / 古谷 博子 / 天文学者の休暇 / 紙・木版 / 1994(平成6)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 47 / 黒崎 彰 / 地の声・木のえだ / 紙・木版 / 1967(昭和42)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 48 / 黒崎 彰 / 浄夜 56 / 紙・木版 / 1968(昭和43)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 49 / 黒崎 彰 / 寓話 69 / 紙・木版 / 1969(昭和44)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 50 / 黒崎 彰 / 赤い闇 3 / 紙・木版 / 1970(昭和45)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 51 / 黒崎 彰 / 星の神話 / 紙・木版、孔版 / 1972(昭和47)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 52 / 黒崎 彰 / 失われた楽園 8 / 紙・木版、孔版 / 1972(昭和47)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 53 / 黒崎 彰 / 失われた楽園 9 / 紙・木版、孔版 / 1972(昭和47)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 54 / 黒崎 彰 / 暗号の森 2 / 紙・木版 / 1973(昭和48)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 55 / 黒崎 彰 / ファンキーアート 版画集『アメリカ』より / 紙・木版、写真凸版 / 1975(昭和50)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 56 / 黒崎 彰 / タイム 版画集『アメリカ』より / 紙・木版、写真凸版 / 1975(昭和50)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 57 / 黒崎 彰 / ハーバード 版画集『アメリカ』より / 紙・木版、写真凸版 / 1975(昭和50)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 58 / 黒崎 彰 / 迷彩譜 10 / 紙・木版 / 1978(昭和53)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 59 / 黒崎 彰 / メランコリー A / 紙・木版 / 1979(昭和54)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 60 / 黒崎 彰 / メランコリー B / 紙・木版 / 1980(昭和55)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 61 / 黒崎 彰 / 夜のアラバスク / 紙・木版 / 1980(昭和55)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 62 / 黒崎 彰 / 中国長城 版画集『中国』より / 紙・木版、孔版 / 1980(昭和55)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)

- 和55)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 63/黒崎 彰/中国印章 版画集『中国』より/紙・木版、孔版/1980(昭和55)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 64/黒崎 彰/上海算盤 版画集『中国』より/紙・木版、孔版/1980(昭和55)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 65/黒崎 彰/二つの時の間に3/紙・木版/1984(昭和59)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 66/黒崎 彰/二つの時の間に5/紙・木版/1984(昭和59)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 67/黒崎 彰/東大門 版画集『韓国八景』より/紙・木版、孔版/1987(昭和62)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 68/黒崎 彰/石塔 版画集『韓国八景』より/紙・木版、孔版/1987(昭和62)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 69/黒崎 彰/障子 版画集『韓国八景』より/紙・木版、孔版/1987(昭和62)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 70/黒崎 彰/白い月/紙・木版/1993(平成5)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 71/黒崎 彰/アガメムノーン:〈ガイア〉シリーズ/紙・木版/1996(平成8)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 72/黒崎 彰/オルフェウスの豎琴/紙・木版/1999(平成11)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 73/黒崎 彰/青い空と羊:〈遊牧民シリーズ〉より3/紙・木版/2002(平成14)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 74/黒崎 彰/白い河C/紙・木版/2005(平成17)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 75/黒崎 彰/禁じられたゾーン4/紙・木版/2009(平成21)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 76/黒崎 彰/天の香久山 万葉/紙・木版/2014(平成26)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 77/日和崎 尊夫/KALPA 69-A/紙・木口木版/1969(昭和44)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 78/日和崎 尊夫/(1)薔薇魚 版画集『薔薇刑』より/紙・木口木版/1970(昭和45)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 79/日和崎 尊夫/(7)薔薇刑 版画集『薔薇刑』より/紙・木口木版/1970(昭和45)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 80/小林 敬生/版画集『午前3時の無言歌』/紙・木口木版、本/1979(昭和54)年/個人蔵
- 81/小林 敬生/星の時間・D(群舞・94-10より)/紙・木口木版/1994(平成6)年/福島県立美術館(金子コレクション)
- 82/柄澤 齊/捕えられた天使或は翼のある男/紙・木口木版/1972(昭和47)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 83/柄澤 齊/ケーブル/紙・木口木版/1972(昭和47)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 84/柄澤 齊/畸形アンドロギュヌス或は愛の不完全/版画集『Al-Chimija』〈8枚の小口木版のための8つの錬金術的寓意〉より/紙・木口木版/1972(昭和47)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 85/柄澤 齊/地の果の獅子バツレハムの星を呑み込む或はもう一つの神聖受胎 版画集『Al-Chimija』〈8枚の小口木版のための8つの錬金術的寓意〉より/紙・木口木版/1972-1975(昭和47-50)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 86/柄澤 齊/蝸牛の棲む塔或は生誕前夜/版画集『Al-Chimija』〈8枚の小口木版のための8つの錬金術的寓意〉より/紙・木口木版/1972(昭和47)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 87/柄澤 齊/エピテメテウスの糞/紙・木口木版/1973(昭和48)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 88/柄澤 齊/タルタロス/紙・木口木版/1974(昭和49)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 89/柄澤 齊/船/紙・木口木版/1977(昭和52)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 90/柄澤 齊/沈黙I 牡蠣/紙・木口木版/1980(昭和55)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 91/柄澤 齊/潭画集『迷宮の潭』I/紙・木口木版/1980-81(昭和55-56)年 個人蔵
- 92/柄澤 齊/潭画集『迷宮の潭』IV/紙・木口木版/1980-81(昭和55-57)年/個人蔵
- 93/柄澤 齊/潭画集『迷宮の潭』VI/紙・木口木版/1980-81(昭和55-58)年/個人蔵
- 94/柄澤 齊/肖像II アルブレヒト・デューラー A/紙・木口木版/1981(昭和56)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 95/柄澤 齊/肖像VIII ルカス・クラナツハ/紙・木口木版/1983(昭和58)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 96/柄澤 齊/肖像IX フランツ・カフカ/紙・木口木版/1983(昭和58)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 97/柄澤 齊/肖像XIX ハンス・クリスティアン・アンデルセン/紙・木口木版/1984(昭和59)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 98/柄澤 齊/肖像XXIV アルフレート・クービン/紙・木口木版/1985(昭和60)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 99/柄澤 齊/肖像XXV ラファエルロ・サンツィオ/紙・木口木版/1985(昭和60)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 100/柄澤 齊/死と変容I-1 すべてを一つの夜が待つ 死を想え/紙・木口木版、金箔/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 101/柄澤 齊/死と変容I-3 日蝕/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 102/柄澤 齊/死と変容I-4 夢または流刑/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 103/柄澤 齊/死と変容I-7 水/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 104/柄澤 齊/死と変容I-9 果実/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 105/柄澤 齊/死と変容I-15 変相図C(PARMIGIANINOによる)/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 106/柄澤 齊/死と変容I-19 地の鉢/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 107/柄澤 齊/死と変容I-20 ポート/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 108/柄澤 齊/死と変容I-21 夢または旅路/紙・木口木版/1988(昭和63)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 109/柄澤 齊/死と変容II-2 水の本/紙・木口木版/1990(平成2)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 110/柄澤 齊/死と変容II-3 月蝕/紙・木口木版/1990(平成2)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 111/柄澤 齊/死と変容II-5 神話A/紙・木口木版/1990(平成2)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 112/柄澤 齊/死と変容II-6 神話B/紙・木口木版/1990(平成2)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 113/柄澤 齊/死と変容II-7 神話C/紙・木口木版/1990(平成2)年/福島県立美術館寄託(金子コレクション)

- 114 / 柄澤 齊 / 死と変容 II-10 洪水 A / 紙・木口木版 / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 115 / 柄澤 齊 / 死と変容 II-18 陳列室 / 紙・木口木版 / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 116 / 柄澤 齊 / 死と変容 II-19 方舟 / 紙・木口木版 / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 117 / 柄澤 齊 / 死と変容 II-21 時の井戸 / 紙・木口木版 / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 118 / 柄澤 齊 / 方丈記 2 無常を争ふさま いはば朝顔の露に異ならず / 紙・木口木版 / 1994(平成6)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 119 / 柄澤 齊 / 植物の睡眠 X / 紙・木口木版 / 1996(平成8)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 120 / 柄澤 齊 / (2)一寸法師 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による10のかりかちゅア』より / 紙・木口木版 / 1999(平成11)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 121 / 柄澤 齊 / (9)浦嶋太郎 版画集『ZIPANGU 日本の昔話による10のかりかちゅア』より / 紙・木口木版 / 1999(平成11)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 122 / 栗田 政裕 / 版画文集『山麓紀行・II ツエルマツ』 / 紙・木口木版、本 / 1997(平成9)年 / 個人蔵
- 123 / 『鑿』創刊号 / 紙・木口木版、本 / 1979(昭和54)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 124 / 『鑿』II / 紙・木口木版、本 / 1980(昭和55)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 125 / 『鑿』III / 紙・木口木版、本 / 1981(昭和56)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 126 / 『鑿』IV / 紙・木口木版、本 / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 127 / 『鑿』V / 紙・木口木版、本 / 1983(昭和58)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 128 / 三塩 佳晴(英春) / The Milky Way / 紙・木口木版、手彩色 / 2006(平成18)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 129 / 長島 充 / グリーンマン伝説 - III・秘儀 / 紙・木口木版 / 2002(平成14)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 130 / 村井 正誠 / 三つの顔 / 紙・リトグラフ 1958(昭和33)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 131 / 瑛九 / 森の会話 / 紙・エッチング / 1969(昭和44)年 [初刷: 1953年] / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 132 / 古沢 岩美 / I 仙乞 版画集『修羅餓鬼』より / 紙・エッチング、アクアチント / 1993(平成5)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 133 / オノサト・トシノブ / Silk-59 / 紙・シルクスクリーン / 1974(昭和49)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 134 / 浜田 知明 / 夜 / 紙・エッチング、アクアチント / 1988(昭和63)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 135 / 福井 良之助 / 孤島の館 / 紙・エッチング / 1974(昭和49)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 136 / 木村 利三郎 / City 378 / 紙・シルクスクリーン / 1980(昭和55)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 137 / 深沢 幸雄 / 憂愁市街・迷路 / 紙・メゾチント、アクアチント、エッチング / 1985(昭和60)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 138 / 深沢 幸雄 / 『汚れたちまつた悲しみに……』(12点組) / 紙・銅版 / 1998(平成10)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 139 / 小林 ドンゲ / 踊りの報酬(サロメ) / 紙・エングレーヴィング、エッチング、ドライポイント / 1977(昭和52)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 140 / 鬢嘯 / 勸善懲惡(2点組のうち) / 紙・シルクスクリーン / 1988(昭和63)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 141 / 鬢嘯 / 勸善懲惡(2点組のうち) / 紙・シルクスクリーン / 1988(昭和63)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 142 / 麻田 浩 / PLUME ET FILET / 紙・アクアチント、エッチング、ドライポイント / 1977(昭和52)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 143 / 斎藤 カオル / 青衣 / 紙・メゾチント / 1976(昭和51)年 / 個人蔵
- 144 / 二見 彰一 / 祝祭の夜 / 紙・アクアチント / 1972(昭和47)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 145 / 二見 彰一 / 凍れる光 / 紙・アクアチント / 1973(昭和48)年 / 個人蔵
- 146 / 二見 彰一 / バッハを聞いた後で / 紙・アクアチント / 1980(昭和55)年 / 個人蔵
- 147 / 木原 康行 / (1)Mort 1 詩画集『死と転生』より / 紙・エングレーヴィング / 1977(昭和52)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 148 / 木原 康行 / (9)M\_tamorphose 4 詩画集『死と転生』より / 紙・エングレーヴィング / 1977(昭和52)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 149 / 池田 満寿夫 / ムーンフェイス / 紙・ドライポイント、コラージュ / 1961(昭和36)年 / 個人蔵
- 150 / 若林 奮 / Landscape I / 紙・エッチング / 1961(昭和36)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 151 / 若林 奮 / 版画集『ノート・鮭の尾鱭』1 / 紙・ドライポイント / 1977-78(昭和52-53)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 152 / 若林 奮 / 版画集『ノート・鮭の尾鱭』6 / 紙・ドライポイント / 1977-78(昭和52-53)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 153 / 若林 奮 / 版画集『ノート・鮭の尾鱭』10 / 紙・ドライポイント / 1977-78(昭和52-53)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 154 / 坂東 壯一 / 闇のアルテミス / 紙・エッチング、アクアチント / 1980(昭和55)年 / 個人蔵
- 155 / 相笠 昌義 / ゴリラをみる人 / 紙・エッチング / 1991(平成3)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 156 / 山下 清澄 / 第四庭園 巨蟹宮 版画集『ゾーデアックあるいは12のサッポの庭園』より / 紙・銅版、金箔 / 1996(平成8)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 157 / 内藤 八千代 / タンポポ / 紙・エッチング、アクアチント、金箔 / 制作年不詳 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 158 / 竹田 和子 / 詩画集『朝のない夜の向こうへ』1 / 紙・メゾチント / 1970(昭和45)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 159 / 竹田 和子 / Gemini 版画集『十二宮の星座』より / 紙・メゾチント / 1975(昭和50)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 160 / 丹阿弥 丹波子 / こでまり 03 / 紙・メゾチント / 2003(平成15)年 / 個人蔵
- 161 / 池田 良二 / Light comes ashore(上陸した光) / 紙・フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント / 1996(平成8)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 162 / 渡辺 達正 / 三匹の魚 版画集『白い花と魚』より / 紙・エッチング、アクアチント / 1977(昭和52)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)

- 163 / 蒲地 清爾 / われら穢れの霊葉として / 紙・エッチング、エングレーヴィング / 制作年不詳 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 164 / 黒須 昇 / ひかりかがやく手、あるいは夢の変幻 / 紙・リトグラフ / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 165 / 利涉 重雄 / 晨 版画集『宇—時の涉獵者たち—』より / 紙・エッチング、アクアチント / 1989(平成元)年 / 個人蔵
- 166 / 浜西 勝則 / Silence-work No. 7 / 紙・メゾチント、金箔 / 2003(平成15)年 / 個人蔵
- 167 / 戸村 茂樹 / 森の道 1 / 紙・エッチング、ドライポイント / 2000(平成12)年 / 個人蔵
- 168 / 北川 健次 / Diary II / 紙・エッチング、アクアチント、ドライポイント / 1973(昭和48)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 169 / 北川 健次 / 午後 / 紙・エッチング、アクアチント / 1974(昭和49)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 170 / 北川 健次 / 死と騎士と悪魔 / 紙・エッチング、アクアチント、フォトグラヴィール / 1988(昭和63)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 171 / 北川 健次 / (5) 逡巡する九月—プラハ 版画集『サン=シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る7つの意匠』より / 紙・フォトグラヴィール、アクアチント、シルクスクリーン / 1995(平成7)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 172 / 北川 健次 / (7) NIJINSKY または歩行の原理 版画集『サン=シュルピスの視えない庭園—ギザルドを巡る7つの意匠』より / 紙・フォトグラヴィール、アクアチント / 1995(平成7)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 173 / 北川 健次 / マリエスの巣箱 / 紙・インクジェットインク / 2004(平成16)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 174 / 山本 容子 / After. 我々とは何か?(光の大地より) / 紙・エッチング、手彩色 / 1996(平成8)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 175 / 黒田 茂樹 / Path / 紙・エッチング、アクアチント、ドライポイント / 2005(平成17)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 176 / 若月 公平 / M'range ~ A / 紙・エッチング、アクアチント / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 177 / 若月 公平 / 一月の薄氷 版画集『十二月』(12点組) / 紙・エッチング、アクアチント / 2001(平成13)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 178 / 若月 公平 / 二月 滝が凍る日 版画集『十二月』(12点組) / 紙・エッチング、アクアチント / 2001(平成13)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 179 / 若月 公平 / 三月の霜柱 版画集『十二月』(12点組) / 紙・エッチング、アクアチント / 2001(平成13)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 180 / 若月 公平 / Page 3, 4 / 紙・エッチング、アクアチント / 制作年不詳 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 181 / 西川 洋一郎 / Here's that rainy day / 紙・リトグラフ / 制作年不詳 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 182 / 林 孝彦 / 風含瀬 -1 / 紙・エッチング / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 183 / 山口 啓介 / 水門・高速道 / 紙・エッチング / 1990(平成2)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 184 / 李 禹煥 / 項 G / 紙・木版 / 1978(昭和53)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 185 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 1 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 186 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 2 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 187 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 3 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 188 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 4 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 189 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 5 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 190 / 李 禹煥 / FROM POINT AND LINE 6 / 紙・ドライポイント / 1982(昭和57)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 191 / 李 禹煥 / 採石場の思い出 1 / 紙・リトグラフ / 1984(昭和59)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 192 / 李 禹煥 / 採石場の思い出 2 / 紙・リトグラフ / 1984(昭和59)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 193 / 李 禹煥 / FROM WIND C / 紙・ドライポイント / 1986(昭和61)年 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 194 / 李 禹煥 / 港より 2 / 紙・ドライポイント / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 195 / 李 禹煥 / 港より 7 / 紙・ドライポイント / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 196 / 李 禹煥 / 港より 9 / 紙・ドライポイント / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 197 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 1 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 198 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 2 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 199 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 3 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 200 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 4 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 201 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 5 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 202 / 李 禹煥 / 都市の記憶より 6 / 紙・リトグラフ / 1989(昭和64/平成元)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 203 / 李 禹煥 / ある黙示録より 3 / 紙・リトグラフ / 2003(平成15)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 204 / 李 禹煥 / ある黙示録より 6 / 紙・リトグラフ / 2003(平成15)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 205 / 李 禹煥 / 黙 5 / 紙・リトグラフ / 2006(平成18)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 206 / 榎倉 康二 / 干涉(空)No.1 / 紙・シルクスクリーン / 1986(昭和61)年 / 福島県立美術館(金子コレクション)
- 207 / ウィリアム・ホガース / ジン横丁 / 紙・エングレーヴィング、エッチング / 1751年以降 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 208 / ウィリアム・ホガース / ビール街 / 紙・エングレーヴィング、エッチング / 1751年以降 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 209 / ウィリアム・ホガース / 放蕩息子一代記 第8図 精神病院にて / 紙・エングレーヴィング、エッチング / 1763年以降 / 福島県立美術館寄託(金子コレクション)
- 210 / 『ガゼット・デウ・ボン・トン』第8号(1913年6月) / 本 / 1913年 / 個人蔵
- 211 / アンドレ・マルティ / 戻りましょう、夜気が寒くなってきたわ…  
ドウエの夜会服 『ガゼット・デウ・ボン・トン』第6号 1914年4月号所載 / 紙・ポシヨワール / 1914年 / 個人蔵

- 212 / フランシスコ・ハビエル・ホセ / 5月の木 夏の軽装『ガゼット・デウ・ボン・トン』第5号1914年5月号所載 / 紙・ポショワール / 1914年 / 個人蔵
- 213 / ビエール・ムルグ / パレ・ロワイヤルの散歩道『ガゼット・デウ・ボン・トン』第3号1921年■月号所載 / 紙・ポショワール / 1921年 / 個人蔵
- 214 / ジョルジュ・バルビエ / 誰があなたを愛さないだろうか『ガゼット・デウ・ボン・トン』第4号1922年■月号所載 / 紙・ポショワール / 1922年 / 個人蔵
- 215 / ジュール・シェレ / 第4回パリ万博(1889年)『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1899年(原作1889年) / 個人蔵
- 216 / ウジェーヌ・グラッセ / グラッセ個展(パリ、サロン・デ・サン) / 『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1897年(原作1894年) / 個人蔵
- 217 / ウジェーヌ・グラッセ / サラ・ベルナル主演「ジャンヌ・ダルク」(パリ、ルネサンス劇場)『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1899年(原作1893年) / 個人蔵
- 218 / エティエンヌ・モロー=ネラトン / 「フランスの陶芸展」(パリ、ボザール宮)『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1899年(原作1897年) / 個人蔵
- 219 / アルフォンス・ミュシャ / サラ・ベルナル主演「ジスモンダ」(パリ、ルネサンス劇場)『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1896年(原作1894年) / 個人蔵
- 220 / チャールズ・ウッドベリー / 『センチュリー』誌7月号『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1896年(原作1895年) / 個人蔵
- 221 / アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック / 『ルヴュ・ブランシュ』誌『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1897年(原作1895年) / 個人蔵
- 222 / ジョルジュ・ド・フル / 『ジュルナル・デ・ヴァンテ』誌『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1898年(原作1897年) / 個人蔵
- 223 / ウィル・ブラッドリー / 『チャップブック』『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1898年(原作1895年) / 個人蔵
- 224 / ポール・ベルトン / 『レルミタージュ』誌『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1900年(原作1897年) / 個人蔵
- 225 / アンリ・ムーニエ / 「ウジェーヌ・イザイ・コンサート」(ブリュッセル、スィルク・ロワイヤル)『ポスターの巨匠たち』(縮小複製版)より / 紙・リトグラフ / 1896年(原作1895年) / 個人蔵
- 226 / マルク・シャガール / ロミオとジュリエット(フランス政府観光局ポスター) / 紙・リトグラフ(ムルロ工房刷) / 1964年 / 個人蔵
- 227 / マルク・シャガール / カルメン(ニューヨーク・メトロポリタンオペラ劇場落成記念ポスター) / 紙・リトグラフ(ムルロ工房刷) / 1966年 / 個人蔵
- 228 / マルク・シャガール / シャガール版画展(パリ、ベルグリュアン画廊、1967年)ポスター / 紙・リトグラフ(ムルロ工房刷) / 1967年 / 個人蔵
- 229 / マルク・シャガール / モーツァルト作「魔笛」(ニューヨーク、メトロポリタンオペラ劇場、1967年) / 紙・リトグラフ(ムルロ工房刷) / 1967年 / 個人蔵
- 230 / マルク・シャガール / 四季 / 紙・リトグラフ / 1974年 / 個人蔵
- 231 / 川上 澄生 / 蔵書票(31点) / 紙・木版 / 個人蔵
- 232 / 芹沢 銈介 / 蔵書票(15点)・国内作家板目木版蔵書票(12点) / 紙・型染、木版 / 個人蔵
- 233 / 村上 戸久 / 『鈍亭型染蔵書票集』(私家版) / 紙・型染、本 / 1997(平成9年) / 個人蔵
- 234 / 村上 戸久 / 鈍亭愛書エクス・リブリス(三角シリーズ) / 紙・型染 / 2006(平成18年) / 個人蔵
- 235 / 坂東 壯一 / 蔵書票(4点)
- 236 / 末廣 吉成 / 蔵書票・夏目漱石1(12点) / 紙・木版 / 個人蔵
- 237 / 末廣 吉成 / 蔵書票・夏目漱石2(12点) / 紙・木版 / 個人蔵
- 238 / 内藤 八千代 / 蔵書票文集『時の観覧車』(金子元久・文 / 私家版) / 紙・エッチング、アクアチント / 2002(平成14年) / 個人蔵
- 239 / 内藤 八千代 / 蔵書票文集『老狂ひとりごと』(金子元久・文 / 私家版) / 紙・エッチング、アクアチント / 2012(平成24年) / 個人蔵
- 240 / 内藤 八千代 / 蔵書票・夏目漱石 銅版原版(2点) / 銅 / 制作年不詳 / 個人蔵
- 241 / 内藤 八千代 / 蔵書票・夏目漱石 / 紙・エッチング / 制作年不詳 / 個人蔵
- 242 / 伊藤 卓美ほか / 蔵書票・金子コレクション(14点) / 紙・木版、銅版、リトグラフ / 個人蔵
- 243 / 利涉 重雄 / 蔵書票・夜の気流 / 紙・エッチング、アクアチント / 2010(平成22年) / 個人蔵
- 244 / 浜西 勝則 / 蔵書票・日本の四季(4点) / 紙・メゾチント、金箔 / 個人蔵
- 245 / 浜西 勝則 / 蔵書票・ドイツシリーズ 銅版原版(5点) / 銅 / 2008(平成20年)頃 / 個人蔵
- 246 / 浜西 勝則 / 蔵書票・ドイツシリーズ(5点) / 紙・メゾチント、金箔 / 2008(平成20年) / 個人蔵
- 247 / 戸村 茂樹 / 蔵書票・ながれくる木 / 紙・エッチング / 2008(平成20年) / 個人蔵
- 248 / 栗田 政裕 / 蔵書票文集『イタリア逍遙』(金子元久・文 / 私家版) / 紙・木口木版、本 / 1999(平成11年) / 個人蔵
- 249 / 栗田 政裕 / 蔵書票・フロイト / 紙・木口木版 / 2023(令和5年) / 個人蔵
- 250 / 栗田 政裕 / 蔵書票・フロイト 原版 / 木 / 2023(令和5年) / 個人蔵
- 251 / 山中 現 / 蔵書票(9点) / 紙・木版 / 個人蔵
- 252 / 若月 公平 / 蔵書票(5点) / 紙・銅版
- 253 / 小河原 智子 / 似顔絵蔵書票 MOTOHISA KANEKO II / 印画紙・インクジェットインク / 2015(平成27年) / 個人蔵
- 254 / 林 由紀子 / 蔵書票・書物の誘惑(7点) / 紙・エンブレイヴィング / 2009(平成21年) / 個人蔵
- 255 / 西川 洋一郎 / 蔵書票・イギリスの四季 秋 / 紙・リトグラフ / 2010(平成22年) / 個人蔵
- 256 / 西川 洋一郎 / 蔵書票文集『ロマン派詩人が歌う英国の四季』(金子元久・文 / 私家版) / 紙・リトグラフ、本 / 2014(平成26年) / 個人蔵
- 257 / 夏目漱石著『ころ』(日本近代文学館、1984年) / 本 / 個人蔵
- 258 / 太宰治著『晩年』(日本近代文学館、1980年) / 本 / 個人蔵

(5) 福島アートアニュアル 2024

二次の彼方に：安齋菜由、ク渦群、高木ちゃー



B2 ポスター

会 期：令和6年2月3日(土)～3月3日(日) 開催日数 26 日

分 野：絵画、映像

展示数：43 点

主 催：福島県立美術館

観覧料：一般・大学生 400 (300) 円、高校生 200 (100) 円、  
小・中学生 100 (50) 円 ※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：2,881 名

担 当：宮武 弘、白木ゆう美

関連事業：

・ 出品作家によるギャラリートーク

日時：2月10日(土) 14時～15時

講師：安齋菜由氏、ク渦群氏、高木ちゃー氏 (出品作家)

参加者数：87 名

概要：

福島県出身・ゆかりの若手作家を紹介するシリーズ企画の第3回展。近年、特にオンライン・コミュニティにおいてマンガ、アニメやゲームなどの影響を受けた二次元キャラクターを題材とする絵画作品が大きな注目を集めている。本展では安齋菜由(1999年二本松市出身)、ク渦群(1993年南相馬市生まれ)、高木ちゃー(1997年福島市生まれ)の3名を取り上げ、現代絵画における二次元コンテンツの影響と創作への可能性について考察を試みた。



展示風景



ギャラリートーク

## 出品リスト：

[No./作家名/作品名/制作年/材質・技法/寸法 (cm)]

## ◆安齋茉由

A-1 / 安齋茉由 / free park5 / 2021 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 97.3 × 145.8

A-2 / 安齋茉由 / free park7 (1) / 2021 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 130.5 × 194.0

A-3 / 安齋茉由 / free park7 (2) / 2021 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 130.5 × 162.0

A-4 / 安齋茉由 / free park13 / 2022 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 41.0 × 31.8

A-5 / 安齋茉由 / free park14 / 2022 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 45.6 × 33.4

A-6 / 安齋茉由 / free park15 / 2022 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 91.0 × 72.8

A-7 / 安齋茉由 / free park17 / 2022 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 45.7 × 15.9/53.2 × 65.3

A-8 / 安齋茉由 / free park18 / 2022 / カンヴァス・油彩、鉛筆、色鉛筆、木炭 / 112.0 × 162.2

A-9 / 安齋茉由 / free park19 / 2023 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 194.2 × 130.3

A-10 / 安齋茉由 / free park21 / 2023 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 27.4 × 41.0

A-11 / 安齋茉由 / free park22 / 2023 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭 / 162.2 × 162.0

A-12 / 安齋茉由 / free park23 / 2023 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭、クレヨン / 91.0 × 61.0

A-13 / 安齋茉由 / free park24 / 2023 / カンヴァス・油彩、鉛筆、木炭、クレヨン / 32.0 × 40.9

A-14 / 安齋茉由 / ドローイング / 2020-2023 / 紙・アクリル、鉛筆等

## ◆ク渦群

K-1 / ク渦群 / predator / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 116.7 × 160.6

K-2 / ク渦群 / Luna / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 116.7 × 80.3

K-3 / ク渦群 / MY EARS ARE BURNING / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 97.0 × 81.0

K-4 / ク渦群 / Dead-end kids / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 91.0 × 85.0

K-5 / ク渦群 / eerie forest / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 91.0 × 85.0

K-6 / ク渦群 / ice / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 60.2 × 91.2

K-7 / ク渦群 / King Crustaceans : Long Legs / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等 / 60.0 × 91.0

K-8 / ク渦群 / 鬱勃 / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 60.6 × 91.0

K-9 / ク渦群 / snip / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク等 / 60.6 × 91.0

K-10 / ク渦群 / brush / 2022 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等 / 41.0 × 53.0

K-11 / ク渦群 / sparkle / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等 / 38.0 × 45.5

K-12 / ク渦群 / bitter / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等 / 38.0 × 45.5

K-13 / ク渦群 / euthymia / 2023 / パネル・ジェッツ、アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等 / 38.0 × 45.5

K-14 / ク渦群 / drawing / 2017-2023 / ケント紙・アクリルガッシュ、カラーインク、ペン等

## ◆高木ちやー

T-1 / 高木ちやー / Damsel in distress / 2022 / カンヴァス・油彩 / 53.2 × 116.8

T-2 / 高木ちやー / interfere / 2023 / カンヴァス・油彩 / 41.0 × 41.0

T-3 / 高木ちやー / interfere / 2023 / カンヴァス・油彩 / 41.0 × 41.0

T-4 / 高木ちやー / interfere / 2023 / カンヴァス・油彩 / 41.0 × 41.0

T-5 / 高木ちやー / interfere / 2023 / カンヴァス・油彩 / 41.0 × 41.0

T-6 / 高木ちやー / eyes / 2023 / エポキシ樹脂、OHP フィルム・インク / 21.0 × 21.0 × 1.0

T-7 / 高木ちやー / eyes / 2023 / エポキシ樹脂、OHP フィルム・インク / 21.0 × 21.0 × 1.0

T-8 / 高木ちやー / eyes / 2023 / エポキシ樹脂、OHP フィルム・インク / 21.0 × 21.0 × 1.0

T-9 / 高木ちやー / eyes / 2023 / エポキシ樹脂、OHP フィルム・インク / 21.0 × 21.0 × 1.0

T-10 / 高木ちやー / eyes / 2023 / エポキシ樹脂、OHP フィルム・インク / 21.0 × 21.0 × 1.0

T-11 / 高木ちやー / crowd / 2023 / カンヴァス・油彩 / 97.2 × 162.0

T-12 / 高木ちやー / crowd / 2023 / ミクストメディア

T-13 / 高木ちやー / unknown field / 2023 / ミクストメディア

T-14 / 高木ちやー / looking / 2023 / カンヴァス・油彩 / 91.2 × 91.0

T-15 / 高木ちやー / your darkness / 2023 / カンヴァス・油彩 / 89.4 × 145.9

(6) 美人画の雪月花 培広庵コレクション展



B2 ポスター

会 期：令和6年3月23日(土)～5月12日(日)

開催日数44日(令和5年度8日)

分 野：日本画

展示数：約160点

主 催：福島県立美術館

特別協力：培広庵

企画協力：ヤマト運輸株式会社

観覧料：一般・大学生1,000(800)円、高校生600(500)円、

小・中学生400(300)円 \* ( )内は20名以上の団体料金

観覧者数：986名(令和5年度)

担 当：月本寿彦、堀 宜雄

関連事業：

- ・ギャラリートーク

講師：月本寿彦(副主任学芸員)

日時：3月24日(日) 13時30分～14時30分

参加者数：37人

概要：

本展は、長い年月と情熱をかけて「美人画」を蒐集してきた培広庵氏のコレクションから、上村松園や北野恒富、島成園、土田麦僊、菊池契月ら京都大阪の画家や、浮世絵の流れをくむ鎬木清方や門下の伊東深水、山川秀峰ら、東西美人画の名品160点を特別公開するもの。大正から昭和初期の、「夢二美人」に代表されるどこか憂いを含んだ女性像や、モダンなライフスタイルを反映した「新しい女」たちの様子が垣間見られ、展覧会をとおして時代と世相、女性美の変化を楽しめる内容となった。



展示風景



物販コーナー



ギャラリートーク

# 美術館観覧者数一覧表

令和5年度観覧者数一覧

令和6年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	個人						団体						有料			無料			観覧者総計		
		高校生		小中学生		小計		高校生		小中学生		小計		一般・大学生	高校生	小計	一般・大学生	高校生	小計		有料 合計	無料・ 招待等
		一般・大学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生	小計	一般・大学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生	小計	一般・大学生	高校生	小計	一般・大学生	高校生	小計		有料 合計	無料・ 招待等
第1期～第4期	261日間	3,987					3,987	28				28				1,740			1,740	5,755	1,987	7,742
企画観覧券で常設展を観覧	通年																					
知除者(100/100)学校教育活動	通年																					
知除者(100/100)学校引率者	通年																					
知除者(50/100)県又は市町村主催	通年						0				0										大学	76
常設無料入館(こどもの日)	5月5日																					342
"(県民の日)	8月21日																					312
"(敬老の日)	9月20日																					102
"(文化の日)	11月3日																					195
小中高校生無料入館	通年																				小	1,121
"	"																				中	559
"	"																				高校	1,073
"	"																				準予	0
小計		3,987	0	0	0	3,987	28	0	0	28			1,740	0	0	1,740	0	0	1,740	5,755	24,889	30,644
1 美(み)をつくー大坂市立美術館コレクション	4/1～5/21 44日間	9,386	261	247	117	9,894	285	142	117	544	2,191	544	1,163	4	15	1,182			13,811	2,194	16,005	
2 プルタ・ニコの光と風へミネ、ヨーキヤン、ボカール 一連かなる理想郷～	7/1～8/27 51日間	13,969		1,023	397	14,992	243	640	397	640	4,338	640	1,513	6	22	1,541			21,511	2,539	24,050	
3 「少女たち」星野麻呂品展	9/23～11/12 44日間	2,098	19	26	91	2,143	75	45	91	211		211	769	1	3	773			3,127	890	4,017	
4 現代版画の小字宙 金子コレクションから	11/21～12/27 31日間	1,206	21	35	27	1,262	40	27	27	67		67	489	4	3	496			1,825	659	2,484	
5 福島アートのアニュアル2024	2/3～3/3 26日間	1,664	83	202	24	1,949		24		24		24	318	1	5	324			2,297	584	2,881	
6 美人面の雪月花ー裕広権コレクション展	3/23～3/31 8日間	551	11	30	26	592	26			26		26	229		8	237			855	131	986	
小計		28,874	395	1,563	605	30,832	669	238	605	1,512	6,529	1,512	4,481	0	4,481	4,553			43,426	6,997	50,423	
年賀状展入館者数																						721
学校連携共同ワークショップ入館者数																						1,750
教育及事業、講演会、コンサート、シンポジウム、芸術鑑賞 講座、博物館実習参加者、内覧会、など																						1,602
特集展示展にまつる詩																						1,198
小計																						5,271
合計		32,861	395	1,563	605	34,819	697	238	605	1,540	6,529	1,540	6,221	0	6,221	6,293			49,181	37,157	86,338	

※大坂市立美術館コレクション展のみ、次のように読み替えます。「一般・大学生」→「一般・大学生」→「高校・大学生」  
 ※プルタ・ニコの光と風展のみ、次のように読み替えます。「小中学生」→「小中学生」→「小中高生」  
 ※3月のその他入館者数…3,301(芸術鑑賞講座160名)

◆企画展・特集展示アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室内に置かれたアンケートに観覧者が任意に記入。数値は%。

展覧会名	美をつくし	眼に映る詩	プルトーニューの光と風	少女たち	現代版画の小宇宙	アートアニュアル
会期 (開催日数)	3/19～5/22 (56日間)	6/4～7/10 (32日間)	7/23～8/21 (26日間)	9/3～10/16 (38日間)	10/29～12/18 (43日間)	1/28～3/5 (31日間)
1-性別						
女性	65.2	64.3	60.7	58.0	59.9	50.4
男性	34.8	35.7	39.3	42.0	40.1	49.6
2-年齢						
10歳未満	3.8	0	3.2	3.8	2.6	4.8
10代	6.7	0	11.1	5.0	6.4	11.3
20代	6.7	9.1	11.8	6.3	7.7	17.7
30代	6.7	18.2	8.6	8.8	11.5	16.1
40代	12.0	27.3	11.5	11.8	9.0	19.4
50代	12.3	18.2	14.4	14.3	14.7	13.7
60代	27.9	18.2	22.2	22.3	23.1	8.9
70代	19.9	9.1	12.4	20.2	15.4	5.6
80歳以上	3.8	0	4.7	7.6	9.6	2.5
3-居住地						
県内	83.9	85.7	79.6	66.5	76.4	72.7
(内訳) 福島市	48.8	58.3	48.3	56.4	60.2	56.8
中通り *福島市以外	36.4	25.0	37.6	32.1	35.8	33.0
会津	7.7	0	7.9	5.5	1.6	5.7
浜通り	7.1	16.7	6.1	6.1	2.4	4.5
県外	16.1	14.3	20.4	33.5	23.6	27.3
4-職業						
勤めている	46.4	50.0	49.9	45.6	45.5	56.6
無職	19.7	21.4	15.9	21.5	19.2	11.5
学生	11.9	7.1	15.2	11.0	9.0	19.7
主婦・主夫	18.0	7.1	12.7	14.3	17.9	8.2
自営	4.1	7.1	6.1	7.2	8.3	4.0
その他	0	7.1	0.3	0.4	0	0
5-交通手段						
自家用車・バイク	70.5	64.3	77.4	61.8	63.3	68.0
公共交通機関	19.6	35.7	17.0	28.9	31.3	17.2
自転車・徒歩	8.8	0	4.1	7.3	3.6	14.8
タクシー	0.9	0	0.4	0.8	0.6	0
観光バス・レンタカー	0.3	0	1.0	1.2	1.2	0
その他	0	0	0.1	0	0	0
6-来館人数						
1人	45.5	100	36.2	49.0	53.0	55.7
2人	34.3	0	40.1	38.2	34.9	27.5
3～5人	16.6	0	20.8	9.2	10.8	16.0
6～9人	2.0	0	1.0	0.8	0.6	0
10人以上	1.0	0	1.8	2.8	0.6	0.8
7-展覧会を何で知ったか						
展覧会チラシ	16.2	38.1	14.7	24.7	19.0	17.9
ポスター	19.2	19.0	18.1	9.8	19.0	25.3
新聞	13.2	0	12.3	7.5	7.4	2.5
当館ホームページ	6.9	14.3	7.7	7.8	10.1	12.3
インターネット	5.6	0	7.1	6.9	6.9	9.3

展覧会名	美をつくし	眼に映る詩	ブルターニュの光と風	少女たち	現代版画の小宇宙	アート・アニュアル
会期 (開催日数)	3/19～5/22 (56日間)	6/4～7/10 (32日間)	7/23～8/21 (26日間)	9/3～10/16 (38日間)	10/29～12/18 (43日間)	1/28～3/5 (31日間)
人から聞いて	7.6	0	9.3	9.4	22.8	11.7
美術館ニュース	5.6	23.8	5.9	6.5	7.4	8.0
看板	1.3	4.8	0.8	2.3	2.1	1.9
テレビCM	13.4	0	12.3	0.6	0.5	0
雑誌・タウン誌	0.9	0	1.2	1.9	0	0
テレビ番組	7.8	0	6.8	2.9	0	0
X (旧 Twitter)	0.2	0	1.2	2.6	2.6	3.1
フェイスブック	0	0	0.4	0.3	0	0.6
県政番組・広報誌等	0.5	0	1.1	1.3	2.1	0.6
ラジオ	1.3	0	0.5	0.3	0	1.2
インスタグラム	0.2	0	0.7	0.6	0	5.6
その他	0	0	0.1	1.0	0	0
8- 展覧会の満足度						
大変良い	69.3	50.0	56.8	54.0	73.8	68.5
良い	24.2	42.9	33.2	35.9	20.7	26.0
普通	6.2	0	8.1	8.9	3.7	3.9
あまり良くない	0.3	7.1	1.7	0.8	1.8	1.6
悪い	0	0	0.3	0.4	0	0
9- 利用回数						
初めて	14.2	0	22.3	21.7	23.0	24.8
数年に1回	21.7	7.7	20.8	18.0	11.2	16.3
年に1～2回程度	38.2	7.7	35.2	23.8	24.2	23.3
年に3～5回程度	22.8	46.2	16.6	27.0	28.0	21.7
年に6～9回程度	2.6	38.5	3.6	6.6	10.6	9.3
年に10回以上	0.6	0	1.5	2.9	3.1	4.6
10- 展覧会以外の利用						
レストラン	33.3	20.0	35.4	30.3	29.6	28.3
庭園	28.1	16.0	22.8	22.2	19.8	18.5
講演会	10.5	12.0	11.3	13.0	15.4	15.2
ギャラリートーク	6.6	12.0	8.0	13.2	10.5	12.0
鑑賞講座	9.6	9.7	9.9	9.2	9.9	10.9
創作プログラム	7.9	16.0	7.8	8.6	8.6	10.9
コンサート	3.9	12.0	4.8	3.2	6.2	4.2
その他	0	0	0	0	0	0
11- 今後見たい展覧会のジャンル						
日本画	32.0	14.3	25.9	20.7	24.8	14.8
海外の美術	27.9	14.3	36.0	26.4	23.8	14.8
工芸	6.1	0	4.6	5.7	2.9	3.4
彫刻	4.1	0	4.1	6.9	8.6	4.5
日本の洋画	6.1	42.9	5.8	11.5	5.7	6.8
写真	4.9	14.3	7.5	8.6	8.6	8.0
版画	5.3	0	3.2	11.5	10.5	11.4
デザイン	5.7	0	8.0	5.7	6.7	18.2
書	4.9	0	3.2	2.3	2.9	3.4
その他	2.9	0	1.5	0.6	5.7	14.7

## 第4節 調査研究事業

### 1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

#### (1) 調査活動

今年度は県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収集作家の調査を重点的に行った。

## 第5節 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

### 1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

#### (1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

令和5年度の団体総数は83団体2,469人、そのうち解説を行ったのは36団体1,341人である（令和6年3月31日現在）。

#### (2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

#### (3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

### 2 鑑賞講座

#### (1) 芸術鑑賞講座「名画との対話」

講師：早川博明氏（当館元館長） 場所：講堂

・第1回「ウィリアム・ターナー」

日時：8月19日(土) 10時30分～12時 参加者数：61名

・第2回「カスパー・フリードリヒ」

日時：10月14日(土) 10時30分～12時 参加者数：50名

・第3回「フランシスコ・デ・ゴヤ」

日時：12月9日(土) 10時30分～12時 参加者数：36名

・第4回「ウジェーヌ・ドラクロワ」

日時：3月30日(土) 10時30分～12時 参加者数：60名

### 3 創作プログラム

広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、子どもから大人まで幅広い対象に応じた各種プログラムを実施している。

#### (1) 「名画でつくろうマグネット」（「美をつくし展」関連）

日時：①4月29日(土) ②5月14日(日)

講師：齋藤 恵（主任学芸員）、白木ゆう美（副主任学芸員）、内野由美子

場所：エントランスホール 参加者数：①34名 ②39名



(2) 「音の風景—心象表現を楽しもう—」  
 日時：5月13日(土) 9時40分～12時10分  
 講師：福田美里氏（作家）  
 場所：実習室、庭園 参加者数：7名



(3) 「オリジナルマグネットをつくろう！」（「プルトーニュの光と風展」関連）  
 日時：①7月9日(日) 10時30分～12時  
           ②8月5日(土) 14時30分～16時30分  
           ③8月16日(水) 10時30分～12時  
           ④8月27日(日) 10時～11時30分  
 講師：齋藤 恵（主任学芸員）、白木ゆう美（副主任学芸員）  
 場所：エントランスホール  
 参加者数：①42名 ②39名 ③55名 ④50名



(4) 「光を描く～メゾチント体験～」  
 日時：7月16日(日)、22日(土)、23日(日) ※3日連続  
 講師：安部直人氏（版画家、当館収蔵作家）  
 場所：実習室 参加者数：8名



(5) 「彫刻ってなんだ！？—石膏型で彫刻をつくろう—」  
 日時：7月29日(土) 10時～15時  
 講師：對木裕里氏（現代作家）  
 場所：実習室、庭園 参加者数：17名



(6) 「“まてい”な花—飯館村の美しい自然を表現しよう」  
 < NPO 法人ふくしま再生の会との共催 >  
 日時：9月24日(日) ①10時～12時 ②14時～16時  
 講師：酒百宏一氏（美術作家・東京工科大学教授）  
 場所：エントランスホール 参加者数：①10名 ②7名



(7) 「《歩く花》のともだちをつくろう！」  
 日時：10月15日(日) 10時～15時  
 講師：齋藤 恵（主任学芸員）、白木ゆう美（副主任学芸員）  
 場所：実習室 参加者数：3名



(8) 「消しゴムはんこで年賀状をつくろう」（「現代版画の小宇宙展」関連）  
 日時：11月25日(土) 9時45分～12時15分  
 講師：齋藤 恵（主任学芸員）、白木ゆう美（副主任学芸員）  
 場所：実習室 参加者数：8名



(9)「架空の自分の本『最期にこれを食べたい』のカバーの絵を描こう」

日時：12月2日(土) 10時30分～15時30分

講師：コーチはじめ氏（イラストレーター）

場所：実習室 参加者数：9名



(10)「年賀状づくりコーナー（特設ワークショップ）」

日時：11月28日(火)～12月27日(木)

場所：エントランスホール

参加者数：267名

(11)「彫刻家になってみよう！叩き鑿を五感で味わおう」

日時：2月17日(土) 10時～15時

講師：佐藤忠博氏（彫刻家）

場所：エントランスホール 参加者数：16名



須賀川市立岩瀬中学校（1年生）

令和5年10月4日(木) 36名

郡山ザベリオ学園小学校（1年生）

令和5年10月5日(木) 26名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室）

令和5年10月20日(金) 5名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室）

令和5年11月9日(木) 6名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室）

令和5年11月10日(金) 6名

郡山市立日和田中学校（美術部）

令和5年11月11日(土) 7名

郡山市立御館中学校（1・2年生）

令和5年11月13日(月) 26名

会津美里町本郷生涯学習センター（年中～6年生）

令和5年12月16日(土) 25名



#### 4 美術館・学校教育連携事業

##### (1) 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より実施している連携事業。子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心とした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元を図る。

令和5年度は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・適応指導教室・生涯学習センター合わせて10校（参加者延べ248名）で開催した。ワークショップで制作した作品は、令和6年2月10日(土)～2月25日(日)の期間、当館企画展示室Bにおいて、活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

①講師：FRIDAY SCREEN（アートユニット）

プログラム：凸凹テキスト（でこぼこてきすと）

内容：身の周りに溢れている「文字」をテーマにしたワークショップ。グラフィックデザインの発想から造形までを経験する内容。

開催校・人数：

②講師：よしもとみか氏（移動絵本図書館 みず文庫）

プログラム：私の「いま」を色と形で表現してみよう。

内容：子どもたちと日々触れ合っている先生から実態を聞き、それぞれにあった素材と画材を選んで色と形を表現するワークショップ。

開催校・人数：

福島県立いわき支援学校くぼた校（高等部1年生）

令和5年10月19日(木) 12名

小野町立小野小学校（6年生）

令和5年11月2日(休) 65名  
 福島県立富岡支援学校(小学部1～6年生)  
 令和5年11月16日(休) 20名  
 福島県立伊達高等学校(美術部)  
 令和5年11月30日(休) 14名



(2) 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開催する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。

令和5年度は、下記のとおり講座を開催した。

日時：令和5年11月1日(休) 9時50分～16時

場所：福島県立美術館

講義・演習「学校と美術館の連携活動について」

演習・協議「感性を働かせるプログラム」

講義・演習「鑑賞教育のこれから」

講師：梅野史代氏(教育センター指導主事)、齋藤 恵(主任学芸員)、上野行一氏(美術による学び研究会 代表)

参加者：小学校教諭3名、中学校教諭4名、特別支援学校教諭4名、特別支援学校教諭1名 計12名



(3) 美術館への年賀状展

県内の小中高校生から寄せられた手作り年賀状をすべてエントランスホールに展示した。

会期：令和6年1月12日(金)～31日(休)

応募総数：188通 観覧者数：718名



(4) 博物館実習

学芸員資格取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導を行った。

日時：令和5年8月22日(休)～27日(日)

受講者数：5名



(5) 「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動

福島市内の中学2年生の希望者を対象に、職場体験を受け入れた。

日時：令和5年7月4日(火)～6日(木)

対象：平野中学校2年生6名



(6) 「福島県高等学校文芸研修会」生徒作品展示

福島県内の文芸部に所属する高校生を対象とする「文芸研修会」が当館講堂で開催され、「第Ⅲ期コレクション展」の展示作品をみて、詩、短歌、俳句を創作するワークショップが行われた。その後、生徒が創作に選んだ展示作品の近くに、手書きの生徒作品カードを掲示した。

ワークショップ実施日：9月22日(金)

展示期間：9月28日(木)～12月27日(木)

参加校：東日本国際大学附属昌平高等学校、福島県立会津学風高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山東高等学校、福島県立須賀川創英館高等学校、福島県立橘高等学校、福島県立福島西高等学校 計8校

参加人数：高校1～3年生 38名



「福島県高等学校文芸研修会」生徒作品展示

5 友の会、協力会との連携事業

令和5年度に友の会や協力会と実施した連携事業は次のとおりである。

(1) 触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ< NPO 法人福島県立美術館協力会との共催>

日時 令和5年10月28日(土)

① 10時30分～12時、② 14時～15時30分

場所 常設展示室

講師 白木ゆう美(副主任学芸員)、橋本恵里(学芸員)、齋藤 恵(主任学芸員)、濱田洋亮(学芸員)、高橋肅子氏(福島県点字図書館)

参加者数 ① 11名 ② 7名 計 18名



(2) アートチャリティーバザー<福島県立美術館友の会の主催>

友の会会員や美術館関係者が美術工芸品、美術図書、図録、ミュージアムグッズなどを持ち寄り、バザーを実施した。

日時：令和5年12月10日(日) 9時30分～12時

場所：エントランスホール

参加者数：250名



(3) ミュージアム・コンサート< NPO 法人福島県立美術館協力会、福島県立美術館友の会との共催>

日時：令和6年2月25日(日) 14時～15時

場所：エントランスホール

出演：松尾沙樹(ヴァイオリン)、後藤 泉(ピアノ)

参加者数：300名



## 6 その他の事業、他機関への協力など

### (1) 県立図書館との連携事業「アートな おはなしかい」

幼稚園児・小学生とその保護者を対象にした、図書館での「よみきかせ」と美術館展示室及び実習室の「鑑賞と工作のワークショップ」を、平成18年度から継続実施。

日時：令和5年6月17日(土)

場所：県立図書館、美術館

参加者数：17名

### (4) アートカード『ぼけっとアート』貸出

平成29年4月から、当館所蔵作品80点をカード形式にした鑑賞補助教材『ぼけっとアート』の貸出を継続して行っている。令和5年度の貸出総数は、小学校、中学校、高校、その他教育関係機関を含め、170カ所、855セットである(令和6年1月31日現在)。



### (5) アートカード関連事業

県立葵高等学校の浦埜好美教諭による美術Ⅱの授業では、「勝手に美術館応援プロジェクト」と題し、アートカードを活用して美術館を応援する図柄をデザインし、シルクスクリーンにてエコバッグを制作している。この授業で制作した生徒37名の作品を展示した。

会期：令和5年12月5日(火)～12月27日(木)

場所：美術館エントランスホール



### (2) 文化財保護(レスキュー)活動

災害時においては、県内の美術作品を中心として文化財の被災情報を収集し、関係機関と連携しながら、作品保全のための活動を行うこととしている。

能登地震の被害状況についても全国美術館会議を通じて情報収集しており、可能な範囲で協力する予定である。

### (3) 委員等

- ・福島ユニセフ協会評議員(根本和代館長)
- ・福島市文化振興審議会委員(根本和代館長)
- ・斎藤清画伯顕彰協議会特別幹事(根本和代館長、増淵鏡子副館長心得兼学芸課長)
- ・福島県総合美術展覧会運営委員(増淵鏡子副館長心得兼学芸課長)
- ・第77回福島県総合美術展覧会大賞選考委員(増淵鏡子副館長心得兼学芸課長)
- ・県外在住功労者知事表彰選考委員(増淵鏡子副館長心得兼学芸課長)
- ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会委員(増淵鏡子副館長心得兼学芸課長)
- ・新潟市美術館・新津美術館美術資料選定委員会委員(増淵鏡子)

副館長心得兼学芸課長)

- ・喜多市美術品収集委員会委員（増淵鏡子副館長心得兼学芸課長）
- ・倫雅美術奨励賞選考委員（増淵鏡子副館長心得兼学芸課長）
- ・第21回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト審査委員（坂本篤史主任学芸員）
- ・茅ヶ崎市美術館「生誕100年 没後60年 小津安二郎展」協力（月本寿彦副主任学芸員）
- ・福島市写真美術館運営委員会委員（白木ゆう美副主任学芸員）
- ・第18回西会津国際芸術村公募展審査員（坂本篤史主任学芸員）
- ・FUKUSHIMA Next Creators Challenge 2023 予備審査会（齋藤恵主任学芸員）

#### (4) 講師派遣、寄稿、発表、受賞等

- ・福島県立医科大学保健科学部「福島県を知る」  
開催日：令和5年5月10日(水)  
講師：増淵鏡子副館長心得兼学芸課長
- ・福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ主催イベント「《大人の遠足》芸術の初夏！美術館と図書館を探検しよう！」  
開催日：令和5年5月10日(水)  
講師：橋本恵里学芸員
- ・令和5年度福島県高等学校教育研究会美術・工芸部会「第68回研究大会」  
開催日：[前期] 令和5年6月9日(金)  
[後期] 令和5年10月6日(金)  
講師：齋藤 恵主任学芸員
- ・江東区立東川小学校開校150周年特別授業「おしえて！関根くん！」  
開催日：令和5年6月16日(金)  
講師：堀 宜雄専門員
- ・フォーラム福島トークイベント「美術館の裏側」（「わたしたちの国立西洋美術館」上映記念）  
開催日：令和5年9月23日(土)(祝)  
講師：坂本篤史主任学芸員
- ・県教育センター主催「創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座」  
開催日：令和5年11月1日(水)  
講師：齋藤 恵主任学芸員
- ・福島市文化団体連絡協議会主催「市長を囲む文化懇談会」講演会講師  
開催日：令和6年2月14日(水)  
講師：根本和代館長
- ・第34回倫雅美術奨励賞「没後200年 重欧堂田善 江戸の洋風画家・創造の軌跡」の企画および図録中の論文  
受賞：坂本篤史主任学芸員

#### (5) 動画配信等による情報発信

展覧会や教育普及事業など、美術館の事業を幅広い世代へ即時効果的に発信するため、広報印刷物の発行のほか、ホームページ、ブログ、X（旧Twitter）、YouTube、教育委員会公式noteなど、SNSを活用した情報発信を行っている。

広報印刷物：ミュージアムカレンダー、「美術館 NEWS」年6回、美術館年報、企画展ポスター・チラシ等  
SNS発信：ブログ投稿15回（常設展示、教育普及事業の紹介）、YouTube動画7本（企画展の紹介）等、X（旧Twitter）フォロワー1,864人、Instagram（令和5年9月開設）フォロワー598人

## ◆関係法規

### A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 三 展示品の横写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。

(平11条例92・一部改正)

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。

(平11条例92・追加)

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(平11条例92・旧第8条繰上)

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

(平11条例92・旧第9条繰上)

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平9条例53・平15条例52・平25条例118・平28条例52・平31条例47・一部改正)

区 分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個 人	団 体		
一般(大学生を含む。)	280円	220円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。

2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附 則 (平成9年条例第53号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年条例第92号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年条例第52号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年条例第118号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年条例第52号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年条例第47号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

### B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。(令5条例31・一部改正)

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平24条例42・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

- この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

附則（令和5年条例第31号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

### C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

### D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期の休館日は、次のとおりとする。

- 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 1月1日から同月4日まで。
- 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

2 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。

3 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
--------------	-------

一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めることの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあつては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

一 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。）全額

二 その他やむを得ない理由があると認めるとき。教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則

1 この規則は、昭和五十九年四月一日から施行する。

（令二教委規則七・旧附則・一部改正）

2 第三条の二第一項の有効期間中に工事により休館する期間がある場合は、その期間を一年に加算した期間を同項の有効期間とする。

（令2教委規則7・追加）

第1号様式（第3条関係）

観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館	観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館
------------------------------------	------------------------------------

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）

（平15教委規則2・追加）

（表）

年間観覧券
福島県立美術館

（裏）

(交付番号)	(観覧者の区分)
(有効期間)	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
(氏名)	
(学校名)(学年)	
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）

（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

福島県立美術館長 \_\_\_\_\_ 年 月 日

申請者 住所又は所在地 氏名又は名称及び代表者の氏名 \_\_\_\_\_ 印

観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分 秒
観覧者の種別及び人数	一般	人	その他( )	人
	大学生		( )	
	高校生			
	中学生		引率者	
	小学生		合計	
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	免除率	免除金額	免除の根拠	
※ 円 ※	※	円 ※	※ 円 ※	
第 年 月 日				
上記のとおり承認してほしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）

（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号

年 月 日

様

福島県立美術館長 \_\_\_\_\_ 印

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年	月	日	時 分 秒
観覧者の種別及び人数	一般	人	その他( )	人
	大学生		( )	
	高校生			
	中学生		引率者	
	小学生		合計	
免除申請の理由				
注意事項				
観覧料	免除率	免除金額		
円				

第4号様式（第5条関係）

（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長 \_\_\_\_\_ 印

申請者 住所又は所在地 氏名又は名称及び代表者の氏名 \_\_\_\_\_ 印

観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

展覧会の名称			
観覧料の納入月日	年	月	日
既納観覧料の区分及び金額	区	分	人 数 金 額
			人 円
	合	計	
返還を申請する理由			
連絡先及び電話番号	電話 ( )		
観覧料返還率	返還金額	返還の根拠	
※ 円 ※	※ 円 ※	※ 円 ※	
上記のとおり返還してほしい。			
館長	副館長	総務課長	主任
受付月日	・	・	決裁月日

(注) ※印の欄は、記入しないこと。

附 則（昭和60年教委規則第3号）

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則（昭和63年教委規則第8号）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成3年教委規則第13号）

1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

附 則（令和2年教委規則第7号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年教委規則第15号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正前の福島県教育委員会が管理する公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する規則、学校教育法施行細則、福島県立美術館条例施行規則、福島県立博物館条例施行規則、福島県文化財保護条例施行規則、福島県立高等学校の通学区域に関する規則、福島県立高等学校学則、福島県奨学金貸与条例施行規則、福島県立学校の管理運営に関する規則、福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与条例施行規則、福島県立中学校学則及び福島県立特別支援学校学則（以下これらを「改正前の規則等」という。）に規定する様式については、この規則の規定による改正後の福島県教育委員会が管理する公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する規則、学校教育法施行細則、福島県立美術館条例施行規則、福島県立博物館条例施行規則、福島県文化財保護条例施行規則、福島県立高等学校の通学区域に関する規則、福島県立高等学校学則、福島県奨学金貸与条例施行規則、福島県立学校の管理運営に関する規則、福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与条例施行規則、福島県立中学校学則及び福島県立特別支援学校学則（以下これらを「改正後の規則等」という。）に規定する様式にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

3 この規則の施行の際現に改正前の規則等に基づき提出、通知又は作成されている届出書等の書面は、それぞれ改正後の規則等に基づき提出、通知又は作成されている届出書等の書面とみなす。

## E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 二 公印の管理に関すること。
- 三 人事に関すること。

四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。

五 予算の編成、経理及び執行に関すること。

六 物品の調達及び処分に関すること。

七 財産の管理に関すること。

八 観覧料の徴収に関すること。

九 福島県立美術館運営協議会に関すること。

十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。

二 美術に関する調査及び研究に関すること。

三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。

五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。

六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。

七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主幹	上司の命を受け、特に指示された事務を掌理する。
事務長	上司の命を受け、副館長を補佐し、美術館の事務を処理する。
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・令2教委規則5・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成 25 年教委規則第 8 号）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年教委規則第 11 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和 2 年教委規則第 5 号）

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

## F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第 1 条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第 2 条 委員会は 5 人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（任期）

第 3 条 委員の任期は 2 年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第 4 条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

（庶務）

第 5 条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

（その他）

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

改正 昭和 59 年 4 月 1 日、昭和 61 年 4 月 1 日

## G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び撮影等に関する取扱要領

1 趣旨

（1）この要領は、財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例（昭和 39 年福島県条例第 22 号）第 7 条、福島県財務規則（昭和 39 年福島県規則第 17 号。以下「財務規則」という。）第 156 条、福島県立美術館条例（昭和 59 年福島県条例第 33 号）第 7 条及び福島県立美術館条例施行規則（昭和 59 年福島県教育委員会規則第 12 号）第 7 条の規定により、福島県立美術館（以下「館」という。）が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の貸出し及び撮影、画像使用（以下「撮影等」という。）に関する基準及び手続きを定めるものとする。

（2）美術品等が福島県美術品等取得基金（以下「基金」という。）所有のものであるときは、美術品等の貸出しの手続きは福島県立美術館長（以下「館長」という。）の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出し及び撮影等の基準については、この要領を準用するものとする。

2 美術品等の貸出し

（1）貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1 年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当で

ないと認められる場合は、貸出しを行わないものとする。

エ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から貸出の承認が得られない場合には、貸出しを行わないものとする。

（2）貸出しの手続き

ア 館長は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者（以下「借受者」という。）から物品借受申請書（財務規則第 102 号様式。以下「申請書」という。）を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

（ア）展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

（イ）その他必要と認める書類

イ 館長は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ この要領 2 の（2）のア及びイの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

（3）貸出しの決定

ア 館長は、この要領 2 の（2）のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書（財務規則第 102 号様式）により当該貸出しについて決裁するとともに、借受者に対して、貸出し承認の通知（様式第 1 号）をするものとする。

イ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

ウ 美術品等の貸出しは、無料とする。

（4）貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第三者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館長に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 美術品等の搬出または搬入に際しては、借受者は責任者を立会させること。

キ その他必要と認めること。

ク この要領 2 の（4）のアからキまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

（5）美術品等の引渡し

ア 物品管理権者（館長）は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、物品取扱員（福島県立美術館事務長。以下「事務長」という。）に対し、貸付物品払出（受入）通知書（財務規則第 102 号様式）により、その引渡しを指示するものとする。

イ 物品取扱員（事務長）は、物品管理権者（館長）から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 物品管理権者（館長）は、美術品等を引き渡したときは、物品管理簿（財務規則第 76 号様式）の摘要欄に貸し付けた旨を記録し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は、原則として館とする。

（6）美術品等の引受け

この要領 2 の（5）のアからウまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

（1）撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により美術品等に損傷を生ずるおそれがある場合や美術品等の管理上適当でないと思われる場合は、承認を行わないものとする。

ウ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から撮影の承認

が得られない場合には、承認を行わないものとする。

#### (2) 撮影承認の手続き

ア 館長は、美術品等の撮影を承認する場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（様式第2号。以下「撮影承認願」という。）を提出させるものとする。

イ 館長は、撮影者から撮影承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

ウ 館長は、この要領3の(2)のイの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、撮影者に対して撮影承認の通知（様式第3号）をするものとする。

エ この要領2の(3)により貸出し承認の通知を受けた借受者が、図録作成等のため美術品等の撮影をする場合には、事前に館と協議の上承諾を得ることによって、撮影承認の手続きを省略できるものとする。

オ 美術品等の撮影は、無料とする。

#### (3) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等の撮影は、館の職員の指示に従って行うこと。

イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。

ウ 撮影した写真等は、承認を受けた目的以外に使用しないこと。

エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなる場合は、必要に応じ、あらかじめ著作権者の承認を得ること。

オ 撮影した写真を出版物に掲載した場合は、当該出版物を館に提出すること。

カ トリミングや文字重ねなど、無断で画像を改変しないこと。

キ 作品の芸術性を損なわないよう、十分に配慮すること。

ク 作者名・作品名・所蔵館名を必ず明記すること。

ケ 画像がデジタル・データの場合は、使用後速やかにデータを破棄すること。

コ Web等で利用する場合には、画像サイズおよび解像度は長辺800ピクセル、72dpi以下とし、さらに無断転用を防ぐ措置を講じること。

サ その他必要と認めること。

#### 4 美術品等の画像使用

##### (1) 画像使用承認の基準

ア 美術品等の画像使用は、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認められたものに対して承認するものとする。

イ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から画像使用の承認が得られない場合には、承認を行わないものとする。

##### (2) 画像使用承認の手続き

ア 館長は、美術品等の画像使用を承認する場合には、画像使用を希望する者（以下「使用者」という。）から美術品等画像使用承認願（様式第4号。以下「画像使用承認願」という。）を提出させるものとする。

イ 館長は、使用者から承認願の提出を受けたときは、画像使用の目的、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

ウ 館長は、この要領4の(2)のイの審査の結果、美術品等の画像使用を承認することが適当と認めるときは、使用者に対して画像使用承認の通知（様式第5号）をするものとする。

エ この要領2の(3)により貸出し承認の通知を受けた借受者が、図録作成等のため美術品等の画像使用をする場合には、事前に館と協議の上承諾を得ることによって、画像使用承認の手続きを省略できるものとする。

オ 美術品等の画像使用は、無料とする。

##### (3) 画像使用の条件

美術品等の画像使用を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 画像は、承認を受けた目的以外に使用しないこと。

イ 画像使用の目的が著作権法の適用を受けることとなる場合は、必要に応じ、あらかじめ著作権者の承認を得ること。

ウ 承認を受けた画像を出版物に掲載した場合は、当該出版物を館に提出すること。

エ トリミングや文字重ねなど、無断で画像を改変しないこと。

オ 作品の芸術性を損なわないよう、十分に配慮すること。

カ 作者名・作品名・所蔵館名を必ず明記すること。

キ 万一貸与した画像を損傷・忘失した場合は、再撮影に係わる実費を請求することができるものとする。

ク 館所有の画像を複製して使用する場合は、当該複製版をすべて提出するものとする。

ケ 画像がデジタル・データの場合は、使用後速やかにデータを破棄すること。

コ Web等で利用する場合には、画像サイズおよび解像度は長辺800ピクセル、72dpi以下とし、さらに無断転用を防ぐ措置を講じること。

サ その他必要と認めること。

#### 附則

この要領は、昭和60年2月9日より施行する。

(平成9年9福美第65号により一部改正)

この要領は、令和3年6月1日より施行する。

## H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

### (趣旨)

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

(寄託の申し出)

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

(2) 館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申込書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

(受託)

3 館長は、所有者の同意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

(受け入れ及び返還)

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

(2) 所有者は、寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするときは、返還を受けようとする日の1ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

(3) 館長は、この要領4の(2)により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

(4) 寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。

(寄託期限)

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

(寄託期間の更新)

6 館長は、所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

(2) 寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

(3) 館長は、この要領6の(1)及び(2)により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。

(所有者の変更等)

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

8 所有者は、受託証書を忘失し、または著しく破損したときは、これらの

事実を証するに足る書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究及び撮影等を行い、その結果を公開することができる。

（2）館職員以外の者がこの要領10の（1）の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。

（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理及びその取扱いについては、館に所蔵する美術品等に準じて行う。

（2）館は、寄託品を忘失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。

（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

#### 附則

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

この要領は、令和3年4月1日より施行する。

## 1 福島県立美術館共催等名義使用承認事務取扱要綱

（趣旨）

第1 この要綱は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）が、美術館以外の各種団体が主催する教育・文化関係事業等について共催、協力、後援（以下「共催等」という。）する場合の基準及びその他必要な事項を定めるものとする。

（用語の定義）

第2 この要綱における用語の定義は、次のとおりとする。

#### 1 共催

事業の企画及び運営に参画し、主催者と共同して責任を分担することをいう。

#### 2 協力

事業の趣旨に賛同し、美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の貸出しを伴ってその開催に協力することをいう。

#### 3 後援

事業の趣旨に賛同し、その開催を援助することをいう。

（共催等の使用名義）

第3 共催等について使用を承認する名義は、「福島県立美術館」とする。

（承認の基準）

第4 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、主催者から共催等の申請があったときは、次の各号に掲げる基準により審査のうえ、承認するものとする。

#### 1 主催者

- （1）国若しくは地方公共団体又はこれらに準ずる団体
- （2）学校等の教育機関又はこれらの連合体
- （3）公益法人又はこれに準ずる団体
- （4）新聞、テレビ等の報道機関
- （5）その他、館長が適当と認めるもの

#### 2 事業内容

（1）学校教育、社会教育及び文化（以下「教育等」という。）の普及・向上に寄与するもので、公益性のある事業であること。

（2）参加対象が県民一般に広く及ぶものであること。ただし、内容が特に優れ、本県の教育等の普及・向上に寄与するところが著しいと認められる事業については、この限りではない。

（3）専ら営利を目的としないこと。

（4）特定政党の政治活動又は特定の宗教的団体の宗教活動でないこと。

（5）公共の福祉に反しないこと。

（6）法令、規則等に違反しないこと。

#### 3 その他

（1）主催者の存在が明確で、事業遂行能力が十分であると判断できるものであること。

（2）開催の場所は、公衆衛生及び災害防止について、十分な設備措置が講じられていること。

（承認の手続き）

第5 共催等を申請する者は、原則として開催日2カ月前までに、共催等承認申請書（第1号様式）を館長に提出すること。

1 館長は前項の申請書を受理したときは、速やかに承認の可否を文書（第2号様式）で通知するものとする。

2 福島県及び福島県教育委員会が主催する事業については、申請書の提出は不要とし、事業計画や内容・目的を明記した協議書の提出を求めるものとする。

3 特定非営利活動法人福島県立美術館協会及び福島県立美術館友の会が主催する事業については、事前に協議するものとし、申請書の提出は不要とする。

（添付書類）

第6 共催等承認申請書には、次の書類を添付するものとする。

- 1 主催者の存在及び基礎を明らかにする書類
- 2 役員その他事業関係者の住所及び役職名簿等を明らかにする書類
- 3 事業の目的及び計画を明らかにする書類（予算書を含む）

（承認の条件）

第7 共催等の承認にあたっては、次の条件を付するものとする。

- 1 美術館が共催等である旨を開催要項等に明記すること。
- 2 事業開催に当たり申請内容を変更しないこと。違反が認められた場合は、承認を取り消す場合がある。
- 3 申請内容に変更せざるを得ない事由が生じた場合には、速やかに届け出て、改めて承認を受けること。
- 4 事業終了後、1カ月以内に実施報告書（第3号様式）を提出すること。

（美術館内開催事業承認の条件）

第8 共催等により美術館内の施設で開催される事業の承認にあたっては、特に次の条件を付するものとする。

- 1 事業内容は、美術館の事業としてふさわしい次の内容のものであること。
  - （1）企画展・常設展等、美術館展示に関連するもの。
  - （2）講演・講座・イベント等、美術館行事に関連するもの。
  - （3）美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等に関連するもの。
- 2 美術館開館日に実施するもので、かつ美術館主催行事に支障がないものであること。

3 美術館の施設使用に関する次の開催条件を受け入れること。

- （1）事業の実施時間は原則として美術館の開館時間内とし、予定した時間を厳守すること。
- （2）使用施設は事前に美術館と協議の上決定すること。
- （3）事業終了後は、施設を使用前の状態に復帰させること。
- （4）許可なく施設の設備・器材等の操作を行わないこと。
- （5）上記によりがたい場合は、事前に美術館と十分に協議すること。

4 事故・損害等の負担については、主催者と美術館が共同責任を負うこと。ただし、前項の開催条件を守らない一方的な過失による破損等の場合は、主催者が全額負担すること。

（その他）

第9 この要綱に定めるもののほか、実施について必要な事項は、別に館長が定めるものとする。

#### 附則

（施行日）

- 1 この要綱は、令和3年6月8日から施行する。

## ◆予算

### 【令和5年度予算内訳】

#### 歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	10,752
└ 使用料	10,752
└ 行政財産使用料	914
└ 土地使用料	42
└ 建物使用料	872
└ 教育使用料	9,838
└ 美術館使用料	9,838
財産収入	2,058
└ 財産売払収入	2,058
└ 物品売払収入	2,058
諸収入	25,812
└ 雑入	25,812
計	38,622

#### 歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
総務費	1
└ 総務管理費	1
└ 諸費	1
└ 償還金、利子及び割引料	1
教育費	316,008
└ 教育総務費	837
└ 事務局費	831
└ 共済費	741
└ 職員手当等	90
└ 財務管理費	6
└ 交際費	6
└ 社会教育費	315,171
└ 美術館費	315,171
└ 報酬	72
└ 報償費	1,089
└ 旅費	2,878
└ 需用費	117,195
└ (食糧費)	(42)
└ 役務費	9,256
└ 委託料	144,530
└ 使用料及び賃借料	1,315
└ 備品購入費	3,947
└ 負担金、補助及び交付金	34,856
└ 公課費	33
計	316,009

## ◆施設・設備

### 【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所  
 施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）  
 敷地面積 60,500㎡  
 建築面積 6,471.5㎡  
 延床面積 9,680.7㎡  
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）  
 総工費 約49億円（本体、外構含む）

### 【設備の概要】

#### 電気設備

- 1- 受変電設備：受電力 1,100W
- 2- 動力設備
- 3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）
- 4- 自家発電機設備
- 5- 避雷針
- 6- 電気時計
- 7- 火災報知設備
- 8- 防火扉・防煙設備
- 9- 拡声設備
- 10- インターホン設備
- 11- ITV 設備
- 12- 防犯設備
- 13- ビデオ設備
- 14- 蓄電池設備
- 15- 電話設備

#### 空調調和設備

- 1- 熱源設備：
  - 展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽300㎡、温水槽250㎡
  - 一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台
- 2- 空調設備：単一ダクト方式
  - 展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7系統（一部フロアコイル併用）
- 3- 換気設備：50系統
- 4- 排煙設備：機械排煙6系統
- 5- 床暖房：2系統
- 6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

#### 給排水衛生設備

- 1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電器煮沸器を使用
- 2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）
- 3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規定濃度以下にして大気放出
- 4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水
- 5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水道公共マスに接続）

#### 昇降機設備

- 1- 乗用エレベーター：ロープ式、750kg 11名乗り 1台
- 2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量3t 1台
- 3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

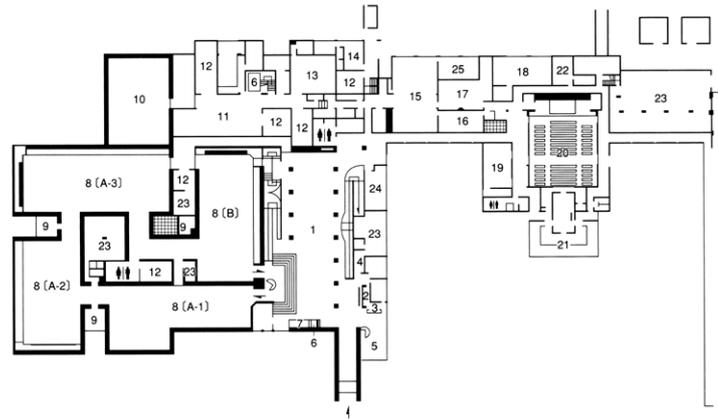
### 【内部仕上げの概要】

- 1- エントランスホール
  - 床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）
  - 壁：栓練付石綿ケイカル板
  - 天井：栓練付石綿ケイカル板
  - その他：一部床暖房設備
- 2- 収蔵庫
  - 床：パーケットブロック、ぶな素地
  - 壁：米杉、矢羽根板張
  - 天井：米杉、本実目透張
  - その他：収納棚、絵画収納ラック
- 3- 企画展示室
  - 床：長尺塩ビシート張
  - 壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張
  - 天井：栓練付パネル
  - その他：大型可動壁（幅8,770mm×高3,770mm、11枚）
  - 固定ケース前可動壁：（幅1,600mm×高4,050mm、延長約72m）
  - 固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長72.3m）
- 4- 常設展示室
  - 床：タイルループカーペット
  - 壁：常設A- 栓練付ケイカル板  
常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ  
常設C・D- くるみ練付ケイカル板
  - 天井：ケイカル板
  - その他：固定ケース（常設A、16.2m）
- 5- 講堂
  - 床：タイルループカーペット
  - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
  - 天井：ビニールクロス張
  - その他：座席数246（うち車椅子席4）／ステージ幅12m×奥行3.2m
- 6- 講義室
  - 床：タイルカーペット
  - 壁：くるみ練付石綿ケイカル板
  - 天井：岩綿吸音板
- 7- 実習室
  - 床：エポキシ系塗床
  - 壁：モルタル金ゴテVP
  - 天井：岩綿吸音板
- 8- 軽食喫茶室
  - 床：長尺塩ビシート張
  - 壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）
  - その他：テーブル44席
- 9- その他
  - 搬出入口：ホイストクレーン2.8t／テーブルリフター
  - 写真室：電動スクリーン

## ◆施設配置図

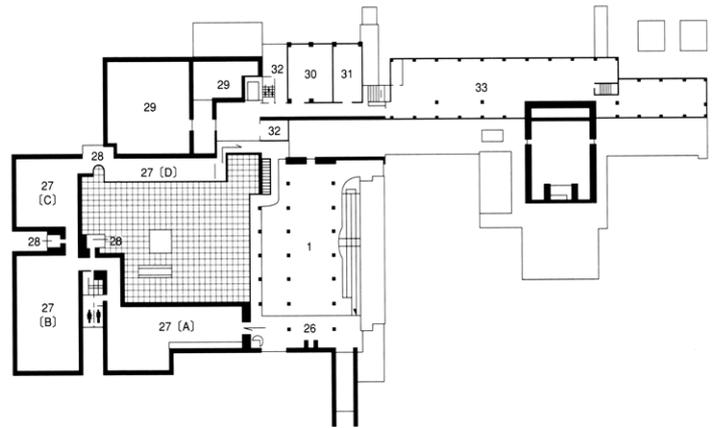
### 【1階】

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 13. 写真室   |
| 2. 受付案内      | 15. 事務室   |
| 3. ブックショップ   | 16. 応接室   |
| 4. ロッカー室     | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー    | 18. 実習室   |
| 6. エレベーター    | 19. 講義室   |
| 7. ビデオコーナー   | 20. 講堂    |
| 8. 企画展示室     | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室       | 23. 機械室   |
| 11. 荷解梱包室    | 24. 館長室   |
| 12. 倉庫       | 25. 副館長室  |



### 【2階】

- |           |
|-----------|
| 26. ロビー   |
| 27. 常設展示室 |
| 28. 休憩室   |
| 30. 工作修復室 |
| 31. 会議室   |
| 32. 倉庫    |
| 33. 機械室   |



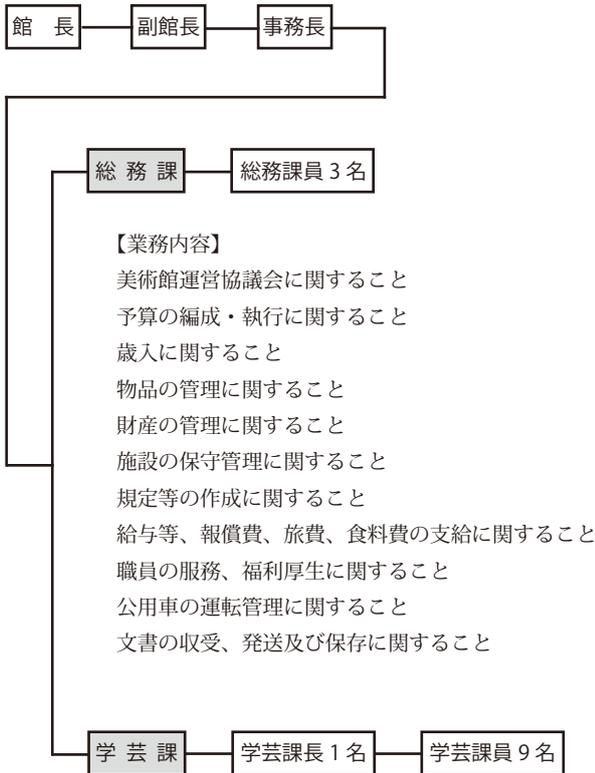
## ◆部門別専有面積 (\*は県立図書館と共用)

<b>サービス部門</b>	<b>1223.8m<sup>2</sup></b>
エントランスホール	817.3m <sup>2</sup>
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m <sup>2</sup>
*軽食喫茶室	179.0m <sup>2</sup>
授乳室・救護室	25.4m <sup>2</sup>
<b>展示部門</b>	<b>3064.4m<sup>2</sup></b>
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m <sup>2</sup>
企画展示室 B	431.1m <sup>2</sup>
	(企画展示室合計 1811.9m <sup>2</sup> )
常設展示室 A	403.1m <sup>2</sup>
常設展示室 B	359.1m <sup>2</sup>
常設展示室 C	143.8m <sup>2</sup>
常設展示室 D	132.8m <sup>2</sup>
	(常設展示室合計 1038.8m <sup>2</sup> )
展示用具室	141.2m <sup>2</sup>
展示用具室 2	72.5m <sup>2</sup>
<b>収蔵部門</b>	<b>1367.3m<sup>2</sup></b>
収蔵庫 A	282.2m <sup>2</sup>
収蔵庫 B	368.7m <sup>2</sup>
収蔵庫 C	105.1m <sup>2</sup>
一時保管庫	51.8m <sup>2</sup>
収蔵庫前室	57.6m <sup>2</sup>
搬出入口	65.7m <sup>2</sup>
荷解梱包室	188.8m <sup>2</sup>
梱包倉庫	77.7m <sup>2</sup>

荷扱人控室	29.6m <sup>2</sup>
燻蒸室	33.3m <sup>2</sup>
工作修復室	106.8m <sup>2</sup>
<b>普及部門</b>	<b>654.6m<sup>2</sup></b>
*講堂	498.6m <sup>2</sup>
講義室	73.9m <sup>2</sup>
実習室 (準備室含む)	82.1m <sup>2</sup>
<b>研究部門</b>	<b>187.2m<sup>2</sup></b>
研究図書室	88.7m <sup>2</sup>
写真室	98.5m <sup>2</sup>
<b>管理部門</b>	<b>1852.6m<sup>2</sup></b>
応接室	48.0m <sup>2</sup>
副館長室	34.0m <sup>2</sup>
事務室 (総務課・学芸課)	174.2m <sup>2</sup>
会議室	73.3m <sup>2</sup>
館長室	43.2m <sup>2</sup>
事務機械室	16.0m <sup>2</sup>
警備室	54.7m <sup>2</sup>
更衣室	8.7m <sup>2</sup>
受付控室	35.1m <sup>2</sup>
給湯室	4.4m <sup>2</sup>
倉庫	33.0m <sup>2</sup>
*機械室	1266.4m <sup>2</sup>
車庫	61.6m <sup>2</sup>
<b>その他(化粧室・廊下・階段等)</b>	<b>1330.8m<sup>2</sup></b>

# ◆組織図・職員名簿

## 1. 組織図



**【業務内容】**  
 企画展に関する事  
 社会教育、学校教育及び他館との連携に関する事  
 応接、団体案内に関する事  
 広報計画に関する事  
 出版・発行に関する事  
 美術品の収集に関する事  
 美術作品等の保存管理に関する事  
 美術作品等の貸出しに関する事  
 常設展に関する事  
 教育普及に関する事  
 調査、研究に関する事  
 二次資料の整備に関する事  
 視聴覚事業に関する事

[外部機関]

美術館運営協議会 10名

収集評価委員会 5名

## 2. 職員名簿 (2024年3月31日現在)

名誉館長	酒井 哲朗 (2016.4.1-)
館長	根本 和代 (2023.4.1-2024.3.31)
主幹兼事務長	山内 孝子 (2023.4.1-)
副館長心得兼学芸課長兼社会教育課副課長	増渕 鏡子 (1993.4.1-)
総務課 主査	村上 茂利 (2021.4.1-)
総務課 主事	永峯 涼子 (2022.4.1-)
総務課 専門員	津田 幸康 (2022.4.1-)
学芸課 主任学芸員	宮武 弘 (1992.4.1-)
学芸課 同	紺野 册子 (2012.4.1-)
学芸課 同	坂本 篤史 (2014.4.1-)
学芸課 同	齋藤 恵 (2023.4.1-)
学芸課 副主任学芸員	白木ゆう美 (2014.4.1-)
学芸課 同	月本 寿彦 (2023.4.1-)
学芸課 学芸員	橋本 恵里 (2017.4.1-2023.10.31)
学芸課 同	濱田 洋亮 (2022.4.1-)
学芸課 専門員	堀 宜雄 (2023.4.1-)

## □利用案内

### 1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

### 2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

### 3. 観覧料

#### 1) 常設展

一般・大学生：280円（220円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

#### 2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（身体障害者手帳・療育手帳1種、精神障害者保険福祉手帳

1級をお持ちの方は付き添いの方も無料）

#### 4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

#### 5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生、高校生、中学生及び小学生等が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

#### 6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生 3,000円／高校生 1,800円／小・中学生 1,200円）

#### 7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩3分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分

※駐車場 150台収容

## 福島県立美術館年報 令和5年度・2023

2025年2月28日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <https://art-museum.fcs.ed.jp>

印刷

株式会社プロセス印刷

